

シラバス

科目名		エアライン概論		担 当 者 名		新井凡子		
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義		
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)	
授業目的		客室乗務員として即戦力となれるような人材を育成する						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		客室乗務員に必要な知識・マインドを習得する						
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ						
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容		
	1	オリエンテーション①			19	テスト返却・解説		
	2	オリエンテーション②			20	航空用語②		
	3	オリエンテーション②			21	小テスト		
	4	航空業界について			22	言葉がけ①		
	5	客室乗務員としての心得			23	言葉がけ②・ワークシート		
	6	人間関係5つの基本			24	M/U実習④(ケーススタディ)		
	7	保安要員としての役割			25	M/U実習⑤		
	8	航空用語①			26	M/U実習⑥		
	9	小テスト・運航の流れ①			27	時差①		
	10	運航の流れ②			28	時差②		
	11	運航の流れ③			29	時差③		
	12	M/U実習①(ドリンクサービス)			30	FIRST AID		
	13	M/U実習②			31	SPECIAL MEAL		
	14	M/U実習③			32	CAに必要なマインド		
	15	スピーチ「心に残るサービス」			33	テスト前復習		
	16	(予備・調整日)			34	後期期末テスト		
	17	テスト前復習			35	テスト返却		
	18	前期期末テスト			36	まとめ		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付		
		学習態度	30%					
		レポート	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		元日本航空客室乗務員 国際線・国内線に従事。						

シラバス

科目名		ナレーション		担 当 者 名		桜田ゆみ		
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		演劇基礎、企画構成、舞台演習、公演		
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)		
授業目的		演劇、ミュージカル等のエンターテインメントを通して、人々が幸せになる国際社会へ貢献できる人材を育成する。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		企画構成から完成まで、オリジナルの舞台を制作し、気付きと共感を大切に働く、実社会で役立つ人間力を養う。						
授業概要		シアターエデュケーショナルの成果を実感できるよう、年2回の舞台発表を行う。表舞台と裏方の両方を経験し、成功までの道のりを「個、グループ、クラス全体」の3通りで描ける視野を大切にする。 自らがリーダーであり、協力者でもあることに気付き、強く前向きな精神、勇気ある行動、責任のある姿勢を身につけ、納得できる時間を過ごすことが大事。						
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①			17	前期舞台発表のアンケート結果をもとにミーティング		
	2	オリエンテーション②			18	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇		
	3	1分間モノログ(一人芝居)による表現法。			19	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇		
	4	舞台発表に向けた台本制作と基礎演技を指導。			20	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇		
	5	グループ分け／台本制作のための構想開始			21	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古		
	6	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			22	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古		
	7	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			23	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古		
	8	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			24	リハーサル／衣装・音響・照明・映像プラン提出		
	9	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古			25	リハーサル／衣装合わせ		
	10	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古			26	リハーサル／全体通し稽古		
	11	リハーサル／衣装・音響・照明・映像プラン提出			27	リハーサル／全体通し稽古		
	12	リハーサル／衣装合わせ			28	クラス内にて中間発表		
	13	リハーサル／全体通し稽古			29	リハーサル／当日配布のプログラム構成提出		
	14	クラス内にて中間発表			30	リハーサル／前説台本提出／集客方法提出		
	15	リハーサル／当日配布のプログラム構成提出			31	リハーサル／ゲネプロ／完成プログラム配布		
	16	リハーサル／前説台本提出／集客方法提出			32	後期舞台発表本番／アンケート収集		
	17	リハーサル／ゲネプロ／完成プログラム配布			35	振り返り		
	18	前期舞台発表本番／アンケート収集			36	最終授業まとめ		
成績割合		テスト(発表)		35%	学習FB方法		毎回の授業で主演女優賞、主演男優賞、助演女優賞、助演男優賞ほか、企画制作賞、敢闘賞、貢献賞、MVPを発表し、技術向上の成果を全員の前で評価する。	
		学習態度		50%				
		レポート		15%	成績評価		出席率80%以上 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫0%						
講師プロフィール		文化芸術を通して日本と諸外国を繋ぐ外交アーティスト、一般社団法人日本サルスエラ協会 代表理事。 NHK構成作家、劇作家、脚本家、演出家。公益財団法人東京二期会正会員オペラ歌手。						

シラバス

科目名		Grammar I		担 当 者 名		松川 はるみ	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		Conversation で使われる文法事項の習得と強化を目的とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		文法事項(Touchstone, Cambridge, University Press)をマスターする。毎週の単語小テストを通し、 年間400語を文の中で使えるようにする。					
授業概要		単語や熟語は毎回小テストを実施する。文法は問題を解きながら、解説していく。 学生がわかりにくいところは理解できるまで例文を交えて、説明する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	授業目的、成績評価方法、 教材・小テスト説明			19	前置詞	
	2	品 詞			20	関係詞	
	3	代名詞			21	分詞	
	4	比較			22	復習	
	5	形容詞、代名詞の働きをする語句			23	時制と代名詞	
	6	復習			24	つながぎ言葉	
	7	単語試験1、英字新聞を読む			25	語法	
	8	時制1			26	ボキャブラリー1	
	9	時制2			27	ボキャブラリー2	
	10	受動態			28	ニュースを読む	
	11	能動態			29	関係代名詞1	
	12	主語と述語の一致			30	関係代名詞2	
	13	不定詞・動名詞			31	自動詞・他動詞	
	14	復習			32	仮定法	
	15	接続詞			33	分詞	
	16	熟語			34	英語記事を読む、単語ゲーム	
	17	前期期末試験			35	後期期末試験	
	18	前期期末試験振り返り			36	後期期末試験振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元JALの国際線客室乗務員として勤務経験者。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠA		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授 業 方 法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション① ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション② チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① 飛行機を利用するってどんな時??			21		
	4	ヒントを得る② その他移動手段との違いは??			22		
	5	ヒントを得る③ 旅行における、飛行機の価値って??			23		
	6	ヒントを得る④ 外国のALは??			24		
	7	ヒントを得る⑤ SPCL SVCやFLTを調べよう			25		
	8	ヒントを得る⑥ SPCL FLTを調べよう			26		
	9	ヒントを得る⑦ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットニングなど)			27		
	10	ヒントを得る⑧ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットニングなど)			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		40%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体験型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠB		担当者名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			19		
	2	課題設定⑥ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するの かインタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するの かインタビュー(フィールドワーク)			22		
	5	課題の検証③ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するの かインタビュー(フィールドワーク)			23		
	6	課題の検証④ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの か インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの か インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの か インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担 当 者 名		池 亀 満 枝	
学 科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授 業 方 法		講義、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		人間心理、人間関係を大切さを学び、自分自身を見つめ直す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		より良い人間関係を築き、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力を向上させる。					
授業概要		人間心理の知識、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力の習得、社会人として活躍するための準備を座学形式で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	授業ガイダンス		19	敬語の種類		
	2	ホスピタリティとは		20	丁寧語・美化語・改まり語		
	3	サービスとホスピタリティ		21	尊敬語		
	4	マズローの欲求段階説		22	謙譲語Ⅰ		
	5	顧客満足とホスピタリティ		23	謙譲語Ⅱ		
	6	ジョハリの窓		24	状況に合わせた敬語、ウチとソトの使い分け		
	7	ストローク		25	敬語の誤用		
	8	メラビアン の 法則		26	違和感を与える表現、信頼感を損ねる口癖		
	9	明るい挨拶・さわやかな返事、挨拶ことば		27	相手に配慮して伝える		
	10	おしゃれと身だしなみの違い		28	クッションことばを使いこなす		
	11	制服の効果		29	好感の持てる話し方、感じの良い聴き方①		
	12	いきいきとした豊かな表情		30	好感の持てる話し方、感じの良い聴き方②		
	13	表情訓練		31	会話を弾ませるテーマ選び①		
	14	心構え		32	会話を弾ませるテーマ選び②		
	15	立ち居振る舞い		33	敬語ワークシート		
	16	基本動作、応用動作の実践		34	試験実施		
	17	試験実施		35	試験用紙返却、解説		
	18	試験用紙返却、解説		36	振り返り まとめ		
成 績 割 合		テスト	70%	学 習 FB 方 法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	20%				
		レポート	10%	成 績 評 価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫80% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫10% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		文部科学省、国土交通省、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。					

シラバス

科目名		Airline English I		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週1時間)	
授業目的		エアライン(機内、空港)で使う英語に慣れ、サービスで使う英語を習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		基本の会話の文章を暗記し、丁寧な言い方がすぐに使えるように繰り返し学習する。					
授業概要		JAL監修の機内英語会話テキストを全て習得できるよう会話力を鍛える。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	オリエンテーション、授業の進め方説明		19	L 6 Sec 1,2 reading, dialogues		
	2	Lesson1 Section1 reading,vocabulary		20	L 6 Sec 3,4 文法、writing		
	3	L 1 Sec 1,2 reading, dialogues		21	L 6 Review, ロールプレイング		
	4	L 1 Sec 3,4 文法、writing		22	L 7 Sec 1,2 reading,dialogues		
	5	L1 Review ロールプレイング		23	L 7 Sec 3,4 文法、writing		
	6	L 2 Sec 12 reading, dialogues		24	L 7 Review, ロールプレイング		
	7	L 2 Sec 3,4 文法、writing		25	L 8 Sec 1,2 reading,dialogues		
	8	L 2 Review, ロールプレイング		26	L 8 Sec 1,2 reading,dialogues		
	9	L 3 Sec 1,2 reading, dialogues		27	L 8 Review, ロールプレイング		
	10	L 3 Sec 3,4 文法、writing		28	L 9 Sec 1,2 reading,dialogues		
	11	L 3 Review, ロールプレイング		29	L 9 Sec 3,4 文法、writing		
	12	L 4 Sec 1,2 reading, dialogues		30	L 9 Review, ロールプレイング		
	13	L 4 Sec 3,4 文法、writing		31	L 10 Sec 1,2 reading,dialogues		
	14	L 4 Review, ロールプレイング		32	L 10 Sec 3,4 文法、writing		
	15	L 5 Sec 1,2 reading, dialogues		33	L 10 Review, ロールプレイング		
	16	L 5 Sec 3,4 文法、writing、Review, ロールプレイング		34	期末試験		
	17	期末試験		35	試験返却		
	18	試験返却		36	まとめ		
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		30%				
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

シラバス

科目名		Interview English		担 当 者 名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必 修 選 択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)	
授業目的		英語面接に慣れることを目標とする。英語表現だけでなく、第一印象を良くするためのコツを体得。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		面接にふさわしい英語を選んで、自分自身を魅力的に表現する。 自分にはどのような形容詞が合っているのかを、担当教員と話し合って自己PRを作っていく。					
授業概要		英語面接練習をもとに英語でのエントリーシート作成も行う。外資系企業に勤めていた教員による授業であるため、就職活動の際のコツをつかむことができる。					
授業計画表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容		
	1	Intro to Course Entering and Leaving(授業の導入、入退室の仕方)		19	Pair Discussion 1(ペアーディスカッション)		
	2	Small Talk(スモールトーク)		20	Group Discussion 1(グループディスカッション1)		
	3	Professional Presentation Self-introduction(面接にふさわしい振る舞い、自己紹介)		21	Group Discussion 2(グループディスカッション2)		
	4	Self-introduction Review(自己紹介、復習)		22	Group Discussion Test(グループディスカッションテスト)		
	5	Sounding Natural(自然な言葉遣い)		23	Future Goals(将来の目標)		
	6	Sounding Natural Review(自然な言葉遣い、復習)		24	Future Goals(将来の目標)		
	7	Self-introduction(自己紹介)		25	Test review(試験に向けての復習)		
	8	TEST(試験)		26	TEST(試験)		
	9	TEST(試験)		27	TEST(試験)		
	10	Likes and Interests(趣味と興味)		28	Skills and Traits(スキルと性格)		
	11	Likes and Interests(趣味と興味)		29	Skills and Traits(スキルと性格)		
	12	Group Interview(グループ面接)		30	Skills and Traits Company/Institution Research HW(スキルと性格、企業研究宿題)		
	13	Group Interview(グループ面接)		31	Check Company/Institution Research HW(企業研究宿題チェック)		
	14	School OR Work(学校か仕事か)		32	Why do you want to work/study at ...?(志望動機)		
	15	School OR Work(学校か仕事か)		33	Why do you want to work/study at ...?(志望動機)		
	16	School OR Work(学校か仕事か)		34	Test review(試験に向けての復習)		
	17	TEST(試験)		35	TEST(試験)		
	18	TEST(試験)		36	TEST(試験)		
成績割合	テスト		75%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		25%				
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。					

シラバス

科目名		コンピュータ実習Ⅰ		担当 者 名		深井 妙子	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格できるレベルを目指す(資格取得希望者は受験可能)					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)→レポートを提出 ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語、PC用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	科目ガイダンス		19	図の挿入/図形の描画		
	2	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本		20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	3	タイピング練習/文字入力の基本		21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	4	ビジネス文書の書き方		22	日商PC検定文書作成検定 試験問題1		
	5	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		23	日商PC検定文書作成検定 試験問題2		
	6	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		24	日商PC検定文書作成検定 試験問題3		
	7	ビジネスメールの書き方		25	日商PC検定文書作成検定 試験問題4		
	8	ビジネスメール課題		26	日商PC検定文書作成検定 試験問題5		
	9	表作成の基本		27	日商PC検定文書作成検定 試験問題6		
	10	ビジネス文書課題(表のある文書)		28	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1		
	11	ビジネス文書課題(表のある文書)		29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2		
	12	ビジネス文書課題(表のある文書)		30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3		
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)		31	日商PC検定文書作成検定 模擬問題4		
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)		32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題5		
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)		33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題6		
	16	前期期末試験		34	後期期末試験		
	17	前期期末試験の解答解説		35	後期期末試験の解答解説		
	18	前期振り返り		36	後期振り返り		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		建設業界で、設計の仕事に加え事務処理(申請業務、見積書の作成、工程表作成など)の実務経験及び、職業訓練校での講師経験も長く、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

シラバス

科目名		TOEIC I		担 当 者 名		鈴木良	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72 時 間(週講時数 2)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストで高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEICのストラテジーを実践を通して身につける。TOEIC 500点～600点を目指す。					
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・リスニングのストラテジーを実践を通して身につける。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 3 (1-25)、Part 5-6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 3 (26-50)、Part 5-6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 3 (51-75)、Part 7	
	4	TOEIC テストの紹介、サンプル問題			22	TOEIC Vocabulary 3 (76-100)、Part 7	
	5	模試1 Q. 1-100、TOEIC Vocabulary 1 (1-25)			23	Vocabulary quiz 3	
	6	模試1 Q. 101-200、TOEIC Vocabulary 1 (26-50)			24	模試4 Q. 1-167	
	7	TOEIC Vocabulary 1 (51-75)、Part 1, Part 2			25	TOEIC Vocabulary 4 (1-25)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 1 (76-100)、Part 2			26	TOEIC Vocabulary 4 (26-50)、Part 6	
	9	Vocabulary exam 1, Part 2			27	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、Part 7	
	10	TOEIC Vocabulary 2 (1-25)、Part 3-4			28	TOEIC Vocabulary 4 (76-100)、Part 7	
	11	TOEIC Vocabulary 2 (26-50)、Part 3-4			29	Vocabulary quiz 4	
	12	模試2 Q. 1-167			30	TOEIC Vocabulary 0 (1-25)、Part 2	
	13	TOEIC Vocabulary 2 (51-75)、Part 5(タイムマネジメント)			31	TOEIC Vocabulary 0 (26-50)、Part 2	
	14	TOEIC Vocabulary 2 (76-100)、Part 5-6			32	後期期末テスト(模試5 Q. 1-167)	
	15	Vocabulary exam 2、ストラテジー復習			33	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、テスト返却	
	16	Part 3-4			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Part 3-4			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試3 Q. 1-146)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

シラバス

科目名		韓国語 I		担 当 者 名		具 美善	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		韓国語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		韓国語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。					
授業概要		韓国語の文字の仕組みを理解した上で単語と文章の読み書きや聞き取り、正しい発音を練習する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	授業オリエンテーション		19	前期復習①		
	2	文字の読み書き①		20	前期復習②		
	3	文字の読み書き②		21	第6課(～ます、～ますか)		
	4	文字の読み書き③		22	第7課(否定文)		
	5	文字の読み書き④		23	第8課(漢字語数詞)		
	6	文字の読み書き⑤		24	第9課(～ます、～ますかの他の表現)		
	7	文字の読み書き⑥		25	第10課(固有語数詞)		
	8	文字の読み書き⑦		26	第11課(過去形)		
	9	文字の読み書き⑧		27	第12課(敬語表現)		
	10	文字の読み書き⑨		28	第13課(敬語の過去)		
	11	第1課(～です、～ですか)		29	第14課(逆説表現)		
	12	第2課(～ではありません)		30	第15課(希望表現)		
	13	第3課(～です、～ですかの他の表現)		31	授業まとめ/復習①		
	14	第4課(あります、います)		32	授業まとめ/復習②		
	15	第5課(位置を表す表現)		33	授業まとめ/復習③		
	16	授業まとめ		34	期末テスト		
	17	期末テスト		35	テスト返却		
	18	試験返却 解説		36	振り返り まとめ		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		一橋大学大学院 言語社会研究科 博士課程修了 一橋大学大学院 言語社会研究科 特別研究員 / 韓国学研究所 研究員					

シラバス

科目名		グランドスタッフ概論		担当 者 名		小池 はるか		
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授業目的		航空会社の一員であるグランドスタッフとして働くために必要な知識や業務内容について知る						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		・様々な空港旅客サービスを想定した授業を通して、グランドスタッフとして求められる人材に近づく ・実際にお客様と接することの難しさやひとりひとりのお客様と向き合うことの重要性を知る						
授業概要		搭乗手続きの手順や渡航に関する知識、安全意識、確認の大切さ、お客様と接する際に心掛ける事等を座学形式やロールプレイング形式にて学んでもらう。 また、実際に空港で業務中に起こった特殊な事例やミス等を紹介しケーススタディとして知ってもらう。						
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容		
	1	航空業界の概要 ①			19	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ①		
	2	航空業界の概要 ②			20	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ②		
	3	空港業務 ①			21	発券業務 ①		
	4	空港業務 ②			22	発券業務 ②		
	5	出発業務(航空用語、特殊旅客) ①			23	チェックイン実践 ①		
	6	出発業務(航空用語、特殊旅客) ②			24	チェックイン実践 ②		
	7	顧客案内 ①			25	到着業務 ①		
	8	顧客案内 ②			26	到着業務 ②		
	9	チェックイン業務 ①			27	到着業務 ③		
	10	チェックイン業務 ②			28	到着顧客案内実践 ①		
	11	チェックイン実践 ①			29	到着顧客案内実践 ②		
	12	チェックイン実践 ②			30	到着顧客案内実践 ②		
	13	チェックイン実践 ③			31	期末テスト ①		
	14	出発業務(出入国規定) ①			32	期末テスト ②		
	15	出発業務(出入国規定) ②			33	テスト返却 解説		
	16	期末テスト ①			34	まとめ ①		
	17	期末テスト ②			35	まとめ ②		
	18	テスト返却 解説			36	振り返り		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度		30%				
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		アジアナ航空のグランドスタッフとして、成田空港で約10年間旅客サービス業務に従事してまいりました。業務中に起こる様々な出来事を題材に、経験豊富な現役のスタッフと共に授業を進めていく予定です。						

シラバス

科目名	話し方		担 当 者 名	古閑三恵	
学科	エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法	講義 実習 発表	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的	「言葉づかい」は「心づかい」。言葉により勇気づけられたり傷つけられたり。言葉の大切さを共に学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	接客業に必要なお客様に聞き取りやすい基本的な声の出し方。話し上手である必要はありません。相手への気配りを言葉の端々に感じさせる人こそコミュニケーション上手。自分の考えを自分の言葉で表現出来る人に。 相手の話しを聞く力をつける。一年後、人前で話す事が楽しくなるように。				
授業概要	口の開け方、声の出し方、立ち姿の基本を徹底し、自分の為だけではなくお客様に対し(接客業)親切な声を作る。マニュアルだけでなく自分の考えを自分の言葉でしっかりと伝える事が出来るよう、多くの発表の場を設ける。 人の話しをどう聞かかに人間性が表れる。人の発表についての自分の考えを自由に発言してもらう。				
授 業 計 画 表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	授業の進め方、自己紹介、話し方とは？		19	敬語の基本
	2	ストレッチ、正しい立ち方、呼吸法、ゲーム		20	ストレッチ、発声、(テクノス祭の司会者練習)
	3	ストレッチ、腹式呼吸、正しい口の開け方		21	ストレッチ、発声テクノス祭を終えて。スピーチ
	4	ストレッチ、腹式呼吸、50音発声		22	プレゼン構成Ⅱ 文章作り
	5	ストレッチ、50音発声、(早口言葉)		23	発表
	6	ストレッチ、50音発声、(プレゼン構成Ⅰ)		24	発表
	7	ストレッチ、50音発声、(60秒発表)		25	発表
	8	好きな映画について 発表		26	50音発声テスト
	9	好きな映画について 発表		27	敬語小テスト
	10	好きな映画について 発表		28	テスト「テーマで発表」
	11	広島・長崎朗読劇「この子たちの夏」の朗読		29	ストレッチ、発声(ゲーム)
	12	夏休み宿題「美術館」発表		30	エレベーターピッチ(就職活動に向けて自己PR練習)
	13	夏休み宿題「美術館」発表		31	エレベーターピッチ
	14	夏休み宿題「美術館」発表		32	発表「今まで生きてきた中で一番大切にしている事、人、物」
	15	テスト「テーマで60秒発表」		33	発表
	16	詩を読む		34	発表
	17	お芝居をやってみよう！(自分を解放する。)		35	発表
	18	ナレーションなど。		36	最後に皆さんに。
成績割合	テスト		40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度		40%		
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	劇団四季附属演劇研究所卒業。井上ひさしの劇団「こまつ座」を経て現在プロダクション所属。舞台、映画、ドラマ、ラジオパーソナリティ、ナレーション、司会、大手プロダクション演技指導等。				

シラバス

科目名		Speaking I		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)	
授業目的		基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。					
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をとおして、英語を基礎から学びます。自分に あっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。					
授業計画表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19	Planning a trip. 海外旅行計画が作れるように学びます。		
	2	オリエンテーション2		20	Airport English. C・I・Qで使われる英語を学びます。		
	3	オリエンテーション3		21	Staying at the hotel. ホテルでの英語を学びます。		
	4	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問		22	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます		
	5	Present Tense 現在形を練習します。		23	Making small talk. 雑談できるように学びます。		
	6	動詞'Be' 'Be' 動詞の使い方を学び。		24	What not to talk about. いい話題と悪い話題を学びます。		
	7	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。		25	Directions. 方向や目的地までの行き方を英語で 伝えられるように学びます。		
	8	Describing People 人の様子を説明する練習をします。		26	Public Transportation. 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。		
	9	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。		27	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝える ように学びます。		
	10	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。		28	Travel manners and safety. 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びま		
	11	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。		29	Making requests. お願いの仕方について学びます。		
	12	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・ チェック		30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明		
	13	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。		31	American Joke 日本とアメリカのユーモアのの違いについて学びま		
	14	Questions 現在形の質問をゲーム形式 で学びます。		32	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。		
	15	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション		33	Sharing my dream vacation なぜここを選んだ」とい う		
	16	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。		34	確認テスト・まとめ1		
	17	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな 食べもの、レストランでの注文の仕方を学びます。		35	確認テスト・まとめ2		
	18	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンド イッチの作り方を説明を練習します。		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート		0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績 評価を行う。	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		アマデウス実習I		担 当 者 名		小泉 公仁子	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線の予約の操作を学び、「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使つて基本操作を学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュース等を取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会との繋がりを意識させる。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	小児・幼児の情報入力	
	3	オリエンテーション3			21	各種ミール、HELP活用方法	
	4	アマデウスシステム 基本的な操作方法			22	フリークエントフライヤープログラム	
	5	国際線基礎知識			23	座席指定	
	6	各種コード検索			24	セキュアフライトプログラム	
	7	情報検索、タイムテーブル、スケジュール照会			25	OSI	
	8	空席照会、ステータスコード			26	RMKS	
	9	空席照会オプションエントリー			27	基礎知識まとめ	
	10	空席照会からの予約			28	ロールプレイ①	
	11	旅客データ 綴り、タイトル			29	ロールプレイ②	
	12	PNR作成 必須項目の入力			30	総復習	
	13	PNR完了後のステータスコード、中断、抽出			31	検定対策①	
	14	乗継便、取消し待ち、ARNK, オープン			32	期末テスト(検定対策②)	
	15	PNR項目の取消し、修正、変更			33	検定対策③	
	16	ダイレクトアクセス、アクセスレベル			34	まとめ①	
	17	総復習			35	まとめ②	
	18	期末テスト			36	まとめ③	
成績割合		テスト	30%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度	20%				
		検定	50%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>50% G<海外体験型学習>10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		職業適性講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義・実習	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間（週講時数1）
授業目的		テクノスの学修機会を存分に体験してもらう「しくみ」を伝え、成長を実感してもらう					
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）		社会人となるための自覚や、自信の特徴・適正などにを自覚する。 学年の違いを活かした協働授業をすることで、それぞれの自覚を促す。					
授業概要		講義形式で行う。クラス担任が実施。適宜、プレゼンなどを取り入れて実施。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	学修機会を使い切ろう 後期の目標設定	
	2	職業を得るとはどういうことか考える			20	テクノスノートを使用し、明確にする	
	3	テクノスノートを使用し、1年間の過ごし方を考える			21	目標達成するための工夫をディスカッションする	
	4	今年度の目標を設定する			22	成長した部分の確認	
	5	目標達成のための計画をつくる			23	工夫を今後に活かす	
	6	計画を実行するためには?? メンター制度			24	マナープロトコル検定に向けて	
	7	お互いに観察し、振り返りを共有			25	マナープロトコル検定 模擬試験①	
	8	学修機会の再確認			26	マナープロトコル検定 模擬試験②	
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27	マナープロトコル勉強会	
	10	フィールドワークとは??その目的、目標は			28	マナープロトコル勉強会	
	11	事前プレゼンテーション			29	フィールドワーク② 内容を決める	
	12	実際に探求、体験、その成果検証			30	事前プレゼンテーション	
	13	報告プレゼンテーション準備			31	フィールドワーク	
	14	プレゼンテーション			32	報告プレゼンテーション準備①	
	15	プレゼンテーション			33	報告プレゼンテーション	
	16	振り返りスピーチ			34	報告プレゼンテーション	
	17	振り返りスピーチ			35	振り返りスピーチ	
	18	まとめ			36	まとめ	
成績割合		テスト（プレゼン）		20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担当者名		和田 みさ	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。 NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	3	ガイダンス・導入			21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (人物・家族の表現)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)			28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃 (趣味の表現)			29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	12	〃 (職業などの表現)			30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	15	前期の復習			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(表出試験)			35	試験の返却/解説	
	18	〃 (読み取り/筆記試験)			36	まとめ	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		学習法		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 必修	後 期・通 年 選択・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		テクノスでの学生生活を円滑に進めるための心得を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		学校生活におけるルールなどを身に付ける					
授業概要		日直制度について、ドレスアップとは、レポートの書き方また、ワークショップ等を行う					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	自己紹介			19		
	2	自己紹介			20		
	3	講義形式の授業の受け方			21		
	4	実習形式の授業の受け方			22		
	5	インターンシップについて			23		
	6	レポート提出について			24		
	7	レポートの書き方			25		
	8	提出物について			26		
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27		
	10	日直制度について			28		
	11	一般的なドレスアップについて			29		
	12	オフィスカジュアルとは			30		
	13	学内での注意事項			31		
	14	学内でのルール			32		
	15	ワークショップ①			33		
	16	ワークショップ②			34		
	17	ワークショップ③			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		自己の存在価値および社会人としての役割を認識する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「職業観」を理解し、自身のキャリアプランを考える。 履歴書作成および面接試験を行い、就職活動に対する意識づけ。					
授業概要		講義形式が基本。適宜、グループディスカッションなども行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	進路&業界研究			19		
	2	キャリアビジョンを考える			20		
	3	業界の働く環境			21		
	4	求人票の見方			22		
	5	自己分析①			23		
	6	自己分析②			24		
	7	企業研究の仕方			25		
	8	企業研究①			26		
	9	企業研究②			27		
	10	グループディスカッション①			28		
	11	グループディスカッション②			29		
	12	志望動機の作り方①			30		
	13	志望動機の作り方②			31		
	14	履歴書&ESの書き方①			32		
	15	履歴書&ESの書き方②			33		
	16	企業への連絡マナー			34		
	17	第一印象の重要性			35		
	18	面接練習			36		
成績割合		テスト		0%		学習FB方法	成績表送付
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)	
授業目的		履歴書やESに記入する内容を、自らの自己分析を基に記入する。それを教員がアドバイスすることで、書き方のコツを学ぶ。 また、筆記試験対策として、国語・社会・英語を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職試験に必要な自己分析や、筆記試験に対する意識づけを行う。					
授業概要		講義形式が基本。客室乗務員として勤務し、本校の就職担当教員を務める教員が担当。 英語面接の練習は、外国人教員が担当する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	志望動機作成①		19			
	2	志望動機作成②		20			
	3	志望動機添削		21			
	4	自己PR作成①		22			
	5	自己PR作成②		23			
	6	自己PR作成③		24			
	7	自己PR添削		25			
	8	英語面接練習①		26			
	9	英語面接練習②		27			
	10	英語面接練習③		28			
	11	筆記試験対策 国語①		29			
	12	筆記試験対策 国語②		30			
	13	筆記試験対策 社会①		31			
	14	筆記試験対策 社会②		32			
	15	筆記試験対策 社会③		33			
	16	筆記試験対策 英語①		34			
	17	一般常識の試験		35			
	18	面接練習		36			
成績割合		テスト	0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率	80%				
		レポート・課題	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社でのグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職対策講座Ⅰ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授 業 方 法		実 習 ・ 講 義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修・選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		職活動に向けて必要な知識、技能(主に「コミュニケーション能力」、「行動力」、「情報収集能力」)を身に付ける。これを踏まえ、就職活動に必要な社会人としての知識や教養、技能修得し、自己認知のもと自己表現力の向上を目指し、自信を持って活動に臨めるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動に必要な基礎知識の修得、および、意欲的に就職活動に向かうためのマインドの醸成を目標とする。					
授業概要		SPIの問題集などを使って行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	就職試験とは			19		
	2	SPI対策①(言語)			20		
	3	SPI対策②(言語)			21		
	4	SPI対策③(言語)			22		
	5	SPI対策①(非言語)			23		
	6	SPI対策②(非言語)			24		
	7	SPI対策③(非言語)			25		
	8	集団面接対策講座①			26		
	9	集団面接対策講座②			27		
	10	集団面接対策講座③			28		
	11	グループディスカッション対策①			29		
	12	グループディスカッション対策②			30		
	13	グループディスカッション対策③			31		
	14	個人面接対策①			32		
	15	個人面接対策②			33		
	16	個人面接対策③			34		
	17	SPI試験			35		
	18	各種面接の総復習			36		
成績割合		テスト	0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率	80%				
		レポート・課題	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選 択 ・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		職業に関する理解を深めると共に、パーソナリティや多様なキャリアに関する理解する。また、社会において求められる能力を把握し、自らのキャリアを振り返り発信する力を育む。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		キャリアデザインに関連する知識を身に付けることを目標とする。					
授業概要		講義形式を基本とするが、グループワークやディスカッション、課題消化などを併用して進める。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19		
	2	キャリアとは何か			20		
	3	キャリアデザインに関する理論①			21		
	4	キャリアデザインに関する理論②			22		
	5	キャリアデザインに関する理論③			23		
	6	職業とは			24		
	7	多様な職業を知る			25		
	8	キャリアの振り返り			26		
	9	キャリアデザインの実例①(ゲストスピーカー)			27		
	10	パーソナリティ			28		
	11	社会の理解			29		
	12	キャリアデザインの実例②(ゲストスピーカー)			30		
	13	多様なキャリア			31		
	14	就職活動に関するスキル①			32		
	15	就職活動に関するスキル②			33		
	16	社会において求められる能力			34		
	17	キャリアデザインの実例③(ゲストスピーカー)			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト	0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率	80%				
		レポート・課題	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		観光英語Ⅰ		担当者名		岡野 秀子	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 必 修 ・ 選 択	・ 通 年 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		ホテルや空港などで使う実用的な言い回しを学び、観光英検2級・3級合格を目標とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本内外に関わらず、外国人と英語でコミュニケーション出来るようになる。またパンフレットや観光関連記事を多読して専門用語になれることを目標とする。					
授業概要		観光英語に頻出する単語を覚え、毎回の小テストでリマインドする。また、駅や飛行機の中で流れるアナウンスなどを聞き、即座に情報を得られるようにする。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	空港チェックインカウンターのやりとり		19	観光英検講座(過去問から)		
	2	ツアーコンダクター ～空港からホテルまで		20	観光英検講座(過去問から)		
	3	J. F. ケネディ空港 交通機関に関するチラシ		21	観光英検講座(過去問から)		
	4	ホテルでのチェックイン		22	出入国管理と税関にて		
	5	レストラン～注文の仕方		23	レストランでの注文の仕方		
	6	レストラン～メニューの見方		24	観光1		
	7	駅でのやり取り Dictation		25	観光2		
	8	観光名所～ツアーの説明		26	ショッピング1		
	9	ショッピング～買い物の仕方		27	ショッピング2		
	10	時刻表を読む		28	交通機関1		
	11	観光パンフレットを読む1		29	交通機関2		
	12	観光パンフレットを読む2		30	国内旅行1～英語で紹介		
	13	トラブルと苦情1		31	国内旅行2～英語で紹介		
	14	トラブルと苦情2		32	日本地理を英語でプレゼンテーション(準備)		
	15	切符の買い方、食堂車の予約、リスニング		33	日本地理を英語でプレゼンテーション(準備)		
	16	観光英語まとめ		34	日本地理を英語でプレゼンテーション(発表)		
	17	前期期末テスト		35	後期期末テスト		
	18	期末レポートについて		36	後期期末テスト振り返り		
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		30%				
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		日本航空国際線の客室乗務員として長年勤務した経験から、実際に使える生きた英語を教えている					

シラバス

科目名		Speaking II		担当者名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数		72時間(週講時数 2)
授業目的		英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト					
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業 です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等とおして、英語を基礎から学びます。自分 にあっていうレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての意見 を聞き、文化や歴史の違いを感じることが出来る。					
授業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	Units 7/8 Lesson A	
	2	オリエンテーション2			20	Units 7/8 Lesson B	
	3	オリエンテーション3			21	Units 7/8 Lesson C	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	Test 7/8	
	5	Units 1/2 Lesson B			23	Test 7/8	
	6	Units 1/2 Lesson C			24	Units 9/10 Lesson A	
	7	Test 1/2			25	Units 9/10 Lesson B	
	8	Test 1/2			26	Units 9/10 Lesson C	
	9	Units 3/4 Lesson A			27	Test 9/10	
	10	Units 3/4 Lesson B			28	Test 9/10	
	11	Units 3/4 Lesson C			29	Units 11/12 Lesson A	
	12	Test 3/4			30	Units 11/12 Lesson B	
	13	Test 3/4			31	Units 11/12 Lesson C	
	14	Units 5/6 Lesson A			32	Test 11/12	
	15	Units 5/6 Lesson B			33	Test 11/12	
	16	Units 5/6 Lesson C			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Test 5/6			35	確認テスト・まとめ2	
	18	Test 5/6			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		75%	学習FB方法		会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点
		学習態度		25%			
		レポート		0%	成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		元Air Canada客室乗務員。25年以上日本で英語を教えている。					

シラバス

科目名		職業適性講座Ⅱ		担 当 者 名		岡 野 秀 子		
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義・グループワーク		
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)	
授業目的		社会人基礎力の育成をする						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動および社会人として必要なことをクラス全員で考え、学び、行動に移す						
授業概要		就職活動のサポート授業 学内イベント準備						
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容		
	1	授業オリエンテーション			19	前期の反省		
	2	〃			20	後期クラス目標設定		
	3	Units 1/2 Lesson A			21	後期個人目標設定		
	4	クラス目標設定			22	就職対策4		
	5	個人目標設定			23	就職対策5		
	6	就職対策1			24	就職対策6		
	7	就職対策2			25	卒展 クラス企画話し合い		
	8	就職対策3			26	卒展 クラス企画決定		
	9	学院祭 クラス企画話し合い			27	グループワークについて		
	10	学院祭 クラス企画決定			28	プレゼンテーション		
	11	主体性について			29	冬期特別講座概要		
	12	チームワークについて			30	卒業に向けて		
	13	夏期特別講座概要			31	社会人の心構え		
	14	学院祭について			32	テクノス展準備		
	15	学院祭について			33	テクノス展準備		
	16	学院祭について			34	授業まとめ/振り返り		
	17	個人目標再設定			35	〃		
	18	前期総括			36	〃		
成績割合		テスト		学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		学習態度・出席率						80%
		レポート		20%	成績評価			
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		JALの国際線客室乗務員として24年間勤務。VIPフライト・新人外国人教官経験あり。						

シラバス

科目名		プレゼンテーション		担当 者 名		東真理	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義、実習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 1)
授業目的		コミュニケーション能力を高め、社会人にふさわしい話し方を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プレゼンテーションの発表を目的とし、「説明」から「説得」へ。聞く人の心を動かすスピーチの習得を目指す。					
授業概要		プレゼンテーションの基礎となる話し方の技術を学ぶ座学と、実際に人前で発表する実技を共に行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	年間予定と「プレゼンテーション」について説明。講師紹介。			19	〃	
	2	基礎レッスン・ボイストレーニング①			20	敬語②	
	3	〃			21	ディベート	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	〃	
	5	〃			23	プレゼンテーション	
	6	〃			24	〃	
	7	敬語①			25	〃	
	8	グループディスカッション・模擬面接			26	〃	
	9	〃			27	〃	
	10	〃			28	グループワーク	
	11	話し方表現練習			29	グループワーク	
	12	時事についてのスピーチとディスカッション			30	グループワーク	
	13	〃			31	グループワーク	
	14	前期末スピーチテスト			32	学年末テスト	
	15	〃			33	〃	
	16	基礎レッスン・ボイストレーニング②			34	年間のまとめ	
	17	説明と説得・ロールプレイ			35	〃	
	18	〃			36	〃	
成績割合		テスト	50%	学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	10%	成績評価			
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		(有)スターダス・21所属、映像・舞台・声・CM等出演／(株)「話し方研究所」認定インストラクター講師					

シラバス

科目名		Airline English II		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義、テキスト、練習問題、listening	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。					
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	Unit 1 Transportation, Listening,過去問			19	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問	
	2	U1, Transportation,Listening,過去問			20	U10 Culture Experience in Japan 1	
	3	U2 At a check in counter,Listening,過去問			21	U11 Culture Experience in Japan 2	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	5	U3 Facilities & service,Listening,過去問			23	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	6	U3 Facilities & service,Listening,過去問			24	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	7	U4 Giving Direction,Listening,過去問			25	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	8	U4 Giving Direction,Listening,過去問			26	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	9	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			27	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	10	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			28	U15 Upon Departure	
	11	U6 Dining in Japan,Lis,過去問			29	まとめ・振り返り	
	12	U7 Dining in Japan,Lis,過去問			30	まとめ・振り返り	
	13	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			31	まとめ・振り返り	
	14	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			32	後期期末テスト	
	15	Riview,Lis.過去問			33	テスト返却、解説	
	16	前期期末テスト			34	確認テスト・まとめ1	
	17	テスト返却、解説			35	確認テスト・まとめ2	
	18	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法		出席率80%以上
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

シラバス

科目名		アマデウス実習ⅡA		担 当 者 名		毛利奈緒	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数		72時 間 (週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。 航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。 リアルタイムなニュースや情報を取り上げて常に業界の現状を意識し、就職活動、就職後につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び、秋の「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習 後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。					
授 業 計 画 表	前期				後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	分割、変更	
	3	オリエンテーション3			21	PNRのコピー、変更	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	ヒストリー、キュー	
	5	各種コード検索			23	空席照会応用(2区間など)	
	6	タイムテーブル、空席照会、スケジュール照会			24	SSR応用(連絡先、APISなど)	
	7	空席照会からの予約			25	運賃①	
	8	旅客氏名、連絡先、PNR必須項目の入力			26	運賃②	
	9	完了、中断、抽出、乗継便の予約			27	基礎知識まとめ①	
	10	ロングセル、キャンセル待ち、ARNK、オープン			28	基礎知識まとめ②	
	11	項目の取消、訂正、変更、小児、幼児の予約			29	ロールプレイ①	
	12	各種ミール、HELPの活用、座席指定			30	ロールプレイ②	
	13	ダイレクトアクセス、アクセスレベル、GG			31	期末テスト対策	
	14	FFP、OSI、RMKS			32	期末テスト	
	15	総復習			33	総まとめ	
	16	検定対策①			34	確認テスト・まとめ1	
	17	期末テスト(検定対策②)			35	確認テスト・まとめ2	
	18	検定対策③			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト	30%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度	20%				
		検定	50%		成績評価		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務(株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		Japanese Cluture		担 当 者 名		Gary	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		日本の文化を様々な角度から見る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本の伝統や文化を学ぶ					
授業概要		日本らしさを残す鎌倉や京都に学び、和食や祭りなど日本の良さを調べて考え、プレゼンテーションをする					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	世界遺産	
	2	オリエンテーション2			20	京都	
	3	Units 1/2 Lesson A			21	京都の世界遺産	
	4	イントロダクション			22	和風建築	
	5	日本について知っていること			23	日本の家屋・古民家	
	6	日本の各時代			24	江戸建物	
	7	時代についてプレゼンテーション			25	江戸建物・博物館	
	8	鎌倉時代			26	スピーチの準備	
	9	鎌倉の建築物			27	スピーチの練習	
	10	鎌倉のプレゼンテーション1			28	クラスでスピーチ披露	
	11	鎌倉のプレゼンテーション2			29	モダン日本文化・ポップカルチャー	
	12	日本食			30	最後のスピーチ	
	13	日本食プレゼンテーション			31	テストの説明	
	14	日本の夏			32	クラスでスピーチ	
	15	日本の祭り			33	期末テスト	
	16	祭りとテストの説明			34	確認テスト・まとめ1	
	17	祭りのプレゼンテーション			35	確認テスト・まとめ2	
	18	期末テスト			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		学習態度・出席率		30%			
		レポート			成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		イギリス人であるが、日本で長年講師を務め、日本の文化に精通している					

シラバス

科目名		Route InformationA		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年		1 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	18時 間(週講時数1)
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	世界の食事情			19		
	2	世界の行事・イベント			20		
	3	世界のテーマパーク			21		
	4	Units 1/2 Lesson A			22		
	5	地域研究概論(各地の空港と観光地)			23		
	6	地域研究 ヨーロッパ1			24		
	7	地域研究 ヨーロッパ2			25		
	8	地域研究 ヨーロッパ3			26		
	9	地域研究 北アメリカ			27		
	10	地域研究 北アメリカ2			28		
	11	地域研究 東南アジア1			29		
	12	地域研究 東南アジア2			30		
	13	地域研究 中国			31		
	14	地域研究 オセアニア			32		
	15	地域研究 太平洋の島々			33		
	16	地域研究 オセアニア			34		
	17	地域研究 中近東・アフリカ			35		
	18	確認テスト・まとめ2			36		
成績割合		テスト		40%	学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		学習態度		40%			
		レポート		20%	成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		Route InformationB		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年		2 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	世界の食事情	
	2	世界の国々と首都			20	世界の行事・イベント	
	3	世界遺産			21	世界のテーマパーク	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	世界の空港	
	5	オーストラリア・ニュージーランド			23	地域研究概論(各地の空港と観光地)	
	6	太平洋の島々			24	地域研究 ヨーロッパ1	
	7	アメリカ			25	地域研究 ヨーロッパ2	
	8	カナダ・メキシコ・ブラジル・ペルー			26	地域研究 ヨーロッパ3	
	9	欧) 全体の地勢			27	地域研究 北アメリカ	
	10	欧) 英・仏・伊			28	地域研究 北アメリカ2	
	11	欧)ドイツ・スイス・ベルギー 中欧諸国			29	地域研究 東南アジア1	
	12	欧)スペイン・ポルトガル ギリシャ			30	地域研究 東南アジア2	
	13	欧)北欧諸国・ロシア			31	地域研究 中国	
	14	中国			32	地域研究 オセアニア	
	15	台湾、香港、韓国			33	地域研究 太平洋の島々	
	16	タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン			34	地域研究 オセアニア	
	17	インド、インドネシア、 その他の東南アジア諸国			35	地域研究 中近東・アフリカ	
	18	確認テスト・まとめ1			36	確認テスト・まとめ2	
成績割合		テスト	40%	学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		学習態度	40%				
		レポート	20%	成績評価			
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		TOEIC II		担 当 者 名		鈴木良	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72 時 間(週講時数 2)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストでさらに高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC 1 で学んだストラテジーをさらなる実践を通して習熟する。TOEIC 650点～750点を目指す。					
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・Part 6, Part 7の教材を使い、リーディング力を伸ばす。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 7 (26-50)、Part 6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 7 (51-75)、Part 6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 7 (76-100)、Part 7	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	Vocabulary exam 7	
	5	模試5 Q. 1-167			23	模試10 Q. 1-167	
	6	TOEIC Vocabulary 5 (26-50)、Part 2			24	TOEIC Vocabulary 8 (1-25)、Part 6	
	7	TOEIC Vocabulary 5 (51-75)、Part 6			25	TOEIC Vocabulary 8 (26-50)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 5 (76-100)、Part 6			26	TOEIC Vocabulary 8 (51-75)、Part 7	
	9	Vocabulary exam 5			27	TOEIC Vocabulary 8 (76-100)、Part 7	
	10	模試7 Q. 1-167			28	Vocabulary exam 8	
	11	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)、Part 2			29	模試11 Q. 1-167	
	12	TOEIC Vocabulary 6 (26-50)、Part 6			30	TOEIC Vocabulary 9 (1-25)、Part 6	
	13	TOEIC Vocabulary 6 (51-75)、Part 6			31	TOEIC Vocabulary 9 (26-50)、Part 6	
	14	模試8 Q. 1-167			32	後期期末テスト(模試12 Q. 1-167)	
	15	TOEIC Vocabulary 6 (76-100)、Part 6			33	TOEIC Vocabulary 9 (51-75)、テスト返却	
	16	Vocabulary exam 6			34	確認テスト・まとめ1	
	17	TOEIC Vocabulary 7 (1-25)、Part 6			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試9 Q. 1-167)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法		期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

シラバス

科目名		航空人間学Ⅱ		担 当 者 名		権 銘大	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授業時間数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		人間力の向上を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		それぞれの個性を見つけ、伸ばすことを目標として、希望する会社に入れるようにすることが目的である。自分の意見を持ち、コミュニケーション力をいかに身につけるかが、大切なテーマである					
授業概要		様々な名著から引用した文や感銘を受けた歌のフレーズや動物の不思議な習性等から感じ取ったことを全員で話し合う。また航空会社の魅力についても各自意見交換をする					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	授業の目標と目的		19			
	2	自分の希望職種とそれを選んだ理由		20			
	3	Units 1/2 Lesson A		21			
	4	「三間」について学ぶ		22			
	5	航空会社の魅力		23			
	6	「どくろうの説話」を聞いて感じたこと		24			
	7	航空会社のサービス・成功例と改善点		25			
	8	「世界に一つだけの花」の意味		26			
	9	航空会社の商品の特徴・無形の商品		27			
	10	「ヤマアラシのジレンマ」について		28			
	11	空港のグランドハンドリングサービス		29			
	12	マズローの欲求5段階説		30			
	13	航空関連・OCCの役割と仕事		31			
	14	「だまし絵」と「名画」を比べてみる		32			
	15	接客とは何か？		33			
	16	「人間万事塞翁が馬」について考える		34			
	17	自分の容量・キャパシティを知る		35			
	18	期末レポートについて		36			
成績割合	テスト			学習FB方法			
	学習態度・出席率		80%				
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元アジアナ研修で勤務した経験があり、人間力を高める考え方や「心」についてためになる講義を展開する					

シラバス

科目名		コンピューター実習Ⅱ		担当 者 名		千葉 輝子	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時 間(週講時数2)
授業目的		Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	科目ガイダンス			19	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	2	Power Pointの基本操作/スライドの作成 (アウトライン表示)			20	課題(計算、表の装飾)	
	3	スライドの作成 図			21	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	5	スライドの作成 SmartArt			23	表作成課題(IF関数)	
	6	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について			24	グラフ作成の基本	
	7	発表用資料作成			25	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	8	〃			26	〃	
	9	〃			27	〃	
	10	〃			28	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	11	〃			29	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	12	中間試験 プレゼン発表			30	〃	
	13	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)			31	〃	
	14	表作成課題(四則演算/表の装飾)			32	〃	
	15	〃			33	〃	
	16	〃			34	後期期末試験	
	17	前期期末試験			35	後期期末試験の解答解説	
	18	前期期末試験の解答解説/前期振り返り			36	後期振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫ R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

[illegible]

シラバス

科目名		応用ゼミⅡA		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授 業 方 法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1 ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション2 チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① そもそも空港って??			21		
	4	Units 1/2 Lesson A			22		
	5	ヒントを得る③ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果は、問題は)			23		
	6	ヒントを得る④ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)			24		
	7	ヒントを得る⑤ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)			25		
	8	ヒントを得る⑥ 日本とアジアや世界の空港の違い			26		
	9	ヒントを得る⑦ 歴史に学ぶ～成田闘争について～			27		
	10	ヒントを得る⑧ 今後の航空業界における空港の役割 は??			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、今後の空港の機能や SVC、戦略を考える			36		
成 績 割 合		テスト(最終プレゼン)		20%	学 習 FB 方 法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成 績 評 価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		応用ゼミⅡB		担 当 者 名		入澤 一樹		
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授 業 方 法		講義、演習、実習など		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期	後 期	通 年	授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 2)
				必 修 ・ 選 択		必 修 選 択		
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。						
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。						
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容		
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、戦略を考える。 考えた案の期待効果は??			19			
	2	課題設定⑥ 考えた案の期待効果は??			20			
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)			21			
	4	Units 1/2 Lesson A			22			
	5	課題の検証③ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			23			
	6	課題の検証④ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			24			
	7	課題の検証⑤ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			25			
	8	課題の検証⑥ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			26			
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27			
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28			
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29			
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30			
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31			
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32			
	15	最終プレゼン①			33			
	16	最終プレゼン②			34			
	17	まとめ			35			
	18	振り返り			36			
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学 習 FB 方 法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		60%				
		レポート・課題		20%	成 績 評 価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%						
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

シラバス

科目名		Seminar II B		担当者名		アーロン	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		演習、実技、自習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		専門授業の理解促進、課題遂行					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		計画を立てて物事を行う習慣、および課題・英会話を通しての語学力習得					
授業概要		アシスタントティーチャーのアドバイスを受けながら、授業での疑問点解決、課題実施、予習・復習をする。 週20分以上ネイティブ教員と英会話を行う。 英語に関するアクティビティが近い場合は、グループでの話し合いに充てる。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	オリエンテーション		19	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	2	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		20	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	3	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		21	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	4	Units 1/2 Lesson A		22	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	5	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		23	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	6	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		24	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	7	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		25	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	8	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		26	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	9	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		27	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	10	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		28	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	11	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		29	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	12	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		30	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	13	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		31	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	14	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		32	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	15	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		33	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	16	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		34	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	17	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		35	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		
	18	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		36	まとめ		
成績割合	テスト		0%	学習FB方法			
	学習態度		100%				
	レポート		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫40%					
講師プロフィール		20年近く日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		航空検定		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義、演習など	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		エアライン業界で関わる、さまざまな職種の知識を養う					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット、整備士、キャビンアテンダント、グランドハンドリングなど様々な航空関連業務と、それらに従事するために必要な資格や経歴についての知識を深め、航空検定2級および1級の合格を目標とする。					
授業概要		私たちが普段利用する、飛行機は、どのような職種の人々に関わり、その職業に従事するにはどのような資格や経歴が必要なのかを学びます。航空業界についての知識を深める。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション 航空検定を学ぶ意義		19			
	2	ドローンに関わる法令について		20			
	3	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について①		21			
	4	Units 1/2 Lesson A		22			
	5	管制官の業務・用語について		23			
	6	管制官の業務・用語について		24			
	7	客室乗務員の資格や業務について①		25			
	8	整備士の資格や業務について①		26			
	9	整備士の資格や業務について②		27			
	10	パイロットの資格や業務について①		28			
	11	パイロットの資格や業務について②		29			
	12	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について①		30			
	13	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について②		31			
	14	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について①		32			
	15	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について②		33			
	16	総復習		34			
	17	定期試験		35			
	18	試験返却、フィードバック		36			
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		20%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。						

シラバス

科目名		一般常識ⅡA		担当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択		授業時間数	18時間(週講時数1)
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		一般常識のテストの勉強や国内・国際時事についても学ぶ。就職試験に備える					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19		
	2	オリエンテーション2			20		
	3	Units 1/2 Lesson A			21		
	4	SPIの説明			22		
	5	英語			23		
	6	英語			24		
	7	数学			25		
	8	数学			26		
	9	国語			27		
	10	国語			28		
	11	過去問題を解く			29		
	12	過去問題解説			30		
	13	適性検査の説明			31		
	14	適性検査の例文			32		
	15	国内時事問題			33		
	16	国際時事問題			34		
	17	まとめのテスト			35		
	18	解説			36		
成績割合		テスト	40%	学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	20%	成績評価			
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当。					

シラバス

科目名		一般常識ⅡB		担当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 後 期 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数		18時間(週講時数1)
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		一般常識のテストの勉強や国内・国際時事についても学ぶ。就職試験に備える					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19		
	2	オリエンテーション2			20		
	3	Units 1/2 Lesson A			21		
	4	SPIの説明			22		
	5	英語			23		
	6	英語			24		
	7	数学			25		
	8	数学			26		
	9	国語			27		
	10	国語			28		
	11	過去問題を解く			29		
	12	過去問題解説			30		
	13	適性検査の説明			31		
	14	適性検査の例文			32		
	15	国内時事問題			33		
	16	国際時事問題			34		
	17	まとめのテスト			35		
	18	解説			36		
成績割合		テスト	40%	学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	20%	成績評価			
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当。					

シラバス

科目名		教養講座A		担当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択		授業時間数	18時間(週講時数1時間)
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		自己と向き合うことも必要であると伝える。社会人として働くうえで大切な力を身につけるヒントを得る					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19		
	2	オリエンテーション2			20		
	3	Units 1/2 Lesson A			21		
	4	1年生の振り返り			22		
	5	エアトラで身についたことを話し合う			23		
	6	学生と社会人の違い①			24		
	7	学生と社会人の違い②			25		
	8	社会人基礎力とは？			26		
	9	主体性、マニュアル族？			27		
	10	働きかけ力			28		
	11	計画力、計画倒れになってない？			29		
	12	実行力、やってみないと始まらない			30		
	13	ストレスコントロール力			31		
	14	発信力			32		
	15	傾聴力			33		
	16	柔軟性			34		
	17	状況把握力			35		
	18	おかれている立場を考える			36		
成績割合		テスト		20%	学習FB方法		
		学習態度・出席率		60%			
		レポート		20%	成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当					

シラバス

科目名		教養講座B		担 当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1時間)	
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		自己と向き合うことも必要であると伝える。社会人として働くうえで大切な力を身につけるヒントを得る					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	コンセンサスとは？			19		
	2	コンセンサスゲーム①			20		
	3	Units 1/2 Lesson A			21		
	4	課題発見力			22		
	5	課題に目を背けていませんか？			23		
	6	創造力			24		
	7	常に先を見据えて行動する			25		
	8	組織で求められるもの①			26		
	9	組織で求められるもの②			27		
	10	まだ足りないものは？			28		
	11	貴方の考える大人①			29		
	12	貴方の考える大人②			30		
	13	一人一人発表			31		
	14	一人一人発表			32		
	15	自信がつけましたか？			33		
	16	確認テスト・まとめ			34		
	17	確認テスト・まとめ			35		
	18	確認テスト・まとめ			36		
成績割合		テスト		20%	学習FB方法		
		学習態度・出席率		60%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当					

シラバス

科目名		接遇手話ⅡA		担 当 者 名		仲野	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授 業 方 法		講義・実技	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	3	Units 1/2 Lesson A			21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (人物・家族の表現)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)			28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃 (趣味の表現)			29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	12	〃 (職業などの表現)			30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	15	前期の復習			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(表出試験)			35	試験の返却/解説	
	18	〃 (読み取り/筆記試験)			36	まとめ	
成績割合		テスト	70%		学習FB方法	使用教材:「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会 発行)	
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点 以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		中国語ⅡA		担 当 者 名		劉 時 珍 (りゅう じちん)	
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授 業 方 法		講 義 (・演 習)	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時 間 (週講時数1)
授業目的		中国語を身に付け、中国の文化に触れ、視野が広がることを目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		①綺麗な発音ができ、よく使われる単語を覚えるように。 ②体系的に中国語の文法を身につけるように。 ③基本の日常会話が話せるように。 ④中検4級・3級 (/HSK2級・3級)を目指す。					
授業概要		前期は、主に講義の形で、中国語の発音と一緒に練習し、中国語の仕組みについて解説し、練習する。後期になって、演習に近い形で、主に実用性の高いトラベル中国語を勉強する。一年間を通して、中国語をきれいに発音でき、言いたいことを中国語で表現できることを目指す。そして、中国語の読む力、聞く力も訓練する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1週目	オリエンテーション1			16週目	第10課	
	2週目	『楽しくはじめる中国語』(改定新版)発音編1			17週目	第11課	
	3週目	中国語発音編2			18週目	第12課	
	4週目	Units 1/2 Lesson A			19週目	第13課	
	5週目	中国語発音編4			20週目	私家版エアトラ用教科書 トラベル中国語1	
	6週目	中国語発音編5			21週目	トラベル中国語2	
	7週目	第1課			22週目	トラベル中国語3	
	8週目	第2課			23週目	トラベル中国語4	
	9週目	第3課			24週目	トラベル中国語5	
	10週目	第4課			25週目	トラベル中国語6	
	11週目	第5課			26週目	トラベル中国語7	
	12週目	第6課			27週目	中検4級の模擬試験	
	13週目	第7課			28週目	中検3級の模擬試験	
	14週目	第8課			29週目	復習・まとめ	
	15週目	第9課			30週目	確認テスト・試験解説・まとめ	
成績割合		テスト	40%	学習FB方法		随時質問を受け付け、解説する。	
		学習態度	30%				
		レポート	30%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		2003年から中国語教育に携わり、2012年国際中国語教師中級資格取得。2015年より英語キャリア科(・ブライダル科)の中国語を担当し、今に至る。みなさんと共に成長していくことを授業のモットーにしている。					

シラバス

科目名		料理飲食基礎		担当者名		藤澤美英		
学科		エアライン科 フライトアテンダントコース		授業方法		講義、実技		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 1)	
授業目的		料飲に関する取り扱い、基本的知識の習得を目的とする						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		将来、社会に出て様々な職業に従事した際、料飲の常識的な知識を役立てられるような人材に育てる事を目標とする。						
授業概要		料理、食材、酒類、カクテル、マナー、食文化等できるだけ幅広い知識を、卒業後も記憶に残るような授業を目指します。座学中心の授業になりますが、学ぶ人の興味を喚起するような内容を行います。						
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容		
	1	この授業を学ぶ目的、将来目指している仕事との関連から料飲を学ぶ意味を理解させる。			19	菓巻のサービス方法。 シガーサービスコンクールのビデオ。		
	2	人の足元(靴)を見てみよう。ホテルやレストランにおいて「ドレスコード」の有る理由。			20	ビールの醸造法。 歴史、麦芽、醸造の過程について。		
	3	初期の酒の姿。なぜ人は酒を飲むのか、酔うのかその理由。世界の飲酒年齢と文化。			21	ビールの美味しい飲み方。 保管方法、温度管理、グラスの管理。		
	4	Units 1/2 Lesson A			22	濃縮還元ジュース解説。 レモンスカッシュ。 ラディッシュカービング。		
	5	シェーク。 ステアー。 フルーツを使って包丁の基本的な使い方。			23	カヴァの抜栓と解説。 軟水・硬水		
	6	普段接している食材の旬とは、作り方、収穫方法。			24	ボジョレー・ヌーヴォー解説。		
	7	酒の歴史と文化。 基本的な発酵、蒸留の理論を解説。			25	洋食 メニュー解説		
	8	和食 一汁三菜。			26	皿・グラス類について。 持ち方扱い方。 食べた物の味を表現する		
	9	松花堂弁当(懐石料理)			27	三大珍味とその定義。 トリフの収穫ビデオ。 飲料とのマリアージュ。		
	10	ワインの抜栓・サービス方法実技。			28	三大珍味とその定義。 トリフの収穫ビデオ。 飲料とのマリアージュ。		
	11	赤ワインのデキャンタージュ・サービス方法。			29	三大珍味とその定義。 飲料とのマリアージュ。		
	12	なぜワインの種類によって飲用温度が異なるのかを解説。			30	三大珍味とその定義。 飲料とのマリアージュ。		
	13	ワインの醸造方法、フランスのワイン産地。 ボルドー地方4大シャトー。			31	アレルギー対応。		
	14	飲料の保存方法。 ラベルの読み方。			32	アレルギー対応。		
	15	飲料の保存方法。 ラベルの読み方。			33	おせち料理から見える和食の姿。		
	16	今までの授業の復習			34	おせち料理から見える和食の姿。		
	17	今までの授業の復習			35	学年末試験		
	18	前期試験			36	一般的なホテルのバーメニューの構成、価格等の内容解説。 蒸留酒。		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		学習態度・出席率		40%				
		レポート		10%	成績評価			
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		帝国ホテル東京レストラン部バーテンダーとして38年間従事、ホテル在職中社命にて赤坂迎賓館にて賓客接客5回従事。						

シラバス

科目名		ナレーション		担 当 者 名		桜田ゆみ	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		演劇基礎、企画構成、舞台演習、公演	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択	必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		演劇、ミュージカル等のエンターテインメントを通して、人々が幸せになる国際社会へ貢献できる人材を育成する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		企画構成から完成まで、オリジナルの舞台を制作し、気付きと共感を大切に働く、実社会で役立つ人間力を養う。					
授業概要		シアターエデュケーショナルの成果を実感できるよう、年2回の舞台発表を行う。表舞台と裏方の両方を経験し、成功までの道のりを「個、グループ、クラス全体」の3通りで描ける視野を大切にする。 自らがリーダーであり、協力者でもあることに気付き、強く前向きな精神、勇気ある行動、責任のある姿勢を身につけ、納得できる時間を過ごすことが大事。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			17	前期舞台発表のアンケート結果をもとにミーティング	
	2	オリエンテーション②			18	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇	
	3	1分間モノログ(一人芝居)による表現法。			19	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇	
	4	舞台発表に向けた台本制作と基礎演技を指導。			20	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇	
	5	グループ分け／台本制作のための構想開始			21	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古	
	6	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			22	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古	
	7	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			23	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古	
	8	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			24	リハーサル／衣装・音響・照明・映像プラン提出	
	9	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古			25	リハーサル／衣装合わせ	
	10	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古			26	リハーサル／全体通し稽古	
	11	リハーサル／衣装・音響・照明・映像プラン提出			27	リハーサル／全体通し稽古	
	12	リハーサル／衣装合わせ			28	クラス内にて中間発表	
	13	リハーサル／全体通し稽古			29	リハーサル／当日配布のプログラム構成提出	
	14	クラス内にて中間発表			30	リハーサル／前説台本提出／集客方法提出	
	15	リハーサル／当日配布のプログラム構成提出			31	リハーサル／ゲネプロ／完成プログラム配布	
	16	リハーサル／前説台本提出／集客方法提出			32	後期舞台発表本番／アンケート収集	
	17	リハーサル／ゲネプロ／完成プログラム配布			35	振り返り	
	18	前期舞台発表本番／アンケート収集			36	最終授業まとめ	
成績割合		テスト(発表)		35%	学習FB方法		毎回の授業で主演女優賞、主演男優賞、助演女優賞、助演男優賞ほか、企画制作賞、敢闘賞、貢献賞、MVPを発表し、技術向上の成果を全員の前で評価する。
		学習態度		50%			
		レポート		15%	成績評価		
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体験型学習≫0%					
講師プロフィール		文化芸術を通して日本と諸外国を繋ぐ外交アーティスト、一般社団法人日本サルスエラ協会 代表理事。 NHK構成作家、劇作家、脚本家、演出家。公益財団法人東京二期会正会員オペラ歌手。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠA		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授 業 方 法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション① ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション② チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① 飛行機を利用するってどんな時??			21		
	4	ヒントを得る② その他移動手段との違いは??			22		
	5	ヒントを得る③ 旅行における、飛行機の価値って??			23		
	6	ヒントを得る④ 外国のALは??			24		
	7	ヒントを得る⑤ SPCL SVCやFLTを調べよう			25		
	8	ヒントを得る⑥ SPCL FLTを調べよう			26		
	9	ヒントを得る⑦ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットニングなど)			27		
	10	ヒントを得る⑧ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットニングなど)			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		40%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠB		担当者名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修 ・ 選 択・必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)	
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			19		
	2	課題設定⑥ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するの かインタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するの かインタビュー(フィールドワーク)			22		
	5	課題の検証③ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するの かインタビュー(フィールドワーク)			23		
	6	課題の検証④ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの か インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの か インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの か インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		Speaking I		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)	
授業目的		基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。					
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をとおして、英語を基礎から学びます。自分 にあってレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。					
授業計画表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19	Planning a trip. 海外旅行計画が作れるように学びます。		
	2	オリエンテーション2		20	Airport English. C・I・Qで使われる英語を学びます。		
	3	オリエンテーション3		21	Staying at the hotel. ホテルでの英語を学びます。		
	4	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問		22	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます		
	5	Present Tense 現在形を練習します。		23	Making small talk. 雑談できるように学びます。		
	6	動詞'Be' 'Be' 動詞の使い方を学び。		24	What not to talk about. いい話題と悪い話題を学びます。		
	7	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。		25	Directions. 方向や目的地までの行き方を英語で 伝えられるように学びます。		
	8	Describing People 人の様子を説明する練習をします。		26	Public Transportation. 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。		
	9	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。		27	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝える ように学びます。		
	10	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。		28	Travel manners and safety. 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びま		
	11	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。		29	Making requests. お願いの仕方について学びます。		
	12	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・ チェック		30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明		
	13	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。		31	American Joke 日本とアメリカのユーモアのの違いについて学びま		
	14	Questions 現在形の質問をゲーム形式 で学びます。		32	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。		
	15	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッ ション		33	Sharing my dream vacation なぜここを選んだ」とい う		
	16	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。		34	確認テスト・まとめ1		
	17	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな 食べもの、レストランでの注文の仕方を学びます。		35	確認テスト・まとめ2		
	18	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンド イッチの作り方を説明を練習します。		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	50%				
		レポート	0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績 評価を行う。		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		Interview English		担 当 者 名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		演習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		英語面接に慣れることを目標とする。英語表現だけでなく、第一印象を良くするためのコツを体得。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		面接にふさわしい英語を選んで、自分自身を魅力的に表現する。 自分にはどのような形容詞が合っているのかを、担当教員と話し合って自己PRを作っていく。					
授業概要		英語面接練習をもとに英語でのエントリーシート作成も行う。外資系企業に勤めていた教員による授業であるため、就職活動の際のコツをつかむことができる。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	Intro to Course Entering and Leaving(授業の導入、入退室の仕方)			19	Pair Discussion 1(ペアーディスカッション)	
	2	Small Talk(スモールトーク)			20	Group Discussion 1(グループディスカッション1)	
	3	Professional Presentation Self-introduction(面接にふさわしい振る舞い、自己紹介)			21	Group Discussion 2(グループディスカッション2)	
	4	Self-introduction Review(自己紹介、復習)			22	Group Discussion Test(グループディスカッションテスト)	
	5	Sounding Natural(自然な言葉遣い)			23	Future Goals(将来の目標)	
	6	Sounding Natural Review(自然な言葉遣い、復習)			24	Future Goals(将来の目標)	
	7	Self-introduction(自己紹介)			25	Test review(試験に向けての復習)	
	8	TEST(試験)			26	TEST(試験)	
	9	TEST(試験)			27	TEST(試験)	
	10	Likes and Interests(趣味と興味)			28	Skills and Traits(スキルと性格)	
	11	Likes and Interests(趣味と興味)			29	Skills and Traits(スキルと性格)	
	12	Group Interview(グループ面接)			30	Skills and Traits Company/Institution Research HW(スキルと性格、企業研究宿題)	
	13	Group Interview(グループ面接)			31	Check Company/Institution Research HW(企業研究宿題チェック)	
	14	School OR Work(学校か仕事か)			32	Why do you want to work/study at ...?(志望動機)	
	15	School OR Work(学校か仕事か)			33	Why do you want to work/study at ...?(志望動機)	
	16	School OR Work(学校か仕事か)			34	Test review(試験に向けての復習)	
	17	TEST(試験)			35	TEST(試験)	
	18	TEST(試験)			36	TEST(試験)	
成績割合		テスト		75%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		25%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫25%					
講師プロフィール		約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。					

シラバス

科目名		TOEIC I		担 当 者 名		鈴木良	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72 時 間 (週講時数 2)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストで高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEICのストラテジーを実践を通して身につける。TOEIC 500点～600点を目指す。					
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・リスニングのストラテジーを実践を通して身につける。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 3 (1-25)、Part 5-6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 3 (26-50)、Part 5-6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 3 (51-75)、Part 7	
	4	TOEIC テストの紹介、サンプル問題			22	TOEIC Vocabulary 3 (76-100)、Part 7	
	5	模試1 Q. 1-100、TOEIC Vocabulary 1 (1-25)			23	Vocabulary quiz 3	
	6	模試1 Q. 101-200、TOEIC Vocabulary 1 (26-50)			24	模試4 Q. 1-167	
	7	TOEIC Vocabulary 1 (51-75)、Part 1, Part 2			25	TOEIC Vocabulary 4 (1-25)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 1 (76-100)、Part 2			26	TOEIC Vocabulary 4 (26-50)、Part 6	
	9	Vocabulary exam 1, Part 2			27	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、Part 7	
	10	TOEIC Vocabulary 2 (1-25)、Part 3-4			28	TOEIC Vocabulary 4 (76-100)、Part 7	
	11	TOEIC Vocabulary 2 (26-50)、Part 3-4			29	Vocabulary quiz 4	
	12	模試2 Q. 1-167			30	TOEIC Vocabulary 0 (1-25)、Part 2	
	13	TOEIC Vocabulary 2 (51-75)、Part 5(タイムマネジメント)			31	TOEIC Vocabulary 0 (26-50)、Part 2	
	14	TOEIC Vocabulary 2 (76-100)、Part 5-6			32	後期期末テスト(模試5 Q. 1-167)	
	15	Vocabulary exam 2、ストラテジー復習			33	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、テスト返却	
	16	Part 3-4			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Part 3-4			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試3 Q. 1-146)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

科目名		Grammar I		担 当 者 名		松川 はるみ	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必 修 選 択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		Conversation で使われる文法事項の習得と強化を目的とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		文法事項(Touchstone, Cambridge, University Press)をマスターする。毎週の単語小テストを通し、 年間400語を文の中で使えるようにする。					
授業概要		単語や熟語は毎回小テストを実施する。文法は問題を解きながら、解説していく。 学生がわかりにくいところは理解できるまで例文を交えて、説明する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	授業目的、成績評価方法、 教材・小テスト説明			19	前置詞	
	2	品 詞			20	関係詞	
	3	代名詞			21	分詞	
	4	比 較			22	復 習	
	5	形容詞、代名詞の働きをする語句			23	時制と代名詞	
	6	復 習			24	つながり言葉	
	7	単語試験1、英字新聞を読む			25	語 法	
	8	時制1			26	ボキャブラリー1	
	9	時制2			27	ボキャブラリー2	
	10	受動態			28	ニュースを読む	
	11	能動態			29	関係代名詞1	
	12	主語と述語の一致			30	関係代名詞2	
	13	不定詞・動名詞			31	自動詞・他動詞	
	14	復 習			32	仮定法	
	15	接続詞			33	分 詞	
	16	熟 語			34	英語記事を読む、単語ゲーム	
	17	前期期末試験			35	後期期末試験	
	18	前期期末試験振り返り			36	後期期末試験振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元JALの国際線客室乗務員として勤務経験者。					

シラバス

科目名		アマデウス実習I		担 当 者 名		小泉 公仁子	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線の予約の操作を学び、「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使つて基本操作を学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュース等を取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会との繋がりを意識させる。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	小児・幼児の情報入力	
	3	オリエンテーション3			21	各種ミール、HELP活用方法	
	4	アマデウスシステム 基本的な操作方法			22	フリークエントフライヤープログラム	
	5	国際線基礎知識			23	座席指定	
	6	各種コード検索			24	セキュアフライトプログラム	
	7	情報検索、タイムテーブル、スケジュール照会			25	OSI	
	8	空席照会、ステータスコード			26	RMKS	
	9	空席照会オプションエントリー			27	基礎知識まとめ	
	10	空席照会からの予約			28	ロールプレイ①	
	11	旅客データ 綴り、タイトル			29	ロールプレイ②	
	12	PNR作成 必須項目の入力			30	総復習	
	13	PNR完了後のステータスコード、中断、抽出			31	検定対策①	
	14	乗継便、取消し待ち、ARNK, オープン			32	期末テスト(検定対策②)	
	15	PNR項目の取消し、修正、変更			33	検定対策③	
	16	ダイレクトアクセス、アクセスレベル			34	まとめ①	
	17	総復習			35	まとめ②	
	18	期末テスト			36	まとめ③	
成績割合		テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	20%				
		検定	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体験型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		職業適性講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義・実習	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間（週講時数1）
授業目的		テクノスの学修機会を存分に体験してもらう「しくみ」を伝え、成長を実感してもらう					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人となるための自覚や、自信の特徴・適正などにを自覚する。 学年の違いを活かした協働授業をすることで、それぞれの自覚を促す。					
授業概要		講義形式で行う。クラス担任が実施。適宜、プレゼンなどを取り入れて実施。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション①			19	学修機会を使い切ろう 後期の目標設定	
	2	職業を得るとはどういうことか考える			20	テクノスノートを使用し、明確にする	
	3	テクノスノートを使用し、1年間の過ごし方を考える			21	目標達成するための工夫をディスカッションする	
	4	今年度の目標を設定する			22	成長した部分の確認	
	5	目標達成のための計画をつくる			23	工夫を今後に活かす	
	6	計画を実行するためには?? メンター制度			24	マナープロトコル検定に向けて	
	7	お互いに観察し、振り返りを共有			25	マナープロトコル検定 模擬試験①	
	8	学修機会の再確認			26	マナープロトコル検定 模擬試験②	
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27	マナープロトコル勉強会	
	10	フィールドワークとは??その目的、目標は			28	マナープロトコル勉強会	
	11	事前プレゼンテーション			29	フィールドワーク② 内容を決める	
	12	実際に探求、体験、その成果検証			30	事前プレゼンテーション	
	13	報告プレゼンテーション準備			31	フィールドワーク	
	14	プレゼンテーション			32	報告プレゼンテーション準備①	
	15	プレゼンテーション			33	報告プレゼンテーション	
	16	振り返りスピーチ			34	報告プレゼンテーション	
	17	振り返りスピーチ			35	振り返りスピーチ	
	18	まとめ			36	まとめ	
成績割合		テスト(プレゼン)		20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		コンピュータ実習 I		担 当 者 名		深井 妙子	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格できるレベルを目指す(資格取得希望者は受験可能)					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)→レポートを提出 ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語、PC用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	科目ガイダンス		19	図の挿入/図形の描画		
	2	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本		20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	3	タイピング練習/文字入力の基本		21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	4	ビジネス文書の書き方		22	日商PC検定文書作成検定 試験問題1		
	5	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		23	日商PC検定文書作成検定 試験問題2		
	6	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		24	日商PC検定文書作成検定 試験問題3		
	7	ビジネスメールの書き方		25	日商PC検定文書作成検定 試験問題4		
	8	ビジネスメール課題		26	日商PC検定文書作成検定 試験問題5		
	9	表作成の基本		27	日商PC検定文書作成検定 試験問題6		
	10	ビジネス文書課題(表のある文書)		28	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1		
	11	ビジネス文書課題(表のある文書)		29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2		
	12	ビジネス文書課題(表のある文書)		30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3		
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)		31	日商PC検定文書作成検定 模擬問題4		
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)		32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題5		
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)		33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題6		
	16	前期期末試験		34	後期期末試験		
	17	前期期末試験の解答解説		35	後期期末試験の解答解説		
	18	前期振り返り		36	後期振り返り		
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		30%				
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		建設業界で、設計の仕事に加え事務処理(申請業務、見積書の作成、工程表作成など)の実務経験及び、職業訓練校での講師経験も長く、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担当者名		和田 みさ	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。 NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①		19	試験の返却/解説(前期の振り返り)		
	2	オリエンテーション②		20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)		
	3	ガイダンス・導入		21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)		
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)		22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名		
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)		23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名		
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)		24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習		
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)		25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習		
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)		26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	9	〃 (人物・家族の表現)		27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有		
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)		28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)		
	11	〃 (趣味の表現)		29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	12	〃 (職業などの表現)		30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)		31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)		32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	15	前期の復習		33	学年末試験(表出試験)		
	16	前期の復習		34	〃 (読み取り/筆記試験)		
	17	前期末試験(表出試験)		35	試験の返却/解説		
	18	〃 (読み取り/筆記試験)		36	まとめ		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		グランドスタッフ概論		担当 者 名		小池 はるか	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		航空会社の一員であるグランドスタッフとして働くために必要な知識や業務内容について知る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		・様々な空港旅客サービスを想定した授業を通して、グランドスタッフとして求められる人材に近づく ・実際にお客様と接することの難しさやひとりひとりのお客様と向き合うことの重要性を知る					
授業概要		搭乗手続きの手順や渡航に関する知識、安全意識、確認の大切さ、お客様と接する際に心掛ける事等を座学形式やロールプレイング形式にて学んでもらう。 また、実際に空港で業務中に起こった特殊な事例やミス等を紹介しケーススタディとして知ってもらう。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	航空業界の概要 ①			19	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ①	
	2	航空業界の概要 ②			20	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ②	
	3	空港業務 ①			21	発券業務 ①	
	4	空港業務 ②			22	発券業務 ②	
	5	出発業務(航空用語、特殊旅客) ①			23	チェックイン実践 ①	
	6	出発業務(航空用語、特殊旅客) ②			24	チェックイン実践 ②	
	7	顧客案内 ①			25	到着業務 ①	
	8	顧客案内 ②			26	到着業務 ②	
	9	チェックイン業務 ①			27	到着業務 ③	
	10	チェックイン業務 ②			28	到着顧客案内実践 ①	
	11	チェックイン実践 ①			29	到着顧客案内実践 ②	
	12	チェックイン実践 ②			30	到着顧客案内実践 ②	
	13	チェックイン実践 ③			31	期末テスト ①	
	14	出発業務(出入国規定) ①			32	期末テスト ②	
	15	出発業務(出入国規定) ②			33	テスト返却 解説	
	16	期末テスト ①			34	まとめ ①	
	17	期末テスト ②			35	まとめ ②	
	18	テスト返却 解説			36	振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		アジアナ航空のグランドスタッフとして、成田空港で約10年間旅客サービス業務に従事してまいりました。業務中に起こる様々な出来事を題材に、経験豊富な現役のスタッフと共に授業を進めていく予定です。					

シラバス

科目名		エアポート概論Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		エアライン業界で必要な知識を備える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		航空機運航に関連する業務として、オペレーション部門・運航部門・客室部門・整備部門等の各業務概要を理解し、各業務間の関わりと航空機の運航における各部署協調の重要性を理解する。					
授業概要		空港における業務全体を理解する為、グランドサービス・グランドハンドリング・エアカーゴの各業務について、基礎的な業務知識の理解を深める。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	テスト返却・解説	
	2	空港業務について			20	航空用語②	
	3	国内3レター・2レター			21	小テスト	
	4	業務用語① ITV・CATVを基に用語やフォネティックな			22	言葉がけ①	
	5	業務用語② ITV・CATVを基に用語やフォネティックな			23	言葉がけ②・ワークシート	
	6	羽田空港について 就航地、就航会社など①			24	M/U実習④(ケーススタディ)	
	7	羽田空港について 就航地、就航会社など② 海外3レター・2レター			25	M/U実習⑤	
	8	確認テスト			26	M/U実習⑥	
	9	テスト返却 解説			27	時差①	
	10	グランドハンドリングについて① B/I～B/Oまでの機側業務について			28	時差②	
	11	グランドハンドリングについて② B/I～B/Oまでの機側業務について			29	時差③	
	12	SHIP TYPについて①			30	FIRST AID	
	13	SHIP TYPについて①			31	SPECIAL MEAL	
	14	安全について① テネリフェの悲劇			32	CAに必要なマインド	
	15	安全について② テネリフェの悲劇			33	テスト前復習	
	16	安全について③ 「安全」「安心」「エラーチェーン」			34	後期期末テスト	
	17	前期試験			35	テスト返却	
	18	試験返却 解説			36	まとめ	
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	20%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		話し方		担 当 者 名		古閑三恵	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義 実習 発表	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		「言葉づかい」は「心づかい」。言葉により勇気づけられたり傷つけられたり。言葉の大切さを共に学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		接客業に必要なお客様に聞き取りやすい基本的な声の出し方。話し上手である必要はありません。相手への気配りを言葉の端々に感じさせる人こそコミュニケーション上手。 自分の考えを自分の言葉で表現出来る人に。 相手の話しを聞く力をつける。一年後、人前で話す事が楽しくなるように。					
授業概要		口の開け方、声の出し方、立ち姿の基本を徹底し、自分の為だけではなくお客様に対し(接客業)親切な声を作る。マニュアルだけでなく自分の考えを自分の言葉でしっかりと伝える事が出来るよう、多くの発表の場を設ける。 人の話しをどう聞くかに人間性が表れる。人の発表についての自分の考えを自由に発言してもらう。					
授業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	授業の進め方、自己紹介、話し方とは？			19	敬語の基本	
	2	ストレッチ、正しい立ち方、呼吸法、ゲーム			20	ストレッチ、発声、(テクノス祭の司会者練習)	
	3	ストレッチ、腹式呼吸、正しい口の開け方			21	ストレッチ、発声テクノス祭を終えて。スピーチ	
	4	ストレッチ、腹式呼吸、50音発声			22	プレゼン構成Ⅱ 文章作り	
	5	ストレッチ、50音発声、(早口言葉)			23	発表	
	6	ストレッチ、50音発声、(プレゼン構成Ⅰ)			24	発表	
	7	ストレッチ、50音発声、(60秒発表)			25	発表	
	8	好きな映画について 発表			26	50音発声テスト	
	9	好きな映画について 発表			27	敬語小テスト	
	10	好きな映画について 発表			28	テスト「テーマで発表」	
	11	広島・長崎朗読劇「この子たちの夏」の朗読			29	ストレッチ、発声(ゲーム)	
	12	夏休み宿題「美術館」発表			30	エレベーターピッチ(就職活動に向けて自己PR練習)	
	13	夏休み宿題「美術館」発表			31	エレベーターピッチ	
	14	夏休み宿題「美術館」発表			32	発表「今まで生きてきた中で一番大切にしている事、人、物」	
	15	テスト「テーマで60秒発表」			33	発表	
	16	詩を読む			34	発表	
	17	お芝居をやってみよう！(自分を解放する。)			35	発表	
	18	ナレーションなど。			36	最後に皆さんに。	
成績割合		テスト		40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		40%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール		劇団四季附属演劇研究所卒業。井上ひさしの劇団「こまつ座」を経て現在プロダクション所属。舞台、映画、ドラマ、ラジオパーソナリティ、ナレーション、司会、大手プロダクション演技指導等。					

シラバス

科目名		韓国語Ⅰ		担当 者 名		具 美善	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		韓国語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		韓国語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。					
授業概要		韓国語の文字の仕組みを理解した上で単語と文章の読み書きや聞き取り、正しい発音を練習する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	授業オリエンテーション			19	前期復習①	
	2	文字の読み書き①			20	前期復習②	
	3	文字の読み書き②			21	第6課(～ます、～ますか)	
	4	文字の読み書き③			22	第7課(否定文)	
	5	文字の読み書き④			23	第8課(漢字語数詞)	
	6	文字の読み書き⑤			24	第9課(～ます、～ますかの他の表現)	
	7	文字の読み書き⑥			25	第10課(固有語数詞)	
	8	文字の読み書き⑦			26	第11課(過去形)	
	9	文字の読み書き⑧			27	第12課(敬語表現)	
	10	文字の読み書き⑨			28	第13課(敬語の過去)	
	11	第1課(～です、～ですか)			29	第14課(逆説表現)	
	12	第2課(～ではありません)			30	第15課(希望表現)	
	13	第3課(～です、～ですかの他の表現)			31	授業まとめ/復習①	
	14	第4課(あります、います)			32	授業まとめ/復習②	
	15	第5課(位置を表す表現)			33	授業まとめ/復習③	
	16	授業まとめ			34	期末テスト	
	17	期末テスト			35	テスト返却	
	18	試験返却 解説			36	振り返り まとめ	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		一橋大学大学院 言語社会研究科 博士課程修了 一橋大学大学院 言語社会研究科 特別研究員 / 韓国学研究所 研究員					

シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担 当 者 名		池 亀 満 枝	
学 科		エアライン科 グランドスタッフコース		授 業 方 法		講義、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		人間心理、人間関係を大切さを学び、自分自身を見つめ直す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		より良い人間関係を築き、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力を向上させる。					
授業概要		人間心理の知識、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力の習得、社会人として活躍するための準備を座学形式で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	授業ガイダンス		19	敬語の種類		
	2	ホスピタリティとは		20	丁寧語・美化語・改まり語		
	3	サービスとホスピタリティ		21	尊敬語		
	4	マズローの欲求段階説		22	謙譲語Ⅰ		
	5	顧客満足とホスピタリティ		23	謙譲語Ⅱ		
	6	ジョハリの窓		24	状況に合わせた敬語、ウチとソトの使い分け		
	7	ストローク		25	敬語の誤用		
	8	メラビアンの法則		26	違和感を与える表現、信頼感を損ねる口癖		
	9	明るい挨拶・さわやかな返事、挨拶ことば		27	相手に配慮して伝える		
	10	おしゃれと身だしなみの違い		28	クッションことばを使いこなす		
	11	制服の効果		29	好感の持てる話し方、感じの良い聴き方①		
	12	いきいきとした豊かな表情		30	好感の持てる話し方、感じの良い聴き方②		
	13	表情訓練		31	会話を弾ませるテーマ選び①		
	14	心構え		32	会話を弾ませるテーマ選び②		
	15	立ち居振る舞い		33	敬語ワークシート		
	16	基本動作、応用動作の実践		34	試験実施		
	17	試験実施		35	試験用紙返却、解説		
	18	試験用紙返却、解説		36	振り返り まとめ		
成 績 割 合		テスト	70%	学 習 FB 方 法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	20%				
		レポート	10%	成 績 評 価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫80% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫10% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		文部科学省、国土交通省、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。					

シラバス

科目名		Airline English I		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアライン科 グラッドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週1時間)	
授業目的		エアライン(機内、空港)で使う英語に慣れ、サービスで使う英語を習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		基本の会話の文章を暗記し、丁寧な言い方がすぐに使えるように繰り返し学習する。					
授業概要		JAL監修の機内英語会話テキストを全て習得できるよう会話力を鍛える。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	オリエンテーション、授業の進め方説明		19	L 6 Sec 1,2 reading, dialogues		
	2	Lesson1 Section1 reading,vocabulary		20	L 6 Sec 3,4 文法、writing		
	3	L 1 Sec 1,2 reading, dialogues		21	L 6 Review, ロールプレイング		
	4	L 1 Sec 3,4 文法、writing		22	L 7 Sec 1,2 reading,dialogues		
	5	L1 Review ロールプレイング		23	L 7 Sec 3,4 文法、writing		
	6	L 2 Sec 12 reading, dialogues		24	L 7 Review, ロールプレイング		
	7	L 2 Sec 3,4 文法、writing		25	L 8 Sec 1,2 reading,dialogues		
	8	L 2 Review, ロールプレイング		26	L 8 Sec 1,2 reading,dialogues		
	9	L 3 Sec 1,2 reading, dialogues		27	L 8 Review, ロールプレイング		
	10	L 3 Sec 3,4 文法、writing		28	L 9 Sec 1,2 reading,dialogues		
	11	L 3 Review, ロールプレイング		29	L 9 Sec 3,4 文法、writing		
	12	L 4 Sec 1,2 reading, dialogues		30	L 9 Review, ロールプレイング		
	13	L 4 Sec 3,4 文法、writing		31	L 10 Sec 1,2 reading,dialogues		
	14	L 4 Review, ロールプレイング		32	L 10 Sec 3,4 文法、writing		
	15	L 5 Sec 1,2 reading, dialogues		33	L 10 Review, ロールプレイング		
	16	L 5 Sec 3,4 文法、writing、Review, ロールプレイング		34	期末試験		
	17	期末試験		35	試験返却		
	18	試験返却		36	まとめ		
成績割合	テスト	60%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度	30%					
	レポート	10%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール	静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。						

シラバス

科目名		学習法		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 後 期 ・ 通 年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)		
授業目的		テクノスでの学生生活を円滑に進めるための心得を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		学校生活におけるルールなどを身に付ける					
授業概要		日直制度について、ドレスアップとは、レポートの書き方また、ワークショップ等を行う					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	自己紹介			19		
	2	自己紹介			20		
	3	講義形式の授業の受け方			21		
	4	実習形式の授業の受け方			22		
	5	インターンシップについて			23		
	6	レポート提出について			24		
	7	レポートの書き方			25		
	8	提出物について			26		
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27		
	10	日直制度について			28		
	11	一般的なドレスアップについて			29		
	12	オフィスカジュアルとは			30		
	13	学内での注意事項			31		
	14	学内でのルール			32		
	15	ワークショップ①			33		
	16	ワークショップ②			34		
	17	ワークショップ③			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト		0%		学習FB方法	成績表送付
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		自己の存在価値および社会人としての役割を認識する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「職業観」を理解し、自身のキャリアプランを考える。 履歴書作成および面接試験を行い、就職活動に対する意識づけ。					
授業概要		講義形式が基本。適宜、グループディスカッションなども行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	進路&業界研究			19		
	2	キャリアビジョンを考える			20		
	3	業界の働く環境			21		
	4	求人票の見方			22		
	5	自己分析①			23		
	6	自己分析②			24		
	7	企業研究の仕方			25		
	8	企業研究①			26		
	9	企業研究②			27		
	10	グループディスカッション①			28		
	11	グループディスカッション②			29		
	12	志望動機の作り方①			30		
	13	志望動機の作り方②			31		
	14	履歴書&ESの書き方①			32		
	15	履歴書&ESの書き方②			33		
	16	企業への連絡マナー			34		
	17	第一印象の重要性			35		
	18	面接練習			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・ <u>後 期</u> ・通 年 <u>必 修</u> ・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)	
授業目的		履歴書やESに記入する内容を、自らの自己分析を基に記入する。それを教員がアドバイスすることで、書き方のコツを学ぶ。 また、筆記試験対策として、国語・社会・英語を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職試験に必要な自己分析や、筆記試験に対する意識づけを行う。					
授業概要		講義形式が基本。客室乗務員として勤務し、本校の就職担当教員を務める教員が担当。 英語面接の練習は、外国人教員が担当する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	志望動機作成①		19			
	2	志望動機作成②		20			
	3	志望動機添削		21			
	4	自己PR作成①		22			
	5	自己PR作成②		23			
	6	自己PR作成③		24			
	7	自己PR添削		25			
	8	英語面接練習①		26			
	9	英語面接練習②		27			
	10	英語面接練習③		28			
	11	筆記試験対策 国語①		29			
	12	筆記試験対策 国語②		30			
	13	筆記試験対策 社会①		31			
	14	筆記試験対策 社会②		32			
	15	筆記試験対策 社会③		33			
	16	筆記試験対策 英語①		34			
	17	一般常識の試験		35			
	18	面接練習		36			
成績割合		テスト	0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率	80%				
		レポート・課題	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職対策講座Ⅰ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授 業 方 法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		職活動に向けて必要な知識、技能(主に「コミュニケーション能力」、「行動力」、「情報収集能力」)を身に付ける。これを踏まえ、就職活動に必要な社会人としての知識や教養、技能修得し、自己認知のもと自己表現力の向上を目指し、自信を持って活動に臨めるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動に必要な基礎知識の修得、および、意欲的に就職活動に向かうためのマインドの醸成を目標とする。					
授業概要		SPIの問題集などを使って行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	就職試験とは			19		
	2	SPI対策①(言語)			20		
	3	SPI対策②(言語)			21		
	4	SPI対策③(言語)			22		
	5	SPI対策①(非言語)			23		
	6	SPI対策②(非言語)			24		
	7	SPI対策③(非言語)			25		
	8	集団面接対策講座①			26		
	9	集団面接対策講座②			27		
	10	集団面接対策講座③			28		
	11	グループディスカッション対策①			29		
	12	グループディスカッション対策②			30		
	13	グループディスカッション対策③			31		
	14	個人面接対策①			32		
	15	個人面接対策②			33		
	16	個人面接対策③			34		
	17	SPI試験			35		
	18	各種面接の総復習			36		
成績割合		テスト	0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率	80%				
		レポート・課題	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選 択 ・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		職業に関する理解を深めると共に、パーソナリティや多様なキャリアに関する理解する。また、社会において求められる能力を把握し、自らのキャリアを振り返り発信する力を育む。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		キャリアデザインに関連する知識を身に付けることを目標とする。					
授業概要		講義形式を基本とするが、グループワークやディスカッション、課題消化などを併用して進める。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19		
	2	キャリアとは何か			20		
	3	キャリアデザインに関する理論①			21		
	4	キャリアデザインに関する理論②			22		
	5	キャリアデザインに関する理論③			23		
	6	職業とは			24		
	7	多様な職業を知る			25		
	8	キャリアの振り返り			26		
	9	キャリアデザインの実例①(ゲストスピーカー)			27		
	10	パーソナリティ			28		
	11	社会の理解			29		
	12	キャリアデザインの実例②(ゲストスピーカー)			30		
	13	多様なキャリア			31		
	14	就職活動に関するスキル①			32		
	15	就職活動に関するスキル②			33		
	16	社会において求められる能力			34		
	17	キャリアデザインの実例③(ゲストスピーカー)			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		観光英語Ⅰ		担当者名		岡野 秀子	
学科		エアライン科 グラッドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		ホテルや空港などで使う実用的な言い回しを学び、観光英検2級・3級合格を目標とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本内外に関わらず、外国人と英語でコミュニケーション出来るようになる。またパンフレットや観光関連記事を多読して専門用語になれることを目標とする。					
授業概要		観光英語に頻出する単語を覚え、毎回の小テストでリマインドする。また、駅や飛行機の中で流れるアナウンスなどを聞き、即座に情報を得られるようにする。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	空港チェックインカウンターのやりとり			19	観光英検講座(過去問から)	
	2	ツアーコンダクター ～空港からホテルまで			20	観光英検講座(過去問から)	
	3	J. F. ケネディ空港 交通機関に関するチラシ			21	観光英検講座(過去問から)	
	4	ホテルでのチェックイン			22	出入国管理と税関にて	
	5	レストラン～注文の仕方			23	レストランでの注文の仕方	
	6	レストラン～メニューの見方			24	観光1	
	7	駅でのやり取り Dictation			25	観光2	
	8	観光名所～ツアーの説明			26	ショッピング1	
	9	ショッピング～買い物の仕方			27	ショッピング2	
	10	時刻表を読む			28	交通機関1	
	11	観光パンフレットを読む1			29	交通機関2	
	12	観光パンフレットを読む2			30	国内旅行1～英語で紹介	
	13	トラブルと苦情1			31	国内旅行2～英語で紹介	
	14	トラブルと苦情2			32	日本地理を英語でプレゼンテーション(準備)	
	15	切符の買い方、食堂車の予約、リスニング			33	日本地理を英語でプレゼンテーション(準備)	
	16	観光英語まとめ			34	日本地理を英語でプレゼンテーション(発表)	
	17	前期期末テスト			35	後期期末テスト	
	18	期末レポートについて			36	後期期末テスト振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		日本航空国際線の客室乗務員として長年勤務した経験から、実際に使える生きた英語を教えている					

シラバス

科目名		Speaking II		担当者名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)		
授業目的		英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト					
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業 です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等とおして、英語を基礎から学びます。自分 にあっていうレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての意見 を聞き、文化や歴史の違いを感じることが出来る。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	Units 7/8 Lesson A		
	2	オリエンテーション2		20	Units 7/8 Lesson B		
	3	オリエンテーション3		21	Units 7/8 Lesson C		
	4	Units 1/2 Lesson A		22	Test 7/8		
	5	Units 1/2 Lesson B		23	Test 7/8		
	6	Units 1/2 Lesson C		24	Units 9/10 Lesson A		
	7	Test 1/2		25	Units 9/10 Lesson B		
	8	Test 1/2		26	Units 9/10 Lesson C		
	9	Units 3/4 Lesson A		27	Test 9/10		
	10	Units 3/4 Lesson B		28	Test 9/10		
	11	Units 3/4 Lesson C		29	Units 11/12 Lesson A		
	12	Test 3/4		30	Units 11/12 Lesson B		
	13	Test 3/4		31	Units 11/12 Lesson C		
	14	Units 5/6 Lesson A		32	Test 11/12		
	15	Units 5/6 Lesson B		33	Test 11/12		
	16	Units 5/6 Lesson C		34	確認テスト・まとめ1		
	17	Test 5/6		35	確認テスト・まとめ2		
	18	Test 5/6		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト	75%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度	25%				
		レポート	0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体験型学習≫30%					
講師プロフィール		元Air Canada客室乗務員。25年以上日本で英語を教えている。					

科目名		職業適性講座Ⅱ		担 当 者 名		岡 野 秀 子			
学 科		エアライン科 グランドスタッフコース		授 業 方 法		講義・グループワーク			
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)			
授業目的		社会人基礎力の育成をする							
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動および社会人として必要なことをクラス全員で考え、学び、行動に移す							
授業概要		就職活動のサポート授業 学内イベント準備							
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容				
	1	授業オリエンテーション		19	前期の反省				
	2	〃		20	後期クラス目標設定				
	3	目的目標設定について		21	後期個人目標設定				
	4	クラス目標設定		22	就職対策4				
	5	個人目標設定		23	就職対策5				
	6	就職対策1		24	就職対策6				
	7	就職対策2		25	卒展 クラス企画話し合い				
	8	就職対策3		26	卒展 クラス企画決定				
	9	学院祭 クラス企画話し合い		27	グループワークについて				
	10	学院祭 クラス企画決定		28	プレゼンテーション				
	11	主体性について		29	冬期特別講座概要				
	12	チームワークについて		30	卒業に向けて				
	13	夏期特別講座概要		31	社会人の心構え				
	14	学院祭について		32	テクノス展準備				
	15	学院祭について		33	テクノス展準備				
	16	学院祭について		34	授業まとめ/振り返り				
	17	個人目標再設定		35	〃				
	18	前期総括		36	〃				
成績割合		テスト		学習FB方法		成績表送付			
		学習態度・出席率						80%	
		レポート		20%		成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～ 69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%							
講師プロフィール		JALの国際線客室乗務員として24年間勤務。VIPフライト・新人外国人教官経験あり。							

シラバス

科目名		プレゼンテーション		担当者名		東真理	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義、実習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 1)
授業目的		コミュニケーション能力を高め、社会人にふさわしい話し方を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プレゼンテーションの発表を目的とし、「説明」から「説得」へ。聞く人の心を動かすスピーチの習得を目指す。					
授業概要		プレゼンテーションの基礎となる話し方の技術を学ぶ座学と、実際に人前で発表する実技を共に行う。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	年間予定と「プレゼンテーション」について説明。講師紹介。			19	〃	
	2	基礎レッスン・ボイストレーニング①			20	敬語②	
	3	〃			21	ディベート	
	4	自己PRスピーチ			22	〃	
	5	〃			23	プレゼンテーション	
	6	〃			24	〃	
	7	敬語①			25	〃	
	8	グループディスカッション・模擬面接			26	〃	
	9	〃			27	〃	
	10	〃			28	グループワーク	
	11	話し方表現練習			29	グループワーク	
	12	時事についてのスピーチとディスカッション			30	グループワーク	
	13	〃			31	グループワーク	
	14	前期末スピーチテスト			32	学年末テスト	
	15	〃			33	〃	
	16	基礎レッスン・ボイストレーニング②			34	年間のまとめ	
	17	説明と説得・ロールプレイ			35	〃	
	18	〃			36	〃	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		(有)スターダス・21所属、映像・舞台・声・CM等出演／(株)「話し方研究所」認定インストラクター講師					

シラバス

科目名		Airline English II		担当者名		岡崎志織	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義、テキスト、練習問題、listening	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。					
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	Unit 1 Transportation, Listening,過去問			19	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問	
	2	U1, Transportation,Listening,過去問			20	U10 Culture Experience in Japan 1	
	3	U2 At a check in counter,Listening,過去問			21	U11 Culture Experience in Japan 2	
	4	U2 Listening,過去問			22	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	5	U3 Facilities & service,Listening,過去問			23	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	6	U3 Facilities & service,Listening,過去問			24	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	7	U4 Giving Direction,Listening,過去問			25	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	8	U4 Giving Direction,Listening,過去問			26	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	9	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			27	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	10	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			28	U15 Upon Departure	
	11	U6 Dining in Japan,Lis,過去問			29	まとめ・振り返り	
	12	U7 Dining in Japan,Lis,過去問			30	まとめ・振り返り	
	13	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			31	まとめ・振り返り	
	14	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			32	後期期末テスト	
	15	Riview,Lis.過去問			33	テスト返却、解説	
	16	前期期末テスト			34	確認テスト・まとめ1	
	17	テスト返却、解説			35	確認テスト・まとめ2	
	18	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

シラバス

科目名		アマデウス実習Ⅱ		担当者名		毛利奈緒	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		実習と講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時 間 (週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。リアルタイムなニュースや情報を取り上げて常に業界の現状を意識し、就職活動、就職後につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び、秋の「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。					
授 業 計 画 表	前期				後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	分割、変更	
	3	オリエンテーション3			21	PNRのコピー、変更	
	4	国際線への導入			22	ヒストリー、キュー	
	5	各種コード検索			23	空席照会応用(2区間など)	
	6	タイムテーブル、空席照会、スケジュール照会			24	SSR応用(連絡先、APISなど)	
	7	空席照会からの予約			25	運賃①	
	8	旅客氏名、連絡先、PNR必須項目の入力			26	運賃②	
	9	完了、中断、抽出、乗継便の予約			27	基礎知識まとめ①	
	10	ロングセル、キャンセル待ち、ARNK、オープン			28	基礎知識まとめ②	
	11	項目の取消、訂正、変更、小児、幼児の予約			29	ロールプレイ①	
	12	各種ミール、HELPの活用、座席指定			30	ロールプレイ②	
	13	ダイレクトアクセス、アクセスレベル、GG			31	期末テスト対策	
	14	FFP、OSI、RMKS			32	期末テスト	
	15	総復習			33	総まとめ	
	16	検定対策①			34	確認テスト・まとめ1	
	17	期末テスト(検定対策②)			35	確認テスト・まとめ2	
	18	検定対策③			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト	30%		学習FB方法	成績表送付	
		学習態度	20%				
		検定	50%		成績評価		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		Japanese Culture		担当 者 名		Gary	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		日本の文化を様々な角度から見る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本の伝統や文化を学ぶ					
授業概要		日本らしさを残す鎌倉や京都に学び、和食や祭りなど日本の良さを調べて考え、プレゼンテーションをする					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19	世界遺産		
	2	オリエンテーション2		20	京都		
	3	オリエンテーション3		21	京都の世界遺産		
	4	イントロダクション		22	和風建築		
	5	日本について知っていること		23	日本の家屋・古民家		
	6	日本の各時代		24	江戸建物		
	7	時代についてプレゼンテーション		25	江戸建物・博物館		
	8	鎌倉時代		26	スピーチの準備		
	9	鎌倉の建築物		27	スピーチの練習		
	10	鎌倉のプレゼンテーション1		28	クラスでスピーチ披露		
	11	鎌倉のプレゼンテーション2		29	モダン日本文化・ポップカルチャー		
	12	日本食		30	最後のスピーチ		
	13	日本食プレゼンテーション		31	テストの説明		
	14	日本の夏		32	クラスでスピーチ		
	15	日本の祭り		33	期末テスト		
	16	祭りとテストの説明		34	確認テスト・まとめ1		
	17	祭りのプレゼンテーション		35	確認テスト・まとめ2		
	18	期末テスト		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト		70%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率		30%				
	レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		イギリス人であるが、日本で長年講師を務め、日本の文化に精通している					

シラバス

科目名		Route InformationA		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年		1 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	18時 間(週講時数1)
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	世界の食事情			19		
	2	世界の行事・イベント			20		
	3	世界のテーマパーク			21		
	4	世界の空港			22		
	5	地域研究概論(各地の空港と観光地)			23		
	6	地域研究 ヨーロッパ1			24		
	7	地域研究 ヨーロッパ2			25		
	8	地域研究 ヨーロッパ3			26		
	9	地域研究 北アメリカ			27		
	10	地域研究 北アメリカ2			28		
	11	地域研究 東南アジア1			29		
	12	地域研究 東南アジア2			30		
	13	地域研究 中国			31		
	14	地域研究 オセアニア			32		
	15	地域研究 太平洋の島々			33		
	16	地域研究 オセアニア			34		
	17	地域研究 中近東・アフリカ			35		
	18	確認テスト・まとめ2			36		
成績割合		テスト		40%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		40%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		Route InformationB		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年		2 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		座学形式で各地の概要を学び、それに基づき各自が調べ学習をする。 調べた成果は発表し、全体で共有していく。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	世界の食事情	
	2	世界の国々と首都			20	世界の行事・イベント	
	3	世界遺産			21	世界のテーマパーク	
	4	世界遺産			22	世界の空港	
	5	オーストラリア・ニュージーランド			23	地域研究概論(各地の空港と観光地)	
	6	太平洋の島々			24	地域研究 ヨーロッパ1	
	7	アメリカ			25	地域研究 ヨーロッパ2	
	8	カナダ・メキシコ・ブラジル・ペルー			26	地域研究 ヨーロッパ3	
	9	欧) 全体の地勢			27	地域研究 北アメリカ	
	10	欧) 英・仏・伊			28	地域研究 北アメリカ2	
	11	欧)ドイツ・スイス・ベルギー 中欧諸国			29	地域研究 東南アジア1	
	12	欧)スペイン・ポルトガル ギリシャ			30	地域研究 東南アジア2	
	13	欧)北欧諸国・ロシア			31	地域研究 中国	
	14	中国			32	地域研究 オセアニア	
	15	台湾、香港、韓国			33	地域研究 太平洋の島々	
	16	タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン			34	地域研究 オセアニア	
	17	インド、インドネシア、 その他の東南アジア諸国			35	地域研究 中近東・アフリカ	
	18	確認テスト・まとめ1			36	確認テスト・まとめ2	
成績割合		テスト		40%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		40%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		TOEIC II		担 当 者 名		鈴木良	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72 時 間(週講時数 2)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストでさらに高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC 1 で学んだストラテジーをさらなる実践を通して習熟する。TOEIC 650点～750点を目指す。					
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・Part 6, Part 7の教材を使い、リーディング力を伸ばす。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 7 (26-50)、Part 6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 7 (51-75)、Part 6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 7 (76-100)、Part 7	
	4	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)			22	Vocabulary exam 7	
	5	模試5 Q. 1-167			23	模試10 Q. 1-167	
	6	TOEIC Vocabulary 5 (26-50)、Part 2			24	TOEIC Vocabulary 8 (1-25)、Part 6	
	7	TOEIC Vocabulary 5 (51-75)、Part 6			25	TOEIC Vocabulary 8 (26-50)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 5 (76-100)、Part 6			26	TOEIC Vocabulary 8 (51-75)、Part 7	
	9	Vocabulary exam 5			27	TOEIC Vocabulary 8 (76-100)、Part 7	
	10	模試7 Q. 1-167			28	Vocabulary exam 8	
	11	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)、Part 2			29	模試11 Q. 1-167	
	12	TOEIC Vocabulary 6 (26-50)、Part 6			30	TOEIC Vocabulary 9 (1-25)、Part 6	
	13	TOEIC Vocabulary 6 (51-75)、Part 6			31	TOEIC Vocabulary 9 (26-50)、Part 6	
	14	模試8 Q. 1-167			32	後期期末テスト(模試12 Q. 1-167)	
	15	TOEIC Vocabulary 6 (76-100)、Part 6			33	TOEIC Vocabulary 9 (51-75)、テスト返却	
	16	Vocabulary exam 6			34	確認テスト・まとめ1	
	17	TOEIC Vocabulary 7 (1-25)、Part 6			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試9 Q. 1-167)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体験型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

シラバス

科目名		エアライン業務演習		担 当 者 名		辻 阪 昭 浩		
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授 業 方 法		講 義		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 必 修 ・ 選 択 ・ 通 年 必修選択		授 業 時 間 数	36時間 (週講時数1)	
授業目的		海外旅行の知識を向上させる						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行業界で働けるよう十分な知識を持てるよう指導する						
授業概要		1年次からの続きとして、ホテルや旅行法も講義し、海外旅行英語も勉強する。						
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1			19	海外観光資源・地理の研究①		
	2	オリエンテーション2			20	海外観光資源・地理の研究②		
	3	オリエンテーション3			21	海外観光資源・地理の研究③		
	4	海外旅行・ホテルの知識解説			22	旅券法①		
	5	食事・名物料理の知識			23	旅券法②		
	6	海外旅行英語①			24	旅券法③		
	7	海外旅行英語②			25	海外旅行英語④		
	8	海外旅行英語③			26	海外旅行英語⑤		
	9	国際航空運賃解説①			27	海外旅行英語⑥		
	10	国際航空運賃解説②			28	旅行会社について		
	11	e-ticketお客様控え解説			29	空港のカウンター業務		
	12	特別運賃、PEX研究			30	運賃のまとめ		
	13	出入国法規の研究			31	国ごとの決まり		
	14	旅券法の解説			32	総復習・質問		
	15	日本人の出入国手続き研究			33	テストの説明		
	16	植物・動物検疫			34	確認テスト・まとめ1		
	17	税関手続きの研究			35	確認テスト・まとめ2		
	18	査証についての知識			36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率		30%				
		レポート		10%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は 不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		元キャセイパシフィック航空で勤務経験があり、現在は自分で旅行会社を経営している						

シラバス

科目名		航空人間学Ⅱ		担 当 者 名		権 銘大	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授業時間数	18時間(週講時数 1)
授業目的		人間力の向上を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		それぞれの個性を見つけ、伸ばすことを目標として、希望する会社に入れるようにすることが目的である。自分の意見を持ち、コミュニケーション力をいかに身につけるかが、大切なテーマである					
授業概要		様々な名著から引用した文や感銘を受けた歌のフレーズや動物の不思議な習性等から感じ取ったことを全員で話し合う。また航空会社の魅力についても各自意見交換をする					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	授業の目標と目的			19		
	2	自分の希望職種とそれを選んだ理由			20		
	3	航空会社の基本と商品			21		
	4	「三間」について学ぶ			22		
	5	航空会社の魅力			23		
	6	「どくろうの説話」を聞いて感じたこと			24		
	7	航空会社のサービス・成功例と改善点			25		
	8	「世界に一つだけの花」の意味			26		
	9	航空会社の商品の特徴・無形の商品			27		
	10	「ヤマアラシのジレンマ」について			28		
	11	空港のグランドハンドリングサービス			29		
	12	マズローの欲求5段階説			30		
	13	航空関連・OCCの役割と仕事			31		
	14	「だまし絵」と「名画」を比べてみる			32		
	15	接客とは何か？			33		
	16	「人間万事塞翁が馬」について考える			34		
	17	自分の容量・キャパシティを知る			35		
	18	期末レポートについて			36		
成績割合		テスト		学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率					80%
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元アジアナ研修で勤務した経験があり、人間力を高める考え方や「心」についてためになる講義を展開する					

シラバス

科目名		コンピューター実習Ⅱ		担当者名		千葉 輝子	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時 間(週講時数2)
授業目的		Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける					
授業 計 画 表	前期	授業内容			後 期	授業内容	
	1	科目ガイダンス			19	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	2	Power Pointの基本操作/スライドの作成 (アウトライン表示)			20	課題(計算、表の装飾)	
	3	スライドの作成 図			21	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	4	スライドの作成 グラフ			22	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	5	スライドの作成 SmartArt			23	表作成課題(IF関数)	
	6	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について			24	グラフ作成の基本	
	7	発表用資料作成			25	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	8	〃			26	〃	
	9	〃			27	〃	
	10	〃			28	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	11	〃			29	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	12	中間試験 プレゼン発表			30	〃	
	13	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)			31	〃	
	14	表作成課題(四則演算/表の装飾)			32	〃	
	15	〃			33	〃	
	16	〃			34	後期期末試験	
	17	前期期末試験			35	後期期末試験の解答解説	
	18	前期期末試験の解答解説/前期振り返り			36	後期振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習> R<実働実践型学習> A<主体的参加型学習> G<海外体感型学習>					
講師プロフィール		商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

シラバス

科目名		ビジネスマナー		担 当 者 名		相川奏恵	
学科		エアライン科 グラッドスタッフコース		授業方法		講義・討議・事例研究・演習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講1時数)
授業目的		社会人の心構えとマナー・仕事のすすめ方の基本を身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる 応対力と仕事のすすめ方を習得する。					
授業概要		コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への 対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。					
授業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			1	テスト返却と前期の振り返り	
	2	オリエンテーション②			2	配慮の必要な方へのお手伝い(屋外実習)	
	3	コミュニケーション①			3	配慮の必要な方へのお手伝い	
	4	コミュニケーション②			4	バリアフリーとノーマライゼーション	
	5	ストローク			5	顧客満足とホスピタリティ	
	6	電話応対①			6	空間心理①	
	7	電話応対②			7	空間心理②	
	8	電話応対③			8	顧客心理①	
	9	好感のもてる話し方・感じの良い聞き方			9	顧客心理②	
	10	来客応対と会話の仕方			10	クレーム対応①	
	11	来客応対・お茶出し・案内の仕方			11	クレーム対応②	
	12	訪問時のマナーと名刺交換			12	会社組織と協働	
	13	アポイントと訪問			13	指示・命令の受け方と報連相	
	14	ビジネス文書(社外)①			14	PDCAサイクル	
	15	ビジネス文書(社外)②			15	自己啓発と自己管理	
	16	ビジネス文書(社内・社交)①			16	期末テスト	
	17	ビジネス文書(社内・社交)②			17	テスト返却と1年の振り返り	
	18	前期期末テスト			18	まとめ	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教案、マニュアル作成と教育)を経験。現在はビジネスマナー、コミュニケーション、電話、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、稲城市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター、日本旅行、りそな総研他					

シラバス

科目名		応用ゼミⅡA		担当者名	入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法	講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授業時間数	36時間(週講時数 2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。				
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1 ゼミの趣旨について		19		
	2	オリエンテーション2 チームビルディング		20		
	3	ヒントを得る① そもそも空港って??		21		
	4	ヒントを得る② 日本の空港の現状 (基幹空港・地方空港の役割の違い)		22		
	5	ヒントを得る③ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果は、問題は)		23		
	6	ヒントを得る④ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)		24		
	7	ヒントを得る⑤ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)		25		
	8	ヒントを得る⑥ 日本とアジアや世界の空港の違い		26		
	9	ヒントを得る⑦ 歴史に学ぶ～成田闘争について～		27		
	10	ヒントを得る⑧ 今後の航空業界における空港の役割 は??		28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)		32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える		35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、今後の空港の機能や SVC、戦略を考える		36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付
		学習態度・出席率		60%		
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%		
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>20%				
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。				

シラバス

科目名		応用ゼミⅡB		担当者名	入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法	講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期	後 期	通 年	授 業 時 間 数
		必修・選択		必修選択		36時間(週講時数 2)
授業目的 航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ) 1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。						
授業概要 業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。						
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、戦略を考える。 考えた案の期待効果は??			19	
	2	課題設定⑥ 考えた案の期待効果は??			20	
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)			21	
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)			22	
	5	課題の検証③ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			23	
	6	課題の検証④ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			24	
	7	課題の検証⑤ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			25	
	8	課題の検証⑥ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			26	
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27	
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28	
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29	
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30	
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31	
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32	
	15	最終プレゼン①			33	
	16	最終プレゼン②			34	
	17	まとめ			35	
	18	振り返り			36	
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付
		学習態度・出席率		60%		
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%		
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%				
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。				

シラバス

科目名	Seminar II B		担 当 者 名	アーロン	
学科	エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法	演習、実技、自習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的	専門授業の理解促進、課題遂行				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	計画を立てて物事を行う習慣、および課題・英会話を通しての語学力習得				
授業概要	アシスタントティーチャーのアドバイスを受けながら、授業での疑問点解決、課題実施、予習・復習をする。 週20分以上ネイティブ教員と英会話を行う。 英語に関するアクティビティが近い場合は、グループでの話し合いに充てる。				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	オリエンテーション		19	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	2	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		20	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	3	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		21	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	4	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		22	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	5	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		23	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	6	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		24	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	7	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		25	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	8	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		26	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	9	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		27	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	10	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		28	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	11	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		29	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	12	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		30	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	13	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		31	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	14	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		32	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	15	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		33	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	16	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		34	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	17	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		35	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ
	18	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		36	まとめ
成績割合	テスト	0%		学習FB方法	成績表送付
	学習態度	100%			
	レポート	0%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫40%				
講師プロフィール	20年近く日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。				

シラバス

科目名		航空検定		担当者名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義、演習など	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択(必修選択)		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)
授業目的		エアライン業界で関わる、さまざまな職種の知識を養う					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット、整備士、キャビンアテンダント、グランドハンドリングなど様々な航空関連業務と、それらに従事するために必要な資格や経歴についての知識を深め、航空検定2級および1級の合格を目標とする。					
授業概要		私たちが普段利用する、飛行機は、どのような職種の人々に関わり、その職業に従事するにはどのような資格や経歴が必要なのかを学びます。航空業界についての知識を深める。					
授 業 計 画 表	前期	授業内容			後 期	授業内容	
	1	オリエンテーション 航空検定を学ぶ意義			19		
	2	ドローンに関わる法令について			20		
	3	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について①			21		
	4	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について			22		
	5	管制官の業務・用語について			23		
	6	管制官の業務・用語について			24		
	7	客室乗務員の資格や業務について①			25		
	8	整備士の資格や業務について①			26		
	9	整備士の資格や業務について②			27		
	10	パイロットの資格や業務について①			28		
	11	パイロットの資格や業務について②			29		
	12	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について①			30		
	13	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について②			31		
	14	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について①			32		
	15	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について②			33		
	16	総復習			34		
	17	定期試験			35		
	18	試験返却、フィードバック			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習>10% R≪実働実践型学習>0% A≪主体的参加型学習>80% G≪海外体感型学習>10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		一般常識ⅡA		担当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		一般常識のテストの勉強や国内・国際時事についても学ぶ。就職試験に備える					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19		
	2	オリエンテーション2			20		
	3	オリエンテーション3			21		
	4	SPIの説明			22		
	5	英語			23		
	6	英語			24		
	7	数学			25		
	8	数学			26		
	9	国語			27		
	10	国語			28		
	11	過去問題を解く			29		
	12	過去問題解説			30		
	13	適性検査の説明			31		
	14	適性検査の例文			32		
	15	国内時事問題			33		
	16	国際時事問題			34		
	17	まとめのテスト			35		
	18	解説			36		
成績割合		テスト	40%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当。					

シラバス

科目名		一般常識ⅡB		担 当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 後 期 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)		
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		一般常識のテストの勉強や国内・国際時事についても学ぶ。就職試験に備える					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19			
	2	オリエンテーション2		20			
	3	オリエンテーション3		21			
	4	SPIの説明		22			
	5	英語		23			
	6	英語		24			
	7	数学		25			
	8	数学		26			
	9	国語		27			
	10	国語		28			
	11	過去問題を解く		29			
	12	過去問題解説		30			
	13	適性検査の説明		31			
	14	適性検査の例文		32			
	15	国内時事問題		33			
	16	国際時事問題		34			
	17	まとめのテスト		35			
	18	解説		36			
成績割合		テスト	40%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当。					

シラバス

科目名		教養講座A		担当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1時間)	
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		自己と向き合うことも必要であると伝える。社会人として働くうえで大切な力を身につけるヒントを得る					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19			
	2	オリエンテーション2		20			
	3	オリエンテーション3		21			
	4	1年生の振り返り		22			
	5	エアトラで身についたことを話し合う		23			
	6	学生と社会人の違い①		24			
	7	学生と社会人の違い②		25			
	8	社会人基礎力とは？		26			
	9	主体性、マニュアル族？		27			
	10	働きかけ力		28			
	11	計画力、計画倒れになってない？		29			
	12	実行力、やってみないと始まらない		30			
	13	ストレスコントロール力		31			
	14	発信力		32			
	15	傾聴力		33			
	16	柔軟性		34			
	17	状況把握力		35			
	18	おかれている立場を考える		36			
成績割合		テスト		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当					

シラバス

科目名		教養講座B		担当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1時間)	
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		自己と向き合うことも必要であると伝える。社会人として働くうえで大切な力を身につけるヒントを得る					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	コンセンサスとは？		19			
	2	コンセンサスゲーム①		20			
	3	コンセンサスゲーム②		21			
	4	課題発見力		22			
	5	課題に目を背けていませんか？		23			
	6	創造力		24			
	7	常に先を見据えて行動する		25			
	8	組織で求められるもの①		26			
	9	組織で求められるもの②		27			
	10	まだ足りないものは？		28			
	11	貴方の考える大人①		29			
	12	貴方の考える大人②		30			
	13	一人一人発表		31			
	14	一人一人発表		32			
	15	自信がつけましたか？		33			
	16	確認テスト・まとめ		34			
	17	確認テスト・まとめ		35			
	18	確認テスト・まとめ		36			
成績割合		テスト		学習FB方法		成績表送付	
		20%					
		学習態度・出席率		60%			
		レポート		20%		成績評価	
合計		100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当					

シラバス

科目名		接遇手話ⅡA		担 当 者 名		仲野	
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	3	ガイダンス・導入			21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (人物・家族の表現)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)			28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃 (趣味の表現)			29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	12	〃 (職業などの表現)			30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	15	前期の復習			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(表出試験)			35	試験の返却/解説	
	18	〃 (読み取り/筆記試験)			36	まとめ	
成績割合	テスト	70%		学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	20%					
	レポート	10%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%						
講師プロフィール	手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。						

シラバス

科目名		中国語ⅡA		担 当 者 名		劉 時 珍 (りゅう じちん)	
学 科		エアライン科 グランドスタッフコース		授 業 方 法		講 義 (・演 習)	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間 (週講時数1)
授 業 目 的		中国語を身に付け、中国の文化に触れ、視野が広がることを目指す。					
授 業 目 標 (ラーニング アウトカムズ)		①綺麗な発音ができ、よく使われる単語を覚えるように。 ②体系的に中国語の文法を身につけるように。 ③基本の日常会話が話せるように。 ④中検4級・3級 (/HSK2級・3級) を目指す。					
授 業 概 要		前期は、主に講義の形で、中国語の発音と一緒に練習し、中国語の仕組みについて解説し、練習する。後期になって、演習に近い形で、主に実用性の高いトラベル中国語を勉強する。一年間を通して、中国語をきれいに発音でき、言いたいことを中国語で表現できることを目指す。そして、中国語の読む力、聞く力も訓練する。					
授 業 計 画 表	前 期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1週目	オリエンテーション1			16週目	第10課	
	2週目	『楽しくはじめる中国語』(改定新版)発音編1			17週目	第11課	
	3週目	中国語発音編2			18週目	第12課	
	4週目	中国語発音編3			19週目	第13課	
	5週目	中国語発音編4			20週目	私家版エアトラ用教科書 トラベル中国語1	
	6週目	中国語発音編5			21週目	トラベル中国語2	
	7週目	第1課			22週目	トラベル中国語3	
	8週目	第2課			23週目	トラベル中国語4	
	9週目	第3課			24週目	トラベル中国語5	
	10週目	第4課			25週目	トラベル中国語6	
	11週目	第5課			26週目	トラベル中国語7	
	12週目	第6課			27週目	中検4級の模擬試験	
	13週目	第7課			28週目	中検3級の模擬試験	
	14週目	第8課			29週目	復習・まとめ	
	15週目	第9課			30週目	確認テスト・試験解説・まとめ	
成 績 割 合		テスト	40%	学 習 FB 方 法		成 績 表 送 付	
		学習態度	30%				
		レポート	30%	成 績 評 価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		2003年から中国語教育に携わり、2012年国際中国語教師中級資格取得。2015年より英語キャリア科(・ブライダル科)の中国語を担当し、今に至る。みなさんと共に成長していくことを授業のモットーにしている。					

シラバス

科目名		エアライン概論		担 当 者 名		新井凡子	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		客室乗務員として即戦力となれるような人材を育成する					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		客室乗務員に必要な知識・マインドを習得する					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション①			19	テスト返却・解説	
	2	オリエンテーション②			20	航空用語②	
	3	オリエンテーション②			21	小テスト	
	4	航空業界について			22	言葉がけ①	
	5	客室乗務員としての心得			23	言葉がけ②・ワークシート	
	6	人間関係5つの基本			24	M/U実習④(ケーススタディ)	
	7	保安要員としての役割			25	M/U実習⑤	
	8	航空用語①			26	M/U実習⑥	
	9	小テスト・運航の流れ①			27	時差①	
	10	運航の流れ②			28	時差②	
	11	運航の流れ③			29	時差③	
	12	M/U実習①(ドリンクサービス)			30	FIRST AID	
	13	M/U実習②			31	SPECIAL MEAL	
	14	M/U実習③			32	CAに必要なマインド	
	15	スピーチ「心に残るサービス」			33	テスト前復習	
	16	(予備・調整日)			34	後期期末テスト	
	17	テスト前復習			35	テスト返却	
	18	前期期末テスト			36	まとめ	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元日本航空客室乗務員 国際線・国内線に従事。					

シラバス

科目名		エアポート概論Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・ <u>通 年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		エアライン業界で必要な知識を備える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		航空機運航に関連する業務として、オペレーション部門・運航部門・客室部門・整備部門等の各業務概要を理解し、各業務間の関わりと航空機の運航における各部署協調の重要性を理解する。					
授業概要		空港における業務全体を理解する為、グランドサービス・グランドハンドリング・エアカーゴの各業務について、基礎的な業務知識の理解を深める。					
授業計画表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション		19	テスト返却・解説		
	2	空港業務について		20	航空用語②		
	3	国内3レター・2レター		21	小テスト		
	4	業務用語① ITV・CATVを基に用語やフォネティックな		22	言葉がけ①		
	5	業務用語② ITV・CATVを基に用語やフォネティックな		23	言葉がけ②・ワークシート		
	6	羽田空港について 就航地、就航会社など①		24	M/U実習④(ケーススタディ)		
	7	羽田空港について 就航地、就航会社など② 海外3レター・2レター		25	M/U実習⑤		
	8	確認テスト		26	M/U実習⑥		
	9	テスト返却 解説		27	時差①		
	10	グランドハンドリングについて① B/I～B/Oまでの機側業務について		28	時差②		
	11	グランドハンドリングについて② B/I～B/Oまでの機側業務について		29	時差③		
	12	SHIP TYPについて①		30	FIRST AID		
	13	SHIP TYPについて①		31	SPECIAL MEAL		
	14	安全について① テネリフェの悲劇		32	CAに必要なマインド		
	15	安全について② テネリフェの悲劇		33	テスト前復習		
	16	安全について③ 「安全」「安心」「エラーチェーン」		34	後期期末テスト		
	17	前期試験		35	テスト返却		
	18	試験返却 解説		36	まとめ		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	20%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠA		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン & 英語コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)	
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション① ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション② チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① 飛行機を利用するってどんな時??			21		
	4	ヒントを得る② その他移動手段との違いは??			22		
	5	ヒントを得る③ 旅行における、飛行機の価値って??			23		
	6	ヒントを得る④ 外国のALは??			24		
	7	ヒントを得る⑤ SPCL SVCやFLTを調べよう			25		
	8	ヒントを得る⑥ SPCL FLTを調べよう			26		
	9	ヒントを得る⑦ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットニングなど)			27		
	10	ヒントを得る⑧ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲットニングなど)			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31	SPECIAL MEAL	
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		40%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠB		担当者名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン & 英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			19		
	2	課題設定⑥ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			22		
	5	課題の検証③ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			23		
	6	課題の検証④ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		Speaking I		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> <u>必 修</u> 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)	
授業目的		基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。					
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をとおして、英語を基礎から学びます。自分 にあってレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から生の英語を学ぶ。違った発音や言い回しに慣れることが出来る。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	Planning a trip. 海外旅行計画が作れるように学びます。	
	2	オリエンテーション2			20	Airport English. C・I・Qで使われる英語を学びます。	
	3	オリエンテーション3			21	Staying at the hotel. ホテルでの英語を学びます。	
	4	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問			22	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	5	Present Tense 現在形を練習します。			23	Making small talk. 雑談できるように学びます。	
	6	動詞'Be' 'Be' 動詞の使い方を学び。			24	What not to talk about. いい話題と悪い話題を学びます。	
	7	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。			25	Directions. 方向や目的地までの行き方を英語で 伝えられるように学びます。	
	8	Describing People 人の様子を説明する練習をします。			26	Public Transportation. 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	9	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。			27	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝える ように学びます。	
	10	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。			28	Travel manners and safety. 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びま	
	11	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。			29	Making requests. お願いの仕方について学びます。	
	12	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・ チェック			30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明	
	13	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。			31	American Joke 日本とアメリカのユーモアのの違いについて学びま	
	14	Questions 現在形の質問をゲーム形式 で学びます。			32	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	15	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッ ション			33	Sharing my dream vacation なぜここを選んだ」とい う	
	16	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな 食べもの、レストランでの注文の仕方を学びます。			35	確認テスト・まとめ2	
	18	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンド イッチの作り方を説明を練習します。			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート		0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績 評価を行う。	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		TOEIC I		担 当 者 名		鈴木良		
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義		
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72 時 間(週講時数 2)	
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストで高得点を目指す						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEICのストラテジーを実践を通して身につける。TOEIC 500点～600点を目指す。						
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・リスニングのストラテジーを実践を通して身につける。						
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容		
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 3 (1-25)、Part 5-6		
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 3 (26-50)、Part 5-6		
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 3 (51-75)、Part 7		
	4	TOEIC テストの紹介、サンプル問題			22	TOEIC Vocabulary 3 (76-100)、Part 7		
	5	模試1 Q. 1-100、TOEIC Vocabulary 1 (1-25)			23	Vocabulary quiz 3		
	6	模試1 Q. 101-200、TOEIC Vocabulary 1 (26-50)			24	模試4 Q. 1-167		
	7	TOEIC Vocabulary 1 (51-75)、Part 1, Part 2			25	TOEIC Vocabulary 4 (1-25)、Part 6		
	8	TOEIC Vocabulary 1 (76-100)、Part 2			26	TOEIC Vocabulary 4 (26-50)、Part 6		
	9	Vocabulary exam 1, Part 2			27	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、Part 7		
	10	TOEIC Vocabulary 2 (1-25)、Part 3-4			28	TOEIC Vocabulary 4 (76-100)、Part 7		
	11	TOEIC Vocabulary 2 (26-50)、Part 3-4			29	Vocabulary quiz 4		
	12	模試2 Q. 1-167			30	TOEIC Vocabulary 0 (1-25)、Part 2		
	13	TOEIC Vocabulary 2 (51-75)、Part 5(タイムマネジメント)			31	SPECIAL MEAL		
	14	TOEIC Vocabulary 2 (76-100)、Part 5-6			32	後期期末テスト(模試5 Q. 1-167)		
	15	Vocabulary exam 2、ストラテジー復習			33	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、テスト返却		
	16	Part 3-4			34	確認テスト・まとめ1		
	17	Part 3-4			35	確認テスト・まとめ2		
	18	前期期末テスト(模試3 Q. 1-146)			36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト		70%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%				
		レポート		0%	成績評価		期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>30%						
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得						

シラバス

科目名		Public Speaking I		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPの効果的な作り方も体得する。					
授業概要		モデルプレゼンテーションのプレゼンテーション 個人のプレゼンテーション リサーチのチェックとプレゼンテーションの準備 プレゼンテーションの練習とコメント 前期・後期での最終プレゼンテーション					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	Intro to course(授業への導入)			19	Model presentation 1: Inconvenient Truth opening(モデルプレゼンテーション1:Inconvenient Truth冒頭部)	
	2	Model presentation 1: How to be an effective speaker(モデルプレゼンテーション1:効果的にプレゼンテーションをする方法)			20	Check brainstorm(アイディア出しチェック)	
	3	Model presentation 2: Magic Washing Machine(モデルプレゼンテーション2:魔法の洗濯機)			21	Check presentation outline(プレゼンテーション概要チェック)	
	4	Organizing ideas: check brainstorm(アイディアの整理:アイディア出しのチェック)			22	Opening(冒頭部)	
	5	Organizing ideas: check outline(アイディアの整理:概要のチェック)			23	Check opening(冒頭部チェック)	
	6	Opening: GRAB(出だし:GRAB)			24	Model presentation 2: Inconvenient Truth presenting data(モデルプレゼンテーション2:Inconvenient Truthデータの提示)	
	7	GRAB Check(GRABチェック)			25	Body 1(本文1)	
	8	Opening check(出だしチェック)			26	Check body 1(本文1チェック)	
	9	Body introduction(本文の導入)			27	Body 2(本文2)	
	10	Body check(本文チェック)			28	Check body 2(本文2チェック)	
	11	Body check(本文チェック)			29	Model presentation 3: Inconvenient Truth conclusion(モデルプレゼンテーション3:Inconvenient Truth 締めくくり)	
	12	Conclusion introduction(締めくくり導入)			30	Conclusion(締めくくり)	
	13	Conclusion check(締めくくりチェック)			31	SPECIAL MEAL	
	14	Final check(最終チェック)			32	Final check(最終チェック)	
	15	Presentations 1(プレゼンテーション1)			33	Presentations 1(プレゼンテーション1)	
	16	Presentations 2(プレゼンテーション2)			34	Presentations 2(プレゼンテーション2)	
	17	Presentations 3(プレゼンテーション3)			35	Presentations 3(プレゼンテーション3)	
	18	Presentations 4(プレゼンテーション4)			36	Review(復習)	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>25% R<実働実践型学習>25% A<主体的参加型学習>25% G<海外体感型学習>25%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		Business Writing I		担 当 者 名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		ビジネスでの英文ライティングの初歩を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でのタイピングに慣れる コンピューターの使い方に慣れる GmailやGoogle Driveのようなクラウドプラットフォームに慣れる ビジネスでの英文メールに慣れる 英文履歴書と送付書の作成 5段落の簡単なエッセーの書き方					
授業概要		ビジネスでの英文メール、タイピングの練習、TOEIC Writingテストの練習、履歴書・送付書作成、エッセー作成					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	Intro to Gmail (Gmail導入)		19	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)		
	2	Intro to Gmail (Gmail導入)		20	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)		
	3	Intro to typing (typing導入)		21	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)		
	4	Intro to typing (typing導入)		22	Dealing with problems (問題への対処)		
	5	Introducing self (自己紹介文)		23	Dealing with problems (問題への対処)		
	6	Introducing self (自己紹介文)		24	Dealing with problems (問題への対処)		
	7	Introducing self (自己紹介文)		25	Dealing with problems (問題への対処)		
	8	Intro response (返事導入)		26	Dealing with problems (問題への対処)		
	9	Intro response (返事導入)		27	Essay outline (エッセーアウトライン)		
	10	Making inquiries (問い合わせをする)		28	Essay outline (エッセーアウトライン)		
	11	Making inquiries (問い合わせをする)		29	Essay outline (エッセーアウトライン)		
	12	Arranging a meeting (ミーティングの設定)		30	Essay body (エッセー本文)		
	13	Arranging a meeting (ミーティングの設定)		31	SPECIAL MEAL		
	14	Complaints (クレームの仕方)		32	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくくり)		
	15	Complaints (クレームの仕方)		33	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくくり)		
	16	Complaints (クレームの仕方)		34	Cover letter (送付書)		
	17	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)		35	Cover letter (送付書)		
	18	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)		36	Cover letter (送付書)		
成績割合		テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	35%				
		レポート	35%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P ≪ 課題解決型学習 ≧ 25% R ≪ 実働実践型学習 ≧ 25% A ≪ 主体的参加型学習 ≧ 25% G ≪ 海外体感型学習 ≧ 25%					
講師プロフィール		Ripley氏は約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。					

シラバス

科目名		Grammar I		担 当 者 名		松川 はるみ	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		Conversation で使われる文法事項の習得と強化を目的とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		文法事項(Touchstone, Cambridge, University Press)をマスターする。毎週の単語小テストを通し、 年間400語を文の中で使えるようにする。					
授業概要		単語や熟語は毎回小テストを実施する。文法は問題を解きながら、解説していく。 学生がわかりにくいところは理解できるまで例文を交えて、説明する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	授業目的、成績評価方法、 教材・小テスト説明			19	前置詞	
	2	品 詞			20	関係詞	
	3	代名詞			21	分詞	
	4	比 較			22	復 習	
	5	形容詞、代名詞の働きをする語句			23	時制と代名詞	
	6	復 習			24	つながり言葉	
	7	単語試験1、英字新聞を読む			25	語法	
	8	時制1			26	ボキャブラリー1	
	9	時制2			27	ボキャブラリー2	
	10	受動態			28	ニュースを読む	
	11	能動態			29	関係代名詞1	
	12	主語と述語の一致			30	関係代名詞2	
	13	不定詞・動名詞			31	SPECIAL MEAL	
	14	復 習			32	仮定法	
	15	接続詞			33	分詞	
	16	熟 語			34	英語記事を読む、単語ゲーム	
	17	前期期末試験			35	後期期末試験	
	18	前期期末試験振り返り			36	後期期末試験振り返り	
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	30%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元JALの国際線客室乗務員として勤務経験者。					

シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担 当 者 名		池 亀 満 枝	
学 科		エアライン科 エアライン&英語コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		人間心理、人間関係を大切さを学び、自分自身を見つめ直す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		より良い人間関係を築き、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力を向上させる。					
授業概要		人間心理の知識、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力の習得、社会人として活躍するための準備を座学形式で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	授業ガイダンス			19	敬語の種類	
	2	ホスピタリティとは			20	丁寧語・美化語・改まり語	
	3	サービスとホスピタリティ			21	尊敬語	
	4	マズローの欲求段階説			22	謙譲語Ⅰ	
	5	顧客満足とホスピタリティ			23	謙譲語Ⅱ	
	6	ジョハリの窓			24	状況に合わせた敬語、ウチとソトの使い分け	
	7	ストローク			25	敬語の誤用	
	8	メラビアン の 法則			26	違和感を与える表現、信頼感を損ねる口癖	
	9	明るい挨拶・さわやかな返事、挨拶ことば			27	相手に配慮して伝える	
	10	おしゃれと身だしなみの違い			28	クッションことばを使いこなす	
	11	制服の効果			29	好感の持てる話し方、感じの良い聴き方①	
	12	いきいきとした豊かな表情			30	好感の持てる話し方、感じの良い聴き方②	
	13	表情訓練			31	SPECIAL MEAL	
	14	心構え			32	会話を弾ませるテーマ選び②	
	15	立ち居振る舞い			33	敬語ワークシート	
	16	基本動作、応用動作の実践			34	試験実施	
	17	試験実施			35	試験用紙返却、解説	
	18	試験用紙返却、解説			36	振り返り まとめ	
成 績 割 合		テスト	70%		学 習 FB 方 法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度	20%				
		レポート	10%		成 績 評 価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫80% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫10% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		文部科学省、国土交通省、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。					

シラバス

科目名		Airline English I		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週1時間)	
授業目的		エアライン(機内、空港)で使う英語に慣れ、サービスで使う英語を習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		基本の会話の文章を暗記し、丁寧な言い方がすぐに使えるように繰り返し学習する。					
授業概要		JAL監修の機内英語会話テキストを全て習得できるよう会話力を鍛える。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	オリエンテーション、授業の進め方説明		19	L 6 Sec 1,2 reading, dialogues		
	2	Lesson1 Section1 reading,vocabulary		20	L 6 Sec 3,4 文法、writing		
	3	L 1 Sec 1,2 reading, dialogues		21	L 6 Review, ロールプレイング		
	4	L 1 Sec 3,4 文法、writing		22	L 7 Sec 1,2 reading,dialogues		
	5	L1 Review ロールプレイング		23	L 7 Sec 3,4 文法、writing		
	6	L 2 Sec 12 reading, dialogues		24	L 7 Review, ロールプレイング		
	7	L 2 Sec 3,4 文法、writing		25	L 8 Sec 1,2 reading,dialogues		
	8	L 2 Review, ロールプレイング		26	L 8 Sec 1,2 reading,dialogues		
	9	L 3 Sec 1,2 reading, dialogues		27	L 8 Review, ロールプレイング		
	10	L 3 Sec 3,4 文法、writing		28	L 9 Sec 1,2 reading,dialogues		
	11	L 3 Review, ロールプレイング		29	L 9 Sec 3,4 文法、writing		
	12	L 4 Sec 1,2 reading, dialogues		30	L 9 Review, ロールプレイング		
	13	L 4 Sec 3,4 文法、writing		31	SPECIAL MEAL		
	14	L 4 Review, ロールプレイング		32	L 10 Sec 3,4 文法、writing		
	15	L 5 Sec 1,2 reading, dialogues		33	L 10 Review, ロールプレイング		
	16	L 5 Sec 3,4 文法、writing、Review, ロールプレイング		34	期末試験		
	17	期末試験		35	試験返却		
	18	試験返却		36	まとめ		
成績割合	テスト	60%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度	30%					
	レポート	10%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫70% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール	静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。 1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。						

シラバス

科目名		Interview English		担 当 者 名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必 修 選 択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)	
授業目的		英語面接に慣れることを目標とする。英語表現だけでなく、第一印象を良くするためのコツを体得。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		面接にふさわしい英語を選んで、自分自身を魅力的に表現する。 自分にはどのような形容詞が合っているのかを、担当教員と話し合って自己PRを作っていく。					
授業概要		英語面接練習をもとに英語でのエントリーシート作成も行う。外資系企業に勤めていた教員による授業であるため、就職活動の際のコツをつかむことができる。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	Intro to Course Entering and Leaving(授業の導入、入退室の仕方)		19	Pair Discussion 1(ペアーディスカッション)		
	2	Small Talk(スモールトーク)		20	Group Discussion 1(グループディスカッション1)		
	3	Professional Presentation Self-introduction(面接にふさわしい振る舞い、自己紹介)		21	Group Discussion 2(グループディスカッション2)		
	4	Self-introduction Review(自己紹介、復習)		22	Group Discussion Test(グループディスカッションテスト)		
	5	Sounding Natural(自然な言葉遣い)		23	Future Goals(将来の目標)		
	6	Sounding Natural Review(自然な言葉遣い、復習)		24	Future Goals(将来の目標)		
	7	Self-introduction(自己紹介)		25	Test review(試験に向けての復習)		
	8	TEST(試験)		26	TEST(試験)		
	9	TEST(試験)		27	TEST(試験)		
	10	Likes and Interests(趣味と興味)		28	Skills and Traits(スキルと性格)		
	11	Likes and Interests(趣味と興味)		29	Skills and Traits(スキルと性格)		
	12	Group Interview(グループ面接)		30	Skills and Traits Company/Institution Research HW(スキルと性格、企業研究宿題)		
	13	Group Interview(グループ面接)		31	Check Company/Institution Research HW(企業研究宿題チェック)		
	14	School OR Work(学校か仕事か)		32	Why do you want to work/study at ...?(志望動機)		
	15	School OR Work(学校か仕事か)		33	Why do you want to work/study at ...?(志望動機)		
	16	School OR Work(学校か仕事か)		34	Test review(試験に向けての復習)		
	17	TEST(試験)		35	TEST(試験)		
	18	TEST(試験)		36	TEST(試験)		
成績割合		テスト	75%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度	25%				
		レポート		成績評価		出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。					

シラバス

科目名		アマデウス実習I		担 当 者 名		小泉 公仁子	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線の予約の操作を学び、「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使つて基本操作を学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュース等を取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会との繋がりを意識させる。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	小児・幼児の情報入力	
	3	オリエンテーション3			21	各種ミール、HELP活用方法	
	4	アマデウスシステム 基本的な操作方法			22	フリークエントフライヤープログラム	
	5	国際線基礎知識			23	座席指定	
	6	各種コード検索			24	セキュアフライトプログラム	
	7	情報検索、タイムテーブル、スケジュール照会			25	OSI	
	8	空席照会、ステータスコード			26	RMKS	
	9	空席照会オプションエントリー			27	基礎知識まとめ	
	10	空席照会からの予約			28	ロールプレイ①	
	11	旅客データ 綴り、タイトル			29	ロールプレイ②	
	12	PNR作成 必須項目の入力			30	総復習	
	13	PNR完了後のステータスコード、中断、抽出			31	検定対策①	
	14	乗継便、取消し待ち、ARNK, オープン			32	期末テスト(検定対策②)	
	15	PNR項目の取消し、修正、変更			33	検定対策③	
	16	ダイレクトアクセス、アクセスレベル			34	まとめ①	
	17	総復習			35	まとめ②	
	18	期末テスト			36	まとめ③	
成績割合		テスト	30%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度	20%				
		検定	50%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>40% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>50% G<海外体験型学習>10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		コンピュータ実習 I		担 当 者 名		深井 妙子	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格できるレベルを目指す(資格取得希望者は受験可能)					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)→レポートを提出 ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語、PC用語)も取り入れ、一般常識も身に付ける					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	科目ガイダンス		19	図の挿入/図形の描画		
	2	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本		20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	3	タイピング練習/文字入力の基本		21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	4	ビジネス文書の書き方		22	日商PC検定文書作成検定 試験問題1		
	5	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		23	日商PC検定文書作成検定 試験問題2		
	6	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		24	日商PC検定文書作成検定 試験問題3		
	7	ビジネスメールの書き方		25	日商PC検定文書作成検定 試験問題4		
	8	ビジネスメール課題		26	日商PC検定文書作成検定 試験問題5		
	9	表作成の基本		27	日商PC検定文書作成検定 試験問題6		
	10	ビジネス文書課題(表のある文書)		28	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1		
	11	ビジネス文書課題(表のある文書)		29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2		
	12	ビジネス文書課題(表のある文書)		30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3		
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)		31	SPECIAL MEAL		
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)		32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題5		
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)		33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題6		
	16	前期期末試験		34	後期期末試験		
	17	前期期末試験の解答解説		35	後期期末試験の解答解説		
	18	前期振り返り		36	後期振り返り		
成績割合	テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度		30%				
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体験型学習≫						
講師プロフィール	建設業界で、設計の仕事に加え事務処理(申請業務、見積書の作成、工程表作成など)の実務経験及び、職業訓練校での講師経験も長く、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。						

シラバス

科目名		グランドスタッフ概論		担当 者 名		小池 はるか	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		航空会社の一員であるグランドスタッフとして働くために必要な知識や業務内容について知る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		・様々な空港旅客サービスを想定した授業を通して、グランドスタッフとして求められる人材に近づく ・実際にお客様と接することの難しさやひとりひとりのお客様と向き合うことの重要性を知る					
授業概要		搭乗手続きの手順や渡航に関する知識、安全意識、確認の大切さ、お客様と接する際に心掛ける事等を座学形式やロールプレイング形式にて学んでもらう。 また、実際に空港で業務中に起こった特殊な事例やミス等を紹介しケーススタディとして知ってもらう。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	航空業界の概要 ①			19	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ①	
	2	航空業界の概要 ②			20	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ②	
	3	空港業務 ①			21	発券業務 ①	
	4	空港業務 ②			22	発券業務 ②	
	5	出発業務(航空用語、特殊旅客) ①			23	チェックイン実践 ①	
	6	出発業務(航空用語、特殊旅客) ②			24	チェックイン実践 ②	
	7	顧客案内 ①			25	到着業務 ①	
	8	顧客案内 ②			26	到着業務 ②	
	9	チェックイン業務 ①			27	到着業務 ③	
	10	チェックイン業務 ②			28	到着顧客案内実践 ①	
	11	チェックイン実践 ①			29	到着顧客案内実践 ②	
	12	チェックイン実践 ②			30	到着顧客案内実践 ②	
	13	チェックイン実践 ③			31	SPECIAL MEAL	
	14	出発業務(出入国規定) ①			32	期末テスト ②	
	15	出発業務(出入国規定) ②			33	テスト返却 解説	
	16	期末テスト ①			34	まとめ ①	
	17	期末テスト ②			35	まとめ ②	
	18	テスト返却 解説			36	振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		アジアナ航空のグランドスタッフとして、成田空港で約10年間旅客サービス業務に従事してまいりました。 業務中に起こる様々な出来事を題材に、経験豊富な現役のスタッフと共に授業を進めていく予定です。					

シラバス

科目名	話し方		担 当 者 名	古閑三恵	
学科	エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的	「言葉づかい」は「心づかい」。言葉により勇気づけられたり傷つけられたり。言葉の大切さを共に学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	接客業に必要なお客様に聞き取りやすい基本的な声の出し方。話し上手である必要はありません。相手への気配りを言葉の端々に感じさせる人こそコミュニケーション上手。自分の考えを自分の言葉で表現出来る人に。 相手の話しを聞く力をつける。一年後、人前で話す事が楽しくなるように。				
授業概要	口の開け方、声の出し方、立ち姿の基本を徹底し、自分の為だけではなくお客様に対し(接客業)親切な声を作る。マニュアルだけでなく自分の考えを自分の言葉でしっかりと伝える事が出来るよう、多くの発表の場を設ける。 人の話しをどう聞くかに人間性が表れる。人の発表についての自分の考えを自由に発言してもらう。				
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容
	1	授業の進め方、自己紹介、話し方とは？		19	敬語の基本
	2	ストレッチ、正しい立ち方、呼吸法、ゲーム		20	ストレッチ、発声、(テクノス祭の司会者練習)
	3	ストレッチ、腹式呼吸、正しい口の開け方		21	ストレッチ、発声テクノス祭を終えて。スピーチ
	4	ストレッチ、腹式呼吸、50音発声		22	プレゼン構成Ⅱ 文章作り
	5	ストレッチ、50音発声、(早口言葉)		23	発表
	6	ストレッチ、50音発声、(プレゼン構成Ⅰ)		24	発表
	7	ストレッチ、50音発声、(60秒発表)		25	発表
	8	好きな映画について 発表		26	50音発声テスト
	9	好きな映画について 発表		27	敬語小テスト
	10	好きな映画について 発表		28	テスト「テーマで発表」
	11	広島・長崎朗読劇「この子たちの夏」の朗読		29	ストレッチ、発声(ゲーム)
	12	夏休み宿題「美術館」発表		30	エレベーターピッチ(就職活動に向けて自己PR練習)
	13	夏休み宿題「美術館」発表		31	エレベーターピッチ
	14	夏休み宿題「美術館」発表		32	発表「今まで生きてきた中で一番大切にしている事、人、物」
	15	テスト「テーマで60秒発表」		33	発表
	16	詩を読む		34	発表
	17	お芝居をやってみよう！(自分を解放する。)		35	発表
	18	ナレーションなど。		36	最後に皆さんに。
成績割合	テスト		40%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度		40%		
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	劇団四季附属演劇研究所卒業。井上ひさしの劇団「こまつ座」を経て現在プロダクション所属。舞台、映画、ドラマ、ラジオパーソナリティ、ナレーション、司会、大手プロダクション演技指導等。				

シラバス

科目名		職業適性講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン＆英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間（週講時数1）	
授業目的		テクノスの学修機会を存分に体験してもらう「しくみ」を伝え、成長を実感してもらう					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人となるための自覚や、自信の特徴・適正などにを自覚する。 学年の違いを活かした協働授業をすることで、それぞれの自覚を促す。					
授業概要		講義形式で行う。クラス担任が実施。適宜、プレゼンなどを取り入れて実施。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	オリエンテーション①		19	学修機会を使い切ろう 後期の目標設定		
	2	職業を得るとはどういうことか考える		20	テクノスノートを使用し、明確にする		
	3	テクノスノートを使用し、1年間の過ごし方を考える		21	目標達成するための工夫をディスカッションする		
	4	今年度の目標を設定する		22	成長した部分の確認		
	5	目標達成のための計画をつくる		23	工夫を今後活かす		
	6	計画を実行するためには?? メンター制度		24	マナープロトコル検定に向けて		
	7	お互いに観察し、振り返りを共有		25	マナープロトコル検定 模擬試験①		
	8	学修機会の再確認		26	マナープロトコル検定 模擬試験②		
	9	学修機会を最大限に活かすためには		27	マナープロトコル勉強会		
	10	フィールドワークとは??その目的、目標は		28	マナープロトコル勉強会		
	11	事前プレゼンテーション		29	フィールドワーク② 内容を決める		
	12	実際に探求、体験、その成果検証		30	事前プレゼンテーション		
	13	報告プレゼンテーション準備		31	フィールドワーク		
	14	プレゼンテーション		32	報告プレゼンテーション準備①		
	15	プレゼンテーション		33	報告プレゼンテーション		
	16	振り返りスピーチ		34	報告プレゼンテーション		
	17	振り返りスピーチ		35	振り返りスピーチ		
	18	まとめ		36	まとめ		
成績割合	テスト(プレゼン)		20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率		60%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担当者名		和田 みさ	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。 NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①		19	試験の返却/解説(前期の振り返り)		
	2	オリエンテーション②		20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)		
	3	ガイダンス・導入		21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)		
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)		22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名		
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)		23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名		
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)		24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習		
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)		25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習		
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)		26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	9	〃 (人物・家族の表現)		27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有		
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)		28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)		
	11	〃 (趣味の表現)		29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	12	〃 (職業などの表現)		30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)		31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)		32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習		
	15	前期の復習		33	学年末試験(表出試験)		
	16	前期の復習		34	〃 (読み取り/筆記試験)		
	17	前期末試験(表出試験)		35	試験の返却/解説		
	18	〃 (読み取り/筆記試験)		36	まとめ		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		学習法		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 後 期 ・ 通 年 必修・選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数		18時間(週講時数 1)	
授業目的		テクノスでの学生生活を円滑に進めるための心得を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		学校生活におけるルールなどを身に付ける					
授業概要		日直制度について、ドレスアップとは、レポートの書き方また、ワークショップ等を行う					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	自己紹介			19		
	2	自己紹介			20		
	3	講義形式の授業の受け方			21		
	4	実習形式の授業の受け方			22		
	5	インターンシップについて			23		
	6	レポート提出について			24		
	7	レポートの書き方			25		
	8	提出物について			26		
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27		
	10	日直制度について			28		
	11	一般的なドレスアップについて			29		
	12	オフィスカジュアルとは			30		
	13	学内での注意事項			31		
	14	学内でのルール			32		
	15	ワークショップ①			33		
	16	ワークショップ②			34		
	17	ワークショップ③			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト		0%		学習FB方法	成績表送付
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		自己の存在価値および社会人としての役割を認識する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「職業観」を理解し、自身のキャリアプランを考える。 履歴書作成および面接試験を行い、就職活動に対する意識づけ。					
授業概要		講義形式が基本。適宜、グループディスカッションなども行う。					
授 業 計 画 表	前期	授業内容			後 期	授業内容	
	1	進路&業界研究			19		
	2	キャリアビジョンを考える			20		
	3	業界の働く環境			21		
	4	求人票の見方			22		
	5	自己分析①			23		
	6	自己分析②			24		
	7	企業研究の仕方			25		
	8	企業研究①			26		
	9	企業研究②			27		
	10	グループディスカッション①			28		
	11	グループディスカッション②			29		
	12	志望動機の作り方①			30		
	13	志望動機の作り方②			31		
	14	履歴書&ESの書き方①			32		
	15	履歴書&ESの書き方②			33		
	16	企業への連絡マナー			34		
	17	第一印象の重要性			35		
	18	面接練習			36		
成績割合		テスト		0%		学習FB方法	成績表送付
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン＆英語コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・ <u>後 期</u> ・通 年 <u>必 修</u> ・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)	
授業目的		履歴書やESに記入する内容を、自らの自己分析を基に記入する。それを教員がアドバイスすることで、書き方のコツを学ぶ。 また、筆記試験対策として、国語・社会・英語を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職試験に必要な自己分析や、筆記試験に対する意識づけを行う。					
授業概要		講義形式が基本。客室乗務員として勤務し、本校の就職担当教員を務める教員が担当。 英語面接の練習は、外国人教員が担当する。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	志望動機作成①		19			
	2	志望動機作成②		20			
	3	志望動機添削		21			
	4	自己PR作成①		22			
	5	自己PR作成②		23			
	6	自己PR作成③		24			
	7	自己PR添削		25			
	8	英語面接練習①		26			
	9	英語面接練習②		27			
	10	英語面接練習③		28			
	11	筆記試験対策 国語①		29			
	12	筆記試験対策 国語②		30			
	13	筆記試験対策 社会①		31			
	14	筆記試験対策 社会②		32			
	15	筆記試験対策 社会③		33			
	16	筆記試験対策 英語①		34			
	17	一般常識の試験		35			
	18	面接練習		36			
成績割合		テスト	0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率	80%				
		レポート・課題	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社でのグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職対策講座Ⅰ		担当者名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン＆英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		職活動に向けて必要な知識、技能(主に「コミュニケーション能力」、「行動力」、「情報収集能力」)を身に付ける。これを踏まえ、就職活動に必要な社会人としての知識や教養、技能修得し、自己認知のもと自己表現力の向上を目指し、自信を持って活動に臨めるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動に必要な基礎知識の修得、および、意欲的に就職活動に向かうためのマインドの醸成を目標とする。					
授業概要		SPIの問題集などを使って行う。					
授 業 計 画 表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	就職試験とは			19		
	2	SPI対策①(言語)			20		
	3	SPI対策②(言語)			21		
	4	SPI対策③(言語)			22		
	5	SPI対策①(非言語)			23		
	6	SPI対策②(非言語)			24		
	7	SPI対策③(非言語)			25		
	8	集団面接対策講座①			26		
	9	集団面接対策講座②			27		
	10	集団面接対策講座③			28		
	11	グループディスカッション対策①			29		
	12	グループディスカッション対策②			30		
	13	グループディスカッション対策③			31		
	14	個人面接対策①			32		
	15	個人面接対策②			33		
	16	個人面接対策③			34		
	17	SPI試験			35		
	18	各種面接の総復習			36		
成績割合		テスト	0%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率	80%				
		レポート・課題	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン＆英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		職業に関する理解を深めると共に、パーソナリティや多様なキャリアに関する理解する。また、社会において求められる能力を把握し、自らのキャリアを振り返り発信する力を育む。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		キャリアデザインに関連する知識を身に付けることを目標とする。					
授業概要		講義形式を基本とするが、グループワークやディスカッション、課題消化などを併用して進める。					
授 業 計 画 表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション			19		
	2	キャリアとは何か			20		
	3	キャリアデザインに関する理論①			21		
	4	キャリアデザインに関する理論②			22		
	5	キャリアデザインに関する理論③			23		
	6	職業とは			24		
	7	多様な職業を知る			25		
	8	キャリアの振り返り			26		
	9	キャリアデザインの実例①(ゲストスピーカー)			27		
	10	パーソナリティ			28		
	11	社会の理解			29		
	12	キャリアデザインの実例②(ゲストスピーカー)			30		
	13	多様なキャリア			31		
	14	就職活動に関するスキル①			32		
	15	就職活動に関するスキル②			33		
	16	社会において求められる能力			34		
	17	キャリアデザインの実例③(ゲストスピーカー)			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社でのグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		観光英語Ⅰ		担当者名		岡野 秀子	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		ホテルや空港などで使う実用的な言い回しを学び、観光英検2級・3級合格を目標とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本内外に関わらず、外国人と英語でコミュニケーション出来るようになる。またパンフレットや観光関連記事を多読して専門用語になれることを目標とする。					
授業概要		観光英語に頻出する単語を覚え、毎回の小テストでリマインドする。また、駅や飛行機の中で流れるアナウンスなどを聞き、即座に情報を得られるようにする。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	空港チェックインカウンターのやりとり			19	観光英検講座(過去問から)	
	2	ツアーコンダクター ～空港からホテルまで			20	観光英検講座(過去問から)	
	3	J. F. ケネディ空港 交通機関に関するチラシ			21	観光英検講座(過去問から)	
	4	ホテルでのチェックイン			22	出入国管理と税関にて	
	5	レストラン～注文の仕方			23	レストランでの注文の仕方	
	6	レストラン～メニューの見方			24	観光1	
	7	駅でのやり取り Dictation			25	観光2	
	8	観光名所～ツアーの説明			26	ショッピング1	
	9	ショッピング～買い物の仕方			27	ショッピング2	
	10	時刻表を読む			28	交通機関1	
	11	観光パンフレットを読む1			29	交通機関2	
	12	観光パンフレットを読む2			30	国内旅行1～英語で紹介	
	13	トラブルと苦情1			31	国内旅行2～英語で紹介	
	14	トラブルと苦情2			32	日本地理を英語でプレゼンテーション(準備)	
	15	切符の買い方、食堂車の予約、リスニング			33	日本地理を英語でプレゼンテーション(準備)	
	16	観光英語まとめ			34	日本地理を英語でプレゼンテーション(発表)	
	17	前期期末テスト			35	後期期末テスト	
	18	期末レポートについて			36	後期期末テスト振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		日本航空国際線の客室乗務員として長年勤務した経験から、実際に使える生きた英語を教えている					

シラバス

科目名		Speaking II		担当者名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)		
授業目的		英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト					
授業概要		コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業 です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等とおして、英語を基礎から学びます。自分 にあっていうレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての意見 を聞き、文化や歴史の違いを感じることが出来る。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	オリエンテーション1		19	Units 7/8 Lesson A		
	2	オリエンテーション2		20	Units 7/8 Lesson B		
	3	オリエンテーション3		21	Units 7/8 Lesson C		
	4	Units 1/2 Lesson A		22	Test 7/8		
	5	Units 1/2 Lesson B		23	Test 7/8		
	6	Units 1/2 Lesson C		24	Units 9/10 Lesson A		
	7	Test 1/2		25	Units 9/10 Lesson B		
	8	Test 1/2		26	Units 9/10 Lesson C		
	9	Units 3/4 Lesson A		27	Test 9/10		
	10	Units 3/4 Lesson B		28	Test 9/10		
	11	Units 3/4 Lesson C		29	Units 11/12 Lesson A		
	12	Test 3/4		30	Units 11/12 Lesson B		
	13	Test 3/4		31	Units 11/12 Lesson C		
	14	Units 5/6 Lesson A		32	Test 11/12		
	15	Units 5/6 Lesson B		33	Test 11/12		
	16	Units 5/6 Lesson C		34	確認テスト・まとめ1		
	17	Test 5/6		35	確認テスト・まとめ2		
	18	Test 5/6		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト	75%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度	25%				
		レポート	0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		元Air Canada客室乗務員。25年以上日本で英語を教えている。					

シラバス

科目名		職業適性講座Ⅱ		担当 者 名		岡野秀子		
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義・グループワーク		
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)	
授業目的		社会人基礎力の育成をする						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動および社会人として必要なことをクラス全員で考え、学び、行動に移す						
授業概要		就職活動のサポート授業 学内イベント準備						
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容		
	1	授業オリエンテーション			19	前期の反省		
	2	〃			20	後期クラス目標設定		
	3	目的目標設定について			21	後期個人目標設定		
	4	クラス目標設定			22	就職対策4		
	5	個人目標設定			23	就職対策5		
	6	就職対策1			24	就職対策6		
	7	就職対策2			25	卒展 クラス企画話し合い		
	8	就職対策3			26	卒展 クラス企画決定		
	9	学院祭 クラス企画話し合い			27	グループワークについて		
	10	学院祭 クラス企画決定			28	プレゼンテーション		
	11	主体性について			29	冬期特別講座概要		
	12	チームワークについて			30	卒業に向けて		
	13	夏期特別講座概要			31	社会人の心構え		
	14	学院祭について			32	テクノス展準備		
	15	学院祭について			33	テクノス展準備		
	16	学院祭について			34	授業まとめ/振り返り		
	17	個人目標再設定			35	〃		
	18	前期総括			36	〃		
成績割合		テスト		学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		学習態度・出席率						80%
		レポート		20%	成績評価			
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		JALの国際線客室乗務員として24年間勤務。VIPフライト・新人外国人教官経験あり。						

シラバス

科目名		プレゼンテーション		担当者名		東真理		
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 1)	
授業目的		コミュニケーション能力を高め、社会人にふさわしい話し方を身につける。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プレゼンテーションの発表を目的とし、「説明」から「説得」へ。聞く人の心を動かすスピーチの習得を目指す。						
授業概要		プレゼンテーションの基礎となる話し方の技術を学ぶ座学と、実際に人前で発表する実技を共に行う。						
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容		
	1	年間予定と「プレゼンテーション」について説明。講師紹介。			19	〃		
	2	基礎レッスン・ボイストレーニング①			20	敬語②		
	3	〃			21	ディベート		
	4	自己PRスピーチ			22	〃		
	5	〃			23	プレゼンテーション		
	6	〃			24	〃		
	7	敬語①			25	〃		
	8	グループディスカッション・模擬面接			26	〃		
	9	〃			27	〃		
	10	〃			28	グループワーク		
	11	話し方表現練習			29	グループワーク		
	12	時事についてのスピーチとディスカッション			30	グループワーク		
	13	〃			31	グループワーク		
	14	前期末スピーチテスト			32	学年末テスト		
	15	〃			33	〃		
	16	基礎レッスン・ボイストレーニング②			34	年間のまとめ		
	17	説明と説得・ロールプレイ			35	〃		
	18	〃			36	〃		
成績割合		テスト		50%		学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		40%				
		レポート		10%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習> A<主体的参加型学習>50% G<海外体感型学習>						
講師プロフィール		(有)スターダス・21所属、映像・舞台・声・CM等出演／(株)「話し方研究所」認定インストラクター講師						

シラバス

科目名	A.W.English		担当者名	Ernie Chan	
学科	エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 (通 年) 必 修 ・ 選 択 ・ (必修選択)	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的	Compose paragraphs for academic writing アカデミックライティングでの文章を書く				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外大学・外資系企業で通用する論文・文章を書くスキルを習得する				
授業概要	outline of 5-page essay 5ページの作文の概要				
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容
	1	Introduction to class, Review of previous skills クラスの導入、1年生の復習		19	review previous term skills 前期で学んだスキルの復習
	2	write an opinion paragraph 意見の段落を書く		20	brainstorm essay argument 作文の論点のアイディア出し
	3	critical thinking activity 批判的思考アクティビティー		21	brainstorm essay direction 作文の方向性のアイディア出し
	4	write a paragraph based on critical thought 批判思考を元にした1段落の文章を書く		22	check essay argument and direction in groups, discuss 作文の論点と方向性をグループで話し合い確認する
	5	introductory sentence 導入文		23	first draft 第一稿
	6	analysis and concluding sentence 分析と結び文		24	first draft 第一稿
	7	interesting and compelling theses 興味深く説得力のある論旨		25	first draft 第一稿
	8	good vs bad theses よい論旨と悪い論旨		26	peer review of first draft クラスメートによる第一稿の見直し
	9	pyramid structure ピラミッド構造		27	second draft 第二稿
	10	focusing on thesis 論旨に注目する		28	second draft 第二稿
	11	pyramid structure ピラミッド構造		29	peer review of second draft クラスメートによる第二稿の見直し
	12	relating to life/world application 生活・世界への応用に関して		30	final draft 最終稿
	13	relevant issues 関連のある題材		31	final draft 最終稿
	14	good vs bad arguments よい議論と悪い議論		32	peer review of final draft クラスメートによる最終稿の見直し
	15	credibility of sources 情報の信憑性		33	peer review of final draft クラスメートによる最終稿の見直し
	16	check credibility of sources 情報の信憑性をチェックする		34	review and correct final draft of essay 作文の最終稿を見直して修正
	17	present essay outline 作文の概要を提出する		35	present essay to class 作文をクラスに提出
	18	final essay review 作文の最終確認		36	present essay to class, class conclusion 作文をクラスに提出、まとめ
成績割合	テスト			学習FB方法	成績表送付
	学習態度		50%		
	レポート		50%	成績評価	50% classroom participation 50% 平常点 50% essay 50% 提出課題
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫25%				
講師プロフィール	2009年からカナダとグアテマラで英語教員として活躍。2018年より日本在住。				

シラバス

科目名		English Pragmatics		担当 者 名		Selena Greising	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		英語を話すというスキルで一番上のレベルの要素を身につける。さらに高いレベルの表現を学び、環境や周りの人、状況などに基づいて適切に使用できるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		自分たちが使う言葉についてどんな言葉をいつ使うかということについて批判的に考えられるようになり、社会生活のどのレベルでの適切に使えるようにする。					
授業概要		様々な形の身体と発声的表現について学び練習することから授業を始める。役立つ表現を学び、様々な状況に適用する練習をする。*この授業について:この授業の内容は前期で一回りし、後期は別の教員が同じ内容を行う。教え方の違う2人の教員が同じ内容を行うことによって、学習内容の定着を図る。□□□□					
授業計画表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容		
	1	Class introduction 導入		19	Class introduction 導入		
	2	Body language, facial expression ボディランゲージ、顔の表情		20	Body language, facial expression ボディランゲージ、顔の表情		
	3	Alba technique アルバ・テクニク		21	Alba technique アルバ・テクニク		
	4	No-content scene exercises ノーコンテンツシーン・エクササイズ		22	No-content scene exercises ノーコンテンツシーン・エクササイズ		
	5	Greetings and closings 挨拶と会話の終わり		23	Greetings and closings 挨拶と会話の終わり		
	6	Appropriate conversation starters 適切な会話の糸口		24	Appropriate conversation starters 適切な会話の糸口		
	7	Continuing conversations 会話の継続		25	Continuing conversations 会話の継続		
	8	Questions practice, review 質問の練習、復習		26	Questions practice, review 質問の練習、復習		
	9	TED talk, discussion TEDトーク、ディスカッション		27	TED talk, discussion TEDトーク、ディスカッション		
	10	Agree/Disagree 賛成・反対		28	Agree/Disagree 賛成・反対		
	11	Giving opinions 意見を述べる		29	Giving opinions 意見を述べる		
	12	Review activities 復習のアクティビティー		30	Review activities 復習のアクティビティー		
	13	Assign groups, explain final project グループ分け、最終プロジェクトの説明		31	Assign groups, explain final project グループ分け、最終プロジェクトの説明		
	14	Group planning time グループでプロジェクトの計画立て		32	Group planning time グループでプロジェクトの計画立て		
	15	Group practice time グループでの練習時間		33	Group practice time グループでの練習時間		
	16	Group record time グループでビデオ撮影		34	Group record time グループでビデオ撮影		
	17	Watch final project videos グループのビデオプロジェクトを見る		35	Watch final project videos グループのビデオプロジェクトを見る		
	18	Wrap-up discussion まとめのディスカッション		36	Wrap-up discussion まとめのディスカッション		
成績割合		テスト		学習FB方法		成績表送付	
		15%					
		学習態度		成績評価		出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		レポート					
合計		100%					
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		セリーナは大学で演劇を専攻し、身体と発声練習を含む効果的なコミュニケーションについて学んだ。					

シラバス

科目名		Airline English II		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。					
授業概要		Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	Unit 1 Transportation, Listening,過去問			19	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問	
	2	U1, Transportation,Listening,過去問			20	U10 Culture Experience in Japan 1	
	3	U2 At a check in counter,Listening,過去問			21	U11 Culture Experience in Japan 2	
	4	U2 Listening,過去問			22	U12Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	5	U3 Facilities & service,Listening,過去問			23	U12Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	6	U3 Facilities & service,Listening,過去問			24	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	7	U4 Giving Direction,Listening,過去問			25	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	8	U4 Giving Direction,Listening,過去問			26	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	9	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			27	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	10	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			28	U15 Upon Departure	
	11	U6 Dining in Japan,Lis,過去問			29	まとめ・振り返り	
	12	U7 Dining in Japan,Lis,過去問			30	まとめ・振り返り	
	13	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			31	まとめ・振り返り	
	14	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			32	後期期末テスト	
	15	Riview,Lis.過去問			33	テスト返却、解説	
	16	前期期末テスト			34	確認テスト・まとめ1	
	17	テスト返却、解説			35	確認テスト・まとめ2	
	18	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習> 30%R<実働実践型学習> 20%A<主体的参加型学習> 30% G<海外体感型学習>20%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

シラバス

科目名		アマデウス実習ⅡA		担 当 者 名		毛利奈緒	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時 間 (週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。 航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。 リアルタイムなニュースや情報を取り上げて常に業界の現状を意識し、就職活動、就職後につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び、秋の「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使って基本操作の学習 後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。					
授 業 計 画 表	前期				後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	分割、変更	
	3	オリエンテーション3			21	PNRのコピー、変更	
	4	国際線への導入			22	ヒストリー、キュー	
	5	各種コード検索			23	空席照会応用(2区間など)	
	6	タイムテーブル、空席照会、スケジュール照会			24	SSR応用(連絡先、APISなど)	
	7	空席照会からの予約			25	運賃①	
	8	旅客氏名、連絡先、PNR必須項目の入力			26	運賃②	
	9	完了、中断、抽出、乗継便の予約			27	基礎知識まとめ①	
	10	ロングセル、キャンセル待ち、ARNK、オープン			28	基礎知識まとめ②	
	11	項目の取消、訂正、変更、小児、幼児の予約			29	ロールプレイ①	
	12	各種ミール、HELPの活用、座席指定			30	ロールプレイ②	
	13	ダイレクトアクセス、アクセスレベル、GG			31	期末テスト対策	
	14	FFP、OSI、RMKS			32	期末テスト	
	15	総復習			33	総まとめ	
	16	検定対策①			34	確認テスト・まとめ1	
	17	期末テスト(検定対策②)			35	確認テスト・まとめ2	
	18	検定対策③			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト	30%		学習FB方法	成績表送付	
		学習態度	20%				
		検定	50%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		Presentation II		担当者名		Gilberto Mendez	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		マーケティングの基礎、つまり、顧客のニーズと、それがどのように需要を生み出すかを理解し、ターゲット市場と、顧客を引きつける価値をどのように生み出すかを分析、発表する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		マーケティングの基礎と、顧客価値がどのように効果的なマーケティング戦略を生み出すか、ということを紹介する。必要不可欠なビジネスの用語を習得する。マーケティングとビジネスに関連した事例を分析することによって批判的思考を伸ばす。製品、サービス、ブランドの重要性。国際市場について学ぶ。クラスで学んだことを使い、マーケットリサーチプロジェクトの準備をする。					
授業概要		毎週のボキャブラリーリスト、グループアクティビティー、事例分析、ポスター制作、中間・期末試験。この授業で学んだ知識は、後期で発展させるマーケティング・プランに使われる。理論を学ぶよりも、学んだことを応用することに重点が置かれる。後期には前期で学んだことを効果的に発表するスキルを学ぶ。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	授業オリエンテーション			19	Themes テーマ	
	2	〃			20	Themes: Inconvenient Truth テーマ:『不都合な真実』	
	3	〃			21	Check presentation theme ideas プレゼンテーションテーマのアイデアをチェックす	
	4	Understand the marketplace and what customer Wants, Needs and Demands. 市場と顧客の欲求、ニーズ、需要を理解する。			22	Images 画像	
	5	Wants, Needs and Demands. 欲求、ニーズ、需要			23	Text テキスト	
	6	Research customers and the marketplace. Page 36, 98, 100 顧客と市場のリサーチ			24	Check images and text in presentation opening プレゼンテーション冒頭での画像とテキストをチェックする	
	7	Marketing Intermediaries マーケティング仲介者			25	Data データ	
	8	Design a customer value driven marketing strategy. (3 or 4 weeks) 顧客価値志向マーケティング戦略			26	Data: Inconvenient Truth データ:『不都合な真実』	
	9	How can we make a strategy that adds value? Page 37 価値を加える戦略をどのように作るか			27	Check data, etc. in body part 1 ボディー部分パート1でのデータをチェックする	
	10	Segmentation 分割			28	Body part 2 ボディー部分パート2	
	11	Value Proposition: Differentiation and Positioning. 価値理論: 差異と商品展開			29	Body part 3 ボディー部分パート3	
	12	Construct an Integrated Marketing Program that Delivers Superior Value: 有意価値をもたらす統合マーケティングプログラムを作る。			30	Peer feedback 1 クラスメートのフィードバック1	
	13	Preparing an Integrated Marketing Plan. 統合マーケティングプランを作る。			31	Peer feedback 2 クラスメートのフィードバック2	
	14	Brands Page 238. ブランド			32	Final check and polish 最終チェックと仕上げ	
	15	Packaging 包装			33	Present 発表	
	16	Page 239: Labeling レーベリング			34	Present 発表	
	17	Pricing and Distribution. Page 294 価格設定と分配			35	Present 発表	
	18	The Promotion Mix. プロモーションミックス			36	Present 発表	
成績割合		テスト・発表		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		25%			
		レポート		25%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習> 25% R<実働実践型学習> 25% A<主体的参加型学習> 25% G<海外体感型学習> 25%					
講師プロフィール		講師はプエルトリコ出身で、ビジネスとマーケティングを大学で専攻した。IELTS、TOEIC、マーケティングを教える経験が豊富					

シラバス

科目名		Public Speaking II		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選択・必修(選択)		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPの効果的な作り方も体得する。					
授業概要		リサーチのチェックと台本準備 プレゼンテーションの練習とフィードバック 前期・後期での2度の最終プレゼンテーション					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	Intro to course(授業への導入)			19		
	2	Model presentation 1: How to be an effective speaker (モデルプレゼンテーション1)			20		
	3	Model presentation 2: Magic Washing Machine (モデルプレゼンテーション2:魔法の洗濯機)			21		
	4	Organizing ideas: check brainstorm (アイディアの整理:アイディア出しのチェック)			22		
	5	Organizing ideas: check outline (アイディアの整理:概要のチェック)			23		
	6	Opening: GRAB(出だし:GRAB)			24		
	7	GRAB Check (GRABチェック)			25		
	8	Opening check(出だしチェック)			26		
	9	Body introduction(本文の導入)			27		
	10	Body check(本文チェック)			28		
	11	Body check(本文チェック)			29		
	12	Conclusion introduction(締めくくり導入)			30		
	13	Conclusion check(締めくくりチェック)			31		
	14	Final check(最終チェック)			32		
	15	Presentations 1(プレゼンテーション1)			33		
	16	Presentations 2(プレゼンテーション2)			34		
	17	Presentations 3(プレゼンテーション3)			35		
	18	Presentations 4(プレゼンテーション4)			36		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		TOEIC II		担 当 者 名		鈴木良	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72 時 間(週講時数 2)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストでさらに高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC 1 で学んだストラテジーをさらなる実践を通して習熟する。TOEIC 650点～750点を目指す。					
授業概要		・TOEIC で頻出のボキャブラリーを修得する。 ・模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 ・Part 6, Part 7の教材を使い、リーディング力を伸ばす。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 7 (26-50)、Part 6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 7 (51-75)、Part 6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 7 (76-100)、Part 7	
	4	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)			22	Vocabulary exam 7	
	5	模試5 Q. 1-167			23	模試10 Q. 1-167	
	6	TOEIC Vocabulary 5 (26-50)、Part 2			24	TOEIC Vocabulary 8 (1-25)、Part 6	
	7	TOEIC Vocabulary 5 (51-75)、Part 6			25	TOEIC Vocabulary 8 (26-50)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 5 (76-100)、Part 6			26	TOEIC Vocabulary 8 (51-75)、Part 7	
	9	Vocabulary exam 5			27	TOEIC Vocabulary 8 (76-100)、Part 7	
	10	模試7 Q. 1-167			28	Vocabulary exam 8	
	11	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)、Part 2			29	模試11 Q. 1-167	
	12	TOEIC Vocabulary 6 (26-50)、Part 6			30	TOEIC Vocabulary 9 (1-25)、Part 6	
	13	TOEIC Vocabulary 6 (51-75)、Part 6			31	TOEIC Vocabulary 9 (26-50)、Part 6	
	14	模試8 Q. 1-167			32	後期期末テスト(模試12 Q. 1-167)	
	15	TOEIC Vocabulary 6 (76-100)、Part 6			33	TOEIC Vocabulary 9 (51-75)、テスト返却	
	16	Vocabulary exam 6			34	確認テスト・まとめ1	
	17	TOEIC Vocabulary 7 (1-25)、Part 6			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試9 Q. 1-167)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体験型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

シラバス

科目名		Business Writing II A		担当者名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		ビジネスでの英文ライティングの初歩を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でのタイピングに慣れる コンピューターの使い方一般とGmailやGoogle Driveのようなクラウドプラットフォームに慣れる ビジネスでの英文メールに慣れる 英文履歴書と送付書の作成 5段落の簡単なエッセーの書き方					
授業概要		ビジネスでの英文メール、タイピングの練習、TOEIC Writingテストの練習、履歴書・送付書作成、エッセー作成					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	Intro to Gmail (Gmail導入)			19	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	2	Intro to Gmail (Gmail導入)			20	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	3	Intro to typing (typing導入)			21	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	4	Intro to typing (typing導入)			22	Dealing with problems (問題への対処)	
	5	Introducing self (自己紹介文)			23	Dealing with problems (問題への対処)	
	6	Introducing self (自己紹介文)			24	Dealing with problems (問題への対処)	
	7	Introducing self (自己紹介文)			25	Dealing with problems (問題への対処)	
	8	Intro response (返事導入)			26	Dealing with problems (問題への対処)	
	9	Intro response (返事導入)			27	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	10	Making inquiries (問い合わせをする)			28	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	11	Making inquiries (問い合わせをする)			29	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	12	Arranging a meeting (ミーティングの設定)			30	Essay body (エッセー本文)	
	13	Arranging a meeting (ミーティングの設定)			31	Essay body (エッセー本文)	
	14	Complaints (クレームの仕方)			32	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくくり)	
	15	Complaints (クレームの仕方)			33	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくくり)	
	16	Complaints (クレームの仕方)			34	Cover letter (送付書)	
	17	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)			35	Cover letter (送付書)	
	18	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)			36	Cover letter (送付書)	
成績割合		テスト		30%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		35%			
		レポート		35%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫25%					
講師プロフィール		約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。					

シラバス

科目名		エアライン業務演習		担 当 者 名		辻 阪 昭 浩		
学科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 必 修 ・ 選 択 ・ 通 年 必修選択		授 業 時 間 数	36時間 (週講時数1)	
授業目的		海外旅行の知識を向上させる						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行業界で働けるよう十分な知識を持てるよう指導する						
授業概要		1年次からの続きとして、ホテルや旅行法も講義し、海外旅行英語も勉強する。						
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1			19	海外観光資源・地理の研究①		
	2	オリエンテーション2			20	海外観光資源・地理の研究②		
	3	オリエンテーション3			21	海外観光資源・地理の研究③		
	4	海外旅行・ホテルの知識解説			22	旅券法①		
	5	食事・名物料理の知識			23	旅券法②		
	6	海外旅行英語①			24	旅券法③		
	7	海外旅行英語②			25	海外旅行英語④		
	8	海外旅行英語③			26	海外旅行英語⑤		
	9	国際航空運賃解説①			27	海外旅行英語⑥		
	10	国際航空運賃解説②			28	旅行会社について		
	11	e-ticketお客様控え解説			29	空港のカウンター業務		
	12	特別運賃、PEX研究			30	運賃のまとめ		
	13	出入国法規の研究			31	国ごとの決まり		
	14	旅券法の解説			32	総復習・質問		
	15	日本人の出入国手続き研究			33	テストの説明		
	16	植物・動物検疫			34	確認テスト・まとめ1		
	17	税関手続きの研究			35	確認テスト・まとめ2		
	18	査証についての知識			36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率		30%				
		レポート		10%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は 不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		元キャセイパシフィック航空で勤務経験があり、現在は自分で旅行会社を経営している						

シラバス

科目名		人間航空学Ⅱ		担 当 者 名		権 銘大	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授業時間数	18時間(週講時数 1)
授業目的		人間力の向上を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		それぞれの個性を見つけ、伸ばすことを目標として、希望する会社に入れるようにすることが目的である。自分の意見を持ち、コミュニケーション力をいかに身につけるかが、大切なテーマである					
授業概要		様々な名著から引用した文や感銘を受けた歌のフレーズや動物の不思議な習性等から感じ取ったことを全員で話し合う。また航空会社の魅力についても各自意見交換をする					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	授業の目標と目的			19		
	2	自分の希望職種とそれを選んだ理由			20		
	3	航空会社の基本と商品			21		
	4	「三間」について学ぶ			22		
	5	航空会社の魅力			23		
	6	「どくろうの説話」を聞いて感じたこと			24		
	7	航空会社のサービス・成功例と改善点			25		
	8	「世界に一つだけの花」の意味			26		
	9	航空会社の商品の特徴・無形の商品			27		
	10	「ヤマアラシのジレンマ」について			28		
	11	空港のグランドハンドリングサービス			29		
	12	マズローの欲求5段階説			30		
	13	航空関連・OCCの役割と仕事			31		
	14	「だまし絵」と「名画」を比べてみる			32		
	15	接客とは何か？			33		
	16	「人間万事塞翁が馬」について考える			34		
	17	自分の容量・キャパシティーを知る			35		
	18	期末レポートについて			36		
成績割合		テスト		学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率					80%
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元アジアナ研修で勤務した経験があり、人間力を高める考え方や「心」についてためになる講義を展開する					

シラバス

科目名		コンピューター実習Ⅱ		担当 者 名		千葉 輝子	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時 間(週講時数2)
授業目的		Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける					
授業概要		・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける					
授業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	科目ガイダンス			19	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	2	Power Pointの基本操作/スライドの作成 (アウトライン表示)			20	課題(計算、表の装飾)	
	3	スライドの作成 図			21	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	4	スライドの作成 グラフ			22	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	5	スライドの作成 SmartArt			23	表作成課題(IF関数)	
	6	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について			24	グラフ作成の基本	
	7	発表用資料作成			25	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	8	〃			26	〃	
	9	〃			27	〃	
	10	〃			28	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	11	〃			29	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	12	中間試験 プレゼン発表			30	〃	
	13	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)			31	〃	
	14	表作成課題(四則演算/表の装飾)			32	〃	
	15	〃			33	〃	
	16	〃			34	後期期末試験	
	17	前期期末試験			35	後期期末試験の解答解説	
	18	前期期末試験の解答解説/前期振り返り			36	後期振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> 30% R<<実働実践型学習>> 30%A<<主体的参加型学習>> 20%<<海外体感型学習>>20%					
講師プロフィール		商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

シラバス

科目名		ビジネスマナー		担当 者 名		相川奏恵	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講1時数)	
授業目的		社会人の心構えとマナー・仕事のすすめ方の基本を身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足度を向上させる 応対力と仕事のすすめ方を習得する。					
授業概要		コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への 対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション①		1	テスト返却と前期の振り返り		
	2	オリエンテーション②		2	配慮の必要な方へのお手伝い(屋外実習)		
	3	コミュニケーション①		3	配慮の必要な方へのお手伝い		
	4	コミュニケーション②		4	バリアフリーとノーマライゼーション		
	5	ストローク		5	顧客満足とホスピタリティ		
	6	電話応対①		6	空間心理①		
	7	電話応対②		7	空間心理②		
	8	電話応対③		8	顧客心理①		
	9	好感もてる話し方・感じの良い聞き方		9	顧客心理②		
	10	来客応対と会話の仕方		10	クレーム対応①		
	11	来客応対・お茶出し・案内の仕方		11	クレーム対応②		
	12	訪問時のマナーと名刺交換		12	会社組織と協働		
	13	アポイントと訪問		13	指示・命令の受け方と報連相		
	14	ビジネス文書(社外)①		14	PDCAサイクル		
	15	ビジネス文書(社外)②		15	自己啓発と自己管理		
	16	ビジネス文書(社内・社交)①		16	期末テスト		
	17	ビジネス文書(社内・社交)②		17	テスト返却と1年の振り返り		
	18	前期期末テスト		18	まとめ		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教案、マニュアル作成と教育)を経験。現在はビジネスマナー、コミュニケーション、電話、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、稲城市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター、日本旅行、りそな総研他					

シラバス

科目名		応用ゼミⅡA		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン＆英語コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 後期・通年 必修・選択 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1 ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション2 チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① そもそも空港って??			21		
	4	ヒントを得る② 日本の空港の現状 (基幹空港・地方空港の役割の違い)			22		
	5	ヒントを得る③ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果は、問題は)			23		
	6	ヒントを得る④ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)			24		
	7	ヒントを得る⑤ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)			25		
	8	ヒントを得る⑥ 日本とアジアや世界の空港の違い			26		
	9	ヒントを得る⑦ 歴史に学ぶ～成田闘争について～			27		
	10	ヒントを得る⑧ 今後の航空業界における空港の役割 は??			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、今後の空港の機能や SVC、戦略を考える			36		
成 績 割 合		テスト(最終プレゼン)		20%	学 習 FB 方 法	成 績 表 送 付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成 績 評 価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≦課題解決型学習≧50% R≦実働実践型学習≧10% A≦主体的参加型学習≧20% G≦海外体感型学習≧20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		応用ゼミⅡB		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 必修・選択	後 期 通 年 必修選択	授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、戦略を考える。 考えた案の期待効果は??			19		
	2	課題設定⑥ 考えた案の期待効果は??			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)			22		
	5	課題の検証③ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			23		
	6	課題の検証④ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		Marketing		担 当 者 名		Gilberto Mendez	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)
授業目的		マーケティングの基礎を理解し、ターゲット市場と、顧客を引きつける価値をどのように生み出すかを分析する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		必要不可欠なビジネスの用語を習得する。マーケティングとビジネスに関連した事例を分析することによって批判的思考を伸ばす。 製品、サービス、ブランドの重要性。国際市場について学ぶ。					
授業概要		毎週のボキャブラリーリスト、グループアクティビティー、事例分析、ポスター制作、中間・期末試験。この授業で学んだ知識は、 後期で発展させるマーケティング・プランに使われる。理論を学ぶよりも、学んだことを応用することに重点が置かれる。					
授業計画表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	授業オリエンテーション		19			
	2	〃		20			
	3	〃		21			
	4	Understand the marketplace and what customer Wants, Needs and Demands. 市場と顧客の欲求、ニーズ、需要を理解する。		22			
	5	Wants, Needs and Demands. 欲求、ニーズ、需要		23			
	6	Research customers and the marketplace. Page 36, 98, 100 顧客と市場のリサーチ		24			
	7	Marketing Intermediaries マーケティング仲介者		25			
	8	Design a customer value driven marketing strategy.顧客価値志向マーケティング戦略		26			
	9	How can we make a strategy that adds value? Page 37 価値を加える戦略をどのように作るか		27			
	10	Segmentation 分割		28			
	11	Value Proposition: Differentiation and Positioning. 価値理論: 差異と商品展開		29			
	12	Construct an Integrated Marketing Program that Delivers Superior Value: 統合マーケティングプログラムを作る。		30			
	13	Preparing an Integrated Marketing Plan. 統合マーケティングプランを作る。		31			
	14	Brands Page 238. ブランド		32			
	15	Packaging 包装		33			
	16	Page 239: Labeling レーベリング		34			
	17	Pricing and Distribution. Page 294 価格設定と分配		35			
	18	The Promotion Mix. プロモーションミックス		36			
成績割合		テスト	50%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度	25%				
		レポート	25%	成績評価		出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> 25% R<<実働実践型学習>> 25% A<<主体的参加型学習>> 25% G<<海外体感型学習>> 25%					
講師プロフィール		講師はプエルトリコ出身で、ビジネスとマーケティングを大学で専攻した。IELTS、TOEIC、マーケティングを教える経験が豊富					

シラバス

科目名	Seminar II B		担 当 者 名		アーロン	
学科	エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的	専門授業の理解促進、課題遂行					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	計画を立てて物事を行う習慣、および課題・英会話を通しての語学力習得					
授業概要	アシスタントティーチャ어의アドバイスを受けながら、授業での疑問点解決、課題実施、予習・復習をする。 週20分以上ネイティブ教員と英会話を行う。 英語に関するアクティビティが近い場合は、グループでの話し合いに充てる。					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容	
	1	オリエンテーション		19	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	2	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		20	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	3	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		21	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	4	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		22	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	5	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		23	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	6	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		24	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	7	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		25	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	8	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		26	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	9	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		27	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	10	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		28	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	11	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		29	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	12	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		30	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	13	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		31	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	14	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		32	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	15	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		33	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	16	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		34	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	17	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		35	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	18	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ		36	まとめ	
成績割合	テスト		0%		学習FB方法	成績表送付
	学習態度		100%			
	レポート		0%		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計		100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>40%					
講師プロフィール	20年近く日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		航空検定		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択(必修選択)		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)
授業目的		エアライン業界で関わる、さまざまな職種の知識を養う					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット、整備士、キャビンアテンダント、グランドハンドリングなど様々な航空関連業務と、それらに従事するために必要な資格や経歴についての知識を深め、航空検定2級および1級の合格を目標とする。					
授業概要		私たちが普段利用する、飛行機は、どのような職種の人々に関わり、その職業に従事するにはどのような資格や経歴が必要なのかを学びます。航空業界についての知識を深める。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション 航空検定を学ぶ意義			19		
	2	ドローンに関わる法令について			20		
	3	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について①			21		
	4	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について			22		
	5	管制官の業務・用語について			23		
	6	管制官の業務・用語について			24		
	7	客室乗務員の資格や業務について①			25		
	8	整備士の資格や業務について①			26		
	9	整備士の資格や業務について②			27		
	10	パイロットの資格や業務について①			28		
	11	パイロットの資格や業務について②			29		
	12	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について①			30		
	13	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について②			31		
	14	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について①			32		
	15	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について②			33		
	16	総復習			34		
	17	定期試験			35		
	18	試験返却、フィードバック			36		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		20%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>10% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		Public Speaking Ⅲ		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学 科		エアライン科 エアライン&英語コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPの効果的な作り方とも体得する。					
授業概要		リサーチのチェックと台本準備 プレゼンテーションの練習とフィードバック 前期・後期での2度の最終プレゼンテーション					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	Model presen+H13;J26tation 1: Inconvenient Truth opening (モデルプレゼンテーション1:Inconvenient Truth冒頭部)			19		
	2	Check brainstorm(アイディア出しチェック)			20		
	3	Check presentation outline(プレゼンテーション概要チェック)			21		
	4	Opening(冒頭部)			22		
	5	Check opening(冒頭部チェック)			23		
	6	Model presentation 2: Inconvenient Truth presenting data (モデルプレゼンテーション2:Inconvenient Truthデータの提示)			24		
	7	Body 1(本文1)			25		
	8	Check body 1(本文1チェック)			26		
	9	Body 2(本文2)			27		
	10	Check body 2(本文2チェック)			28		
	11	Model presentation 3: Inconvenient Truth conclusion (モデルプレゼンテーション3:Inconvenient Truth 締めくくり)			29		
	12	Conclusion(締めくくり)			30		
	13	Conclusion check(締めくくりチェック)			31		
	14	Final check(最終チェック)			32		
	15	Presentations 1(プレゼンテーション1)			33		
	16	Presentations 2(プレゼンテーション2)			34		
	17	Presentations 3(プレゼンテーション3)			35		
	18	Review(復習)			36		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		接遇手話ⅡA		担 当 者 名		仲野	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	3	ガイダンス・導入			21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (人物・家族の表現)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)			28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃 (趣味の表現)			29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	12	〃 (職業などの表現)			30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	15	前期の復習			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(表出試験)			35	試験の返却/解説	
	18	〃 (読み取り/筆記試験)			36	まとめ	
成績割合		テスト	70%		学習FB方法	使用教材:「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会 発行)	
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点 以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		料理飲食基礎		担当者名		藤澤美英	
学科		エアライン科 エアライン&英語コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 1)
授業目的		料飲に関しての取り扱い、基本的知識の習得を目的とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		将来、社会に出て様々な職業に従事した際、料飲の常識的な知識を役立てられるような人材に育てる事を目標とする。					
授業概要		料理、食材、酒類、カクテル、マナー、食文化等できるだけ幅広い知識を、卒業後も記憶に残るような授業を目指します。座学中心の授業になりますが、学ぶ人の興味を喚起するような内容を行います。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	この授業を学ぶ目的、将来目指している仕事との関連から料飲を学ぶ意味を理解させる。			19	菓巻のサービス方法。 シガーサービスコンクールのビデオ。	
	2	人の足元(靴)を見てみよう。ホテルやレストランにおいてドレスコードの有る理由。			20	ビールの醸造法。 歴史、麦芽、醸造の過程について。	
	3	初期の酒の姿。なぜ人は酒を飲むのか、酔うのかその理由。世界の飲酒年齢と文化。			21	ビールの美味しい飲み方。 保管方法、温度管理、グラスの管理。	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	濃縮還元ジュース解説。 レモンスカッシュ。 ラディッシュカービング。	
	5	シェーク。 ステアー。 フルーツを使って包丁の基本的な使い方。			23	カブアの抜栓と解説。 軟水・硬水	
	6	普段接している食材の旬とは、作り方、収穫方法。			24	ボジョレー・ヌーヴォー解説。	
	7	酒の歴史と文化。 基本的な発酵、蒸留の理論を解説。			25	洋食 メニュー解説	
	8	和食 一汁三菜。			26	皿・グラス類について。 持ち方扱い方。 食べた物の味を表現する	
	9	松花堂弁当(懐石料理)			27	三大珍味とその定義。 トリフの収穫ビデオ。 飲料とのマリアージュ。	
	10	ワインの抜栓・サービス方法実技。			28	三大珍味とその定義。 トリフの収穫ビデオ。 飲料とのマリアージュ。	
	11	赤ワインのデキャンタージュ・サービス方法。			29	三大珍味とその定義。 飲料とのマリアージュ。	
	12	なぜワインの種類によって飲用温度が異なるのかを解説。			30	三大珍味とその定義。 飲料とのマリアージュ。	
	13	ワインの醸造方法、フランスのワイン産地。ボルドー地方4大シャトー。			31	アレルギー対応。	
	14	飲料の保存方法。 ラベルの読み方。			32	アレルギー対応。	
	15	飲料の保存方法。 ラベルの読み方。			33	おせち料理から見える和食の姿。	
	16	今までの授業の復習			34	おせち料理から見える和食の姿。	
	17	今までの授業の復習			35	学年末試験	
	18	前期試験			36	一般的なホテルのバーメニューの構成、価格等の内容解説。 蒸留酒。	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		帝国ホテル東京レストラン部バーテンダーとして38年間従事、ホテル在職中社命にて赤坂迎賓館にて賓客接遇5回従事。					

シラバス

科目名		エアライン概論		担 当 者 名		新井凡子	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期・通 年 必 修 ・ 選 択 ・必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		客室乗務員として即戦力となれるような人材を育成する					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		客室乗務員に必要な知識・マインドを習得する					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	テスト返却・解説	
	2	オリエンテーション②			20	航空用語②	
	3	オリエンテーション②			21	小テスト	
	4	航空業界について			22	言葉がけ①	
	5	客室乗務員としての心得			23	言葉がけ②・ワークシート	
	6	人間関係5つの基本			24	M/U実習④(ケーススタディ)	
	7	保安要員としての役割			25	M/U実習⑤	
	8	航空用語①			26	M/U実習⑥	
	9	小テスト・運航の流れ①			27	時差①	
	10	運航の流れ②			28	時差②	
	11	運航の流れ③			29	時差③	
	12	M/U実習①(ドリンクサービス)			30	FIRST AID	
	13	M/U実習②			31	SPECIAL MEAL	
	14	M/U実習③			32	CAに必要なマインド	
	15	スピーチ「心に残るサービス」			33	テスト前復習	
	16	(予備・調整日)			34	後期期末テスト	
	17	テスト前復習			35	テスト返却	
	18	前期期末テスト			36	まとめ	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元日本航空客室乗務員 国際線・国内線に従事。					

シラバス

科目名		エアポート概論Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		エアライン業界で必要な知識を備える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		航空機運航に関連する業務として、オペレーション部門・運航部門・客室部門・整備部門等の各業務概要を理解し、各業務間の関わりと航空機の運航における各部署協調の重要性を理解する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション			19	テスト返却・解説	
	2	空港業務について			20	航空用語②	
	3	国内3レター・2レター			21	小テスト	
	4	業務用語① ITV・CATVを基に用語やフォネティックな			22	言葉がけ①	
	5	業務用語② ITV・CATVを基に用語やフォネティックな			23	言葉がけ②・ワークシート	
	6	羽田空港について 就航地、就航会社など①			24	M/U実習④(ケーススタディ)	
	7	羽田空港について 就航地、就航会社など② 海外3レター・2レター			25	M/U実習⑤	
	8	確認テスト			26	M/U実習⑥	
	9	テスト返却 解説			27	時差①	
	10	グランドハンドリングについて① B/I～B/Oまでの機側業務について			28	時差②	
	11	グランドハンドリングについて② B/I～B/Oまでの機側業務について			29	時差③	
	12	SHIP TYPについて①			30	FIRST AID	
	13	SHIP TYPについて①			31	SPECIAL MEAL	
	14	安全について① テネリフェの悲劇			32	CAに必要なマインド	
	15	安全について② テネリフェの悲劇			33	テスト前復習	
	16	安全について③ 「安全」「安心」「エラーチェーン」			34	後期期末テスト	
	17	前期試験			35	テスト返却	
	18	試験返却 解説			36	まとめ	
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	20%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠA		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 後期・通年 必修・選択 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション① ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション② チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① 飛行機を利用するってどんな時??			21		
	4	ヒントを得る② その他移動手段との違いは??			22		
	5	ヒントを得る③ 旅行における、飛行機の価値って??			23		
	6	ヒントを得る④ 外国のALは??			24		
	7	ヒントを得る⑤ SPCL SVCやFLTを調べよう			25		
	8	ヒントを得る⑥ SPCL FLTを調べよう			26		
	9	ヒントを得る⑦ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲティングなど)			27		
	10	ヒントを得る⑧ SPCL FLTを調べよう (目的・ターゲティングなど)			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			36		
成績割合	テスト			0%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率			60%			
	レポート・課題			40%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計			100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠB		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		移動目的で利用されることの多い飛行機の新たなサービスやフライトで空の上の価値を創造する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界の基礎知識を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			19		
	2	課題設定⑥ ギャップを埋め、空の価値を造る SVCやFLTを考える			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	課題の検証② 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			22		
	5	課題の検証③ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致 するのインタビュー(フィールドワーク)			23		
	6	課題の検証④ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するの インタビュー。インタビューを基に、企画を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		Speaking I		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> <u>必 修</u> ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数 2)
授業目的		基本の英語をしっかりと練習しながら、間違いを恐れずにコミュニケーションを取れるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行をテーマに基づいた授業で海外でいろいろな状態を英語で処理できるようになります。英語能力を高めながら外国の文化の知識や役に立つ特徴を身につけます。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	Planning a trip. 海外旅行計画が作れるように学びます。	
	2	オリエンテーション2			20	Airport English. C・I・Qで使われる英語を学びます。	
	3	オリエンテーション3			21	Staying at the hotel. ホテルでの英語を学びます。	
	4	Greetings, introductions & exchanging information 英語での挨拶、紹介、質問			22	Where are you from? 出身と地元が話せるように学びます	
	5	Present Tense 現在形を練習します。			23	Making small talk. 雑談できるように学びます。	
	6	動詞'Be' 'Be' 動詞の使い方を学び。			24	What not to talk about. いい話題と悪い話題を学びます。	
	7	School Life 日常生活やアルバイトについて話します。			25	Directions. 方向や目的地までの行き方を英語で 伝えられるように学びます。	
	8	Describing People 人の様子を説明する練習をします。			26	Public Transportation. 海外の公共交通機関に乗れるように学びます。	
	9	Family and Friends 家族、親族、友達について学びます。			27	Food レストランでの注文や、好き嫌いなども伝える ように学びます。	
	10	Travel Survival Communications 旅行の英語を学びます。			28	Travel manners and safety. 海外と日本のマナーや習慣の違いについて学びま	
	11	Travel Safety 海外で身を守るコツを学びます。			29	Making requests. お願いの仕方について学びます。	
	12	Finding a Hotel 泊まる場所を探す・ チェック			30	Culture Shock. 文化の違いやカルチャーショックを 説明	
	13	Jobs & Careers 仕事やキャリアについて学びます。			31	American Joke 日本とアメリカのユーモアの違いについて学びま	
	14	Questions 現在形の質問をゲーム形式 で学びます。			32	If I could travel anywhere 理想的な休みについては話せるよう学びます。	
	15	Hobbies, Fashion & Sports 趣味、ファッション			33	Sharing my dream vacation なぜここを選んだ」とい う	
	16	The Best クイズ形式で比較形を勉強します。			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Food and Restaurants 好きな食べ物、嫌いな 食べもの、レストランでの注文の仕方を学びます。			35	確認テスト・まとめ2	
	18	The Perfect Sandwich 好きな料理やサンド イッチの作り方を説明を練習します。			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート		0%	成績評価	授業全体を100点満点をして採点する。定期試験 50点、授業への参加・意欲 50点から成績評価を行う。	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体験型学習≫30%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		TOEIC I		担当 者 名		鈴木良	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72 時 間(週講時数 2)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストで高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEICのストラテジーを実践を通して身につける。TOEIC 500点～600点を目指す。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 3 (1-25)、Part 5-6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 3 (26-50)、Part 5-6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 3 (51-75)、Part 7	
	4	TOEIC テストの紹介、サンプル問題			22	TOEIC Vocabulary 3 (76-100)、Part 7	
	5	模試1 Q. 1-100、TOEIC Vocabulary 1 (1-25)			23	Vocabulary quiz 3	
	6	模試1 Q. 101-200、TOEIC Vocabulary 1 (26-50)			24	模試4 Q. 1-167	
	7	TOEIC Vocabulary 1 (51-75)、Part 1, Part 2			25	TOEIC Vocabulary 4 (1-25)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 1 (76-100)、Part 2			26	TOEIC Vocabulary 4 (26-50)、Part 6	
	9	Vocabulary exam 1, Part 2			27	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、Part 7	
	10	TOEIC Vocabulary 2 (1-25)、Part 3-4			28	TOEIC Vocabulary 4 (76-100)、Part 7	
	11	TOEIC Vocabulary 2 (26-50)、Part 3-4			29	Vocabulary quiz 4	
	12	模試2 Q. 1-167			30	TOEIC Vocabulary 0 (1-25)、Part 2	
	13	TOEIC Vocabulary 2 (51-75)、Part 5(タイムマネジメント)			31	SPECIAL MEAL	
	14	TOEIC Vocabulary 2 (76-100)、Part 5-6			32	後期期末テスト(模試5 Q. 1-167)	
	15	Vocabulary exam 2、ストラテジー復習			33	TOEIC Vocabulary 4 (51-75)、テスト返却	
	16	Part 3-4			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Part 3-4			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試3 Q. 1-146)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

シラバス

科目名		Public Speaking I		担当 者 名		Aaron Meldahl	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		演習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPの効果的な作り方も体得する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	Intro to course(授業への導入)			19	Model presentation 1: inconvenient Truth opening(モデルプレゼンテーション1:Inconvenient Truth冒頭部)	
	2	Model presentation 1: How to be an effective speaker(モデルプレゼンテーション1:効果的にプレゼンテーションをする方法)			20	Check brainstorm(アイディア出しチェック)	
	3	Model presentation 2: Magic Washing Machine(モデルプレゼンテーション2:魔法の洗濯機)			21	Check presentation outline(プレゼンテーション概要チェック)	
	4	Organizing ideas: check brainstorm(アイディアの整理:アイディア出しのチェック)			22	Opening(冒頭部)	
	5	Organizing ideas: check outline(アイディアの整理:概要のチェック)			23	Check opening(冒頭部チェック)	
	6	Opening: GRAB(出だし:GRAB)			24	Model presentation 2: inconvenient Truth presenting data(モデルプレゼンテーション2:Inconvenient Truthデータの提示)	
	7	GRAB Check(GRABチェック)			25	Body 1(本文1)	
	8	Opening check(出だしチェック)			26	Check body 1(本文1チェック)	
	9	Body introduction(本文の導入)			27	Body 2(本文2)	
	10	Body check(本文チェック)			28	Check body 2(本文2チェック)	
	11	Body check(本文チェック)			29	Model presentation 3: inconvenient Truth conclusion(モデルプレゼンテーション3:Inconvenient Truth 締めくくり)	
	12	Conclusion introduction(締めくくり導入)			30	Conclusion(締めくくり)	
	13	Conclusion check(締めくくりチェック)			31	SPECIAL MEAL	
	14	Final check(最終チェック)			32	Final check(最終チェック)	
	15	Presentations 1(プレゼンテーション1)			33	Presentations 1(プレゼンテーション1)	
	16	Presentations 2(プレゼンテーション2)			34	Presentations 2(プレゼンテーション2)	
	17	Presentations 3(プレゼンテーション3)			35	Presentations 3(プレゼンテーション3)	
	18	Presentations 4(プレゼンテーション4)			36	Review(復習)	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		Business Writing I		担 当 者 名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		ビジネスでの英文ライティングの初歩を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でのタイピングに慣れる コンピューターの使い方に慣れる GmailやGoogle Driveのようなクラウドプラットフォームに慣れる ビジネスでの英文メールに慣れる 英文履歴書と送付書の作成 5段落の簡単なエッセーの書き方					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	Intro to Gmail (Gmail導入)			19	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	2	Intro to Gmail (Gmail導入)			20	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	3	Intro to typing (typing導入)			21	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	4	Intro to typing (typing導入)			22	Dealing with problems (問題への対処)	
	5	Introducing self (自己紹介文)			23	Dealing with problems (問題への対処)	
	6	Introducing self (自己紹介文)			24	Dealing with problems (問題への対処)	
	7	Introducing self (自己紹介文)			25	Dealing with problems (問題への対処)	
	8	Intro response (返事導入)			26	Dealing with problems (問題への対処)	
	9	Intro response (返事導入)			27	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	10	Making inquiries (問い合わせをする)			28	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	11	Making inquiries (問い合わせをする)			29	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	12	Arranging a meeting (ミーティングの設定)			30	Essay body (エッセー本文)	
	13	Arranging a meeting (ミーティングの設定)			31	SPECIAL MEAL	
	14	Complaints (クレームの仕方)			32	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくくり)	
	15	Complaints (クレームの仕方)			33	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくくり)	
	16	Complaints (クレームの仕方)			34	Cover letter (送付書)	
	17	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)			35	Cover letter (送付書)	
	18	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)			36	Cover letter (送付書)	
成績割合		テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	35%				
		レポート	35%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫25%					
講師プロフィール		Ripley氏は約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。					

シラバス

科目名		Grammar I		担 当 者 名		松川 はるみ	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必 修 選 択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		Conversation で使われる文法事項の習得と強化を目的とする					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		文法事項(Touchstone, Cambridge, University Press)をマスターする。毎週の単語小テストを通し、 年間400語を文の中で使えるようにする。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	授業目的、成績評価方法、 教材・小テスト説明		19	前置詞		
	2	品 詞		20	関係詞		
	3	代名詞		21	分詞		
	4	比 較		22	復 習		
	5	形容詞、代名詞の働きをする語句		23	時制と代名詞		
	6	復 習		24	つなぎ言葉		
	7	単語試験1、英字新聞を読む		25	語 法		
	8	時制1		26	ボキャブラリー1		
	9	時制2		27	ボキャブラリー2		
	10	受動態		28	ニュースを読む		
	11	能動態		29	関係代名詞1		
	12	主語と述語の一致		30	関係代名詞2		
	13	不定詞・動名詞		31	SPECIAL MEAL		
	14	復 習		32	仮定法		
	15	接続詞		33	分 詞		
	16	熟 語		34	英語記事を読む、単語ゲーム		
	17	前期期末試験		35	後期期末試験		
	18	前期期末試験振り返り		36	後期期末試験振り返り		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率	30%				
		レポート	20%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元JALの国際線客室乗務員として勤務経験者。					

シラバス

科目名		ホスピタリティサービス		担当 者 名		池 亀 満 枝	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義、実 技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)	
授業目的		人間心理、人間関係を大切さを学び、自分自身を見つめ直す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		より良い人間関係を築き、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力を向上させる。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	授業ガイダンス		19	敬語の種類		
	2	ホスピタリティとは		20	丁寧語・美化語・改まり語		
	3	サービスとホスピタリティ		21	尊敬語		
	4	マズローの欲求段階説		22	謙譲語Ⅰ		
	5	顧客満足とホスピタリティ		23	謙譲語Ⅱ		
	6	ジョハリの窓		24	状況に合わせた敬語、ウチとソトの使い分け		
	7	ストローク		25	敬語の誤用		
	8	メラビアンの法則		26	違和感を与える表現、信頼感を損ねる口癖		
	9	明るい挨拶・さわやかな返事、挨拶ことば		27	相手に配慮して伝える		
	10	おしゃれと身だしなみの違い		28	クッションことばを使いこなす		
	11	制服の効果		29	好感の持てる話し方、感じの良い聴き方①		
	12	いきいきとした豊かな表情		30	好感の持てる話し方、感じの良い聴き方②		
	13	表情訓練		31	SPECIAL MEAL		
	14	心構え		32	会話を弾ませるテーマ選び②		
	15	立ち居振る舞い		33	敬語ワークシート		
	16	基本動作、応用動作の実践		34	試験実施		
	17	試験実施		35	試験用紙返却、解説		
	18	試験用紙返却、解説		36	振り返り まとめ		
成績割合		テスト	70%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度	20%				
		レポート	10%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫80% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫10% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		文部科学省、国土交通省、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。					

シラバス

科目名		Airline English I		担 当 者 名		岡崎志織	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講義、会話練習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週1時間)	
授業目的		エアライン(機内、空港)で使う英語に慣れ、サービスで使う英語を習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		基本の会話の文章を暗記し、丁寧な言い方がすぐに使えるように繰り返し学習する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション、授業の進め方説明		19	L 6 Sec 1,2 reading, dialogues		
	2	Lesson1 Section1 reading,vocabulary		20	L 6 Sec 3,4 文法、writing		
	3	L 1 Sec 1,2 reading, dialogues		21	L 6 Review, ロールプレイング		
	4	L 1 Sec 3,4 文法、writing		22	L 7 Sec 1,2 reading,dialogues		
	5	L1 Review ロールプレイング		23	L 7 Sec 3,4 文法、writing		
	6	L 2 Sec 12 reading, dialogues		24	L 7 Review, ロールプレイング		
	7	L 2 Sec 3,4 文法、writing		25	L 8 Sec 1,2 reading,dialogues		
	8	L 2 Review, ロールプレイング		26	L 8 Sec 1,2 reading,dialogues		
	9	L 3 Sec 1,2 reading, dialogues		27	L 8 Review, ロールプレイング		
	10	L 3 Sec 3,4 文法、writing		28	L 9 Sec 1,2 reading,dialogues		
	11	L 3 Review, ロールプレイング		29	L 9 Sec 3,4 文法、writing		
	12	L 4 Sec 1,2 reading, dialogues		30	L 9 Review, ロールプレイング		
	13	L 4 Sec 3,4 文法、writing		31	SPECIAL MEAL		
	14	L 4 Review, ロールプレイング		32	L 10 Sec 3,4 文法、writing		
	15	L 5 Sec 1,2 reading, dialogues		33	L 10 Review, ロールプレイング		
	16	L 5 Sec 3,4 文法、writing、Review、 ロールプレイング		34	期末試験		
	17	期末試験		35	試験返却		
	18	試験返却		36	まとめ		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度	30%				
		レポート	10%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P《課題解決型学習》20% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》70% G《海外体感型学習》10%					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。 1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

シラバス

科目名		Interview English		担 当 者 名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		演習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 (通 年) 必 修 ・ 選 択 ・ (不)修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		英語面接に慣れることを目標とする。英語表現だけでなく、第一印象を良くするためのコツを体得。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		面接にふさわしい英語を選んで、自分自身を魅力的に表現する。 自分にはどのような形容詞が合っているのかを、担当教員と話し合って自己PRを作っていく。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	Intro to Course Entering and Leaving(授業の導入、入退室の仕方)			19	Pair Discussion 1(ペアーディスカッション)	
	2	Small Talk(スモールトーク)			20	Group Discussion 1(グループディスカッション1)	
	3	Professional Presentation Self-introduction(面接にふさわしい振る舞い、自己紹介)			21	Group Discussion 2(グループディスカッション2)	
	4	Self-introduction Review(自己紹介、復習)			22	Group Discussion Test(グループディスカッションテスト)	
	5	Sounding Natural(自然な言葉遣い)			23	Future Goals(将来の目標)	
	6	Sounding Natural Review(自然な言葉遣い、復習)			24	Future Goals(将来の目標)	
	7	Self-introduction(自己紹介)			25	Test review(試験に向けての復習)	
	8	TEST(試験)			26	TEST(試験)	
	9	TEST(試験)			27	TEST(試験)	
	10	Likes and Interests(趣味と興味)			28	Skills and Traits(スキルと性格)	
	11	Likes and Interests(趣味と興味)			29	Skills and Traits(スキルと性格)	
	12	Group Interview(グループ面接)			30	Skills and Traits Company/Institution Research HW(スキルと性格、企業研究宿題)	
	13	Group Interview(グループ面接)			31	Check Company/Institution Research HW(企業研究宿題チェック)	
	14	School OR Work(学校か仕事か)			32	Why do you want to work/study at ...?(志望動機)	
	15	School OR Work(学校か仕事か)			33	Why do you want to work/study at ...?(志望動機)	
	16	School OR Work(学校か仕事か)			34	Test review(試験に向けての復習)	
	17	TEST(試験)			35	TEST(試験)	
	18	TEST(試験)			36	TEST(試験)	
成績割合		テスト		75%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		25%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。					

シラバス

科目名		アマデウス実習I		担 当 者 名		小泉 公仁子	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。 航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線の予約の操作を学び、「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	小児・幼児の情報入力	
	3	オリエンテーション3			21	各種ミール、HELP活用方法	
	4	アマデウスシステム 基本的な操作方法			22	フリークエントフライヤープログラム	
	5	国際線基礎知識			23	座席指定	
	6	各種コード検索			24	セキユアフライトプログラム	
	7	情報検索、タイムテーブル、スケジュール照会			25	OSI	
	8	空席照会、ステータスコード			26	RMKS	
	9	空席照会オプションエントリー			27	基礎知識まとめ	
	10	空席照会からの予約			28	ロールプレイ①	
	11	旅客データ 綴り、タイトル			29	ロールプレイ②	
	12	PNR作成 必須項目の入力			30	総復習	
	13	PNR完了後のステータスコード、中断、抽出			31	検定対策①	
	14	乗継便、取消し待ち、ARNK, オープン			32	期末テスト(検定対策②)	
	15	PNR項目の取消し、修正、変更			33	検定対策③	
	16	ダイレクトアクセス、アクセスレベル			34	まとめ①	
	17	総復習			35	まとめ②	
	18	期末テスト			36	まとめ③	
成績割合		テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	20%				
		検定	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		コンピュータ実習Ⅰ		担 当 者 名		深井 妙子	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		実習	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 <u>・通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格できるレベルを目指す(資格取得希望者は受験可能)					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	科目ガイダンス		19	図の挿入/図形の描画		
	2	Windowsの基本操作/タイピング練習 文字入力の基本		20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	3	タイピング練習/文字入力の基本		21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)		
	4	ビジネス文書の書き方		22	日商PC検定文書作成検定 試験問題1		
	5	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		23	日商PC検定文書作成検定 試験問題2		
	6	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)		24	日商PC検定文書作成検定 試験問題3		
	7	ビジネスメールの書き方		25	日商PC検定文書作成検定 試験問題4		
	8	ビジネスメール課題		26	日商PC検定文書作成検定 試験問題5		
	9	表作成の基本		27	日商PC検定文書作成検定 試験問題6		
	10	ビジネス文書課題(表のある文書)		28	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1		
	11	ビジネス文書課題(表のある文書)		29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2		
	12	ビジネス文書課題(表のある文書)		30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3		
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)		31	SPECIAL MEAL		
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)		32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題5		
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)		33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題6		
	16	前期期末試験		34	後期期末試験		
	17	前期期末試験の解答解説		35	後期期末試験の解答解説		
	18	前期振り返り		36	後期振り返り		
成績割合		テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
		学習態度	30%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		建設業界で、設計の仕事に加え事務処理(申請業務、見積書の作成、工程表作成など)の実務経験及び、職業訓練校での講師経験も長く、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。					

シラバス

科目名		グランドスタッフ概論		担当 者 名		小池 はるか	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		航空会社の一員であるグランドスタッフとして働くために必要な知識や業務内容について知る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		・様々な空港旅客サービスを想定した授業を通して、グランドスタッフとして求められる人材に近づく ・実際にお客様と接することの難しさやひとりひとりのお客様と向き合うことの重要性を知る					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	航空業界の概要 ①			19	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ①	
	2	航空業界の概要 ②			20	テストの返却、出発業務(手荷物規定) ②	
	3	空港業務 ①			21	発券業務 ①	
	4	空港業務 ②			22	発券業務 ②	
	5	出発業務(航空用語、特殊旅客) ①			23	チェックイン実践 ①	
	6	出発業務(航空用語、特殊旅客) ②			24	チェックイン実践 ②	
	7	顧客案内 ①			25	到着業務 ①	
	8	顧客案内 ②			26	到着業務 ②	
	9	チェックイン業務 ①			27	到着業務 ③	
	10	チェックイン業務 ②			28	到着顧客案内実践 ①	
	11	チェックイン実践 ①			29	到着顧客案内実践 ②	
	12	チェックイン実践 ②			30	到着顧客案内実践 ②	
	13	チェックイン実践 ③			31	SPECIAL MEAL	
	14	出発業務(出入国規定) ①			32	期末テスト ②	
	15	出発業務(出入国規定) ②			33	テスト返却 解説	
	16	期末テスト ①			34	まとめ ①	
	17	期末テスト ②			35	まとめ ②	
	18	テスト返却 解説			36	振り返り	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫50% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		アジアナ航空のグランドスタッフとして、成田空港で約10年間旅客サービス業務に従事してまいりました。業務中に起こる様々な出来事を題材に、経験豊富な現役のスタッフと共に授業を進めていく予定です。					

シラバス

科目名	話し方		担 当 者 名	古閑三恵	
学科	エアライン科 大学コース		授業方法	講義 実習 発表	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的	「言葉づかい」は「心づかい」。言葉により勇気づけられたり傷つけられたり。言葉の大切さを共に学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	接客業に必要なお客様に聞き取りやすい基本的な声の出し方。話し上手である必要はありません。相手への気配りを言葉の端々に感じさせる人こそコミュニケーション上手。自分の考えを自分の言葉で表現出来る人に。 相手の話を聞く力をつける。一年後、人前で話す事が楽しくなるように。				
授業概要	客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ				
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容
	1	授業の進め方、自己紹介、話し方とは？		19	敬語の基本
	2	ストレッチ、正しい立ち方、呼吸法、ゲーム		20	ストレッチ、発声、(テクノス祭の司会者練習)
	3	ストレッチ、腹式呼吸、正しい口の開け方		21	ストレッチ、発声テクノス祭を終えて。スピーチ
	4	ストレッチ、腹式呼吸、50音発声		22	プレゼン構成Ⅱ 文章作り
	5	ストレッチ、50音発声、(早口言葉)		23	発表
	6	ストレッチ、50音発声、(プレゼン構成Ⅰ)		24	発表
	7	ストレッチ、50音発声、(60秒発表)		25	発表
	8	好きな映画について 発表		26	50音発声テスト
	9	好きな映画について 発表		27	敬語小テスト
	10	好きな映画について 発表		28	テスト「テーマで発表」
	11	広島・長崎朗読劇「この子たちの夏」の朗読		29	ストレッチ、発声(ゲーム)
	12	夏休み宿題「美術館」発表		30	エレベーターピッチ(就職活動に向けて自己PR練習)
	13	夏休み宿題「美術館」発表		31	エレベーターピッチ
	14	夏休み宿題「美術館」発表		32	発表「今まで生きてきた中で一番大切にしている事、人、物」
	15	テスト「テーマで60秒発表」		33	発表
	16	詩を読む		34	発表
	17	お芝居をやってみよう！(自分を解放する。)		35	発表
	18	ナレーションなど。		36	最後に皆さんに。
成 績 割 合	テスト		40%	学 習 F B 方 法	前期・後期 成績表送付
	学習態度		40%		
	レポート		20%	成 績 評 価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%				
講師プロフィール	劇団四季附属演劇研究所卒業。井上ひさしの劇団「こまつ座」を経て現在プロダクション所属。舞台、映画、ドラマ、ラジオパーソナリティ、ナレーション、司会、大手プロダクション演技指導等。				

シラバス

科目名		職業適性講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義・実習	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		テクノスの学修機会を存分に体験してもらう「しくみ」を伝え、成長を実感してもらう					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人となるための自覚や、自信の特徴・適正などに自覚する。 学年の違いを活かした協働授業をすることで、それぞれの自覚を促す。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	学修機会を使い切ろう 後期の目標設定	
	2	職業を得るとはどうか考える			20	テクノスノートを使用し、明確にする	
	3	テクノスノートを使用し、1年間の過ごし方を考える			21	目標達成するための工夫をディスカッションする	
	4	今年度の目標を設定する			22	成長した部分の確認	
	5	目標達成のための計画をつくる			23	工夫を今後に活かす	
	6	計画を実行するためには?? メンター制度			24	マナープロトコル検定に向けて	
	7	お互いに観察し、振り返りを共有			25	マナープロトコル検定 模擬試験①	
	8	学修機会の再確認			26	マナープロトコル検定 模擬試験②	
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27	マナープロトコル勉強会	
	10	フィールドワークとは??その目的、目標は			28	マナープロトコル勉強会	
	11	事前プレゼンテーション			29	フィールドワーク② 内容を定める	
	12	実際に探求、体験、その成果検証			30	事前プレゼンテーション	
	13	報告プレゼンテーション準備			31	フィールドワーク	
	14	プレゼンテーション			32	報告プレゼンテーション準備①	
	15	プレゼンテーション			33	報告プレゼンテーション	
	16	振り返りスピーチ			34	報告プレゼンテーション	
	17	振り返りスピーチ			35	振り返りスピーチ	
	18	まとめ			36	まとめ	
成績割合		テスト(プレゼン)		20%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		接遇手話Ⅰ		担当者名		和田 みさ	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義・実技	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。 NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	3	ガイダンス・導入			21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (人物・家族の表現)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)			28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃 (趣味の表現)			29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	12	〃 (職業などの表現)			30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	15	前期の復習			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(表出試験)			35	試験の返却/解説	
	18	〃 (読み取り/筆記試験)			36	まとめ	
成績割合		テスト	70%	学習FB方法		前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率	20%				
		レポート	10%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		韓国語Ⅰ		担当 者 名		具 美 善	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		韓国語の読む、書く、聞く、話す能力を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		韓国語の読み書きができる。 自然な発音とイントネーションで簡単な会話ができる。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	授業オリエンテーション			19	前期復習①	
	2	文字の読み書き①			20	前期復習②	
	3	文字の読み書き②			21	第6課(～ます、～ますか)	
	4	文字の読み書き③			22	第7課(否定文)	
	5	文字の読み書き④			23	第8課(漢字語数詞)	
	6	文字の読み書き⑤			24	第9課(～ます、～ますかの他の表現)	
	7	文字の読み書き⑥			25	第10課(固有語数詞)	
	8	文字の読み書き⑦			26	第11課(過去形)	
	9	文字の読み書き⑧			27	第12課(敬語表現)	
	10	文字の読み書き⑨			28	第13課(敬語の過去)	
	11	第1課(～です、～ですか)			29	第14課(逆説表現)	
	12	第2課(～ではありません)			30	第15課(希望表現)	
	13	第3課(～です、～ですかの他の表現)			31	授業まとめ/復習①	
	14	第4課(あります、います)			32	授業まとめ/復習②	
	15	第5課(位置を表す表現)			33	授業まとめ/復習③	
	16	授業まとめ			34	期末テスト	
	17	期末テスト			35	テスト返却	
	18	試験返却 解説			36	振り返り まとめ	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		一橋大学大学院 言語社会研究科 博士課程修了 一橋大学大学院 言語社会研究科 特別研究員 / 韓国学研究所 研究員					

シラバス

科目名		ナレーション		担 当 者 名		桜田ゆみ	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		演劇基礎、企画構成、舞台演習、公演	
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期・通 年 必 修 ・ 選 択	必修選択	授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)
授業目的		演劇、ミュージカル等のエンターテインメントを通して、人々が幸せになる国際社会へ貢献できる人材を育成する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		企画構成から完成まで、オリジナルの舞台を制作し、気付きと共感を大切に働く、実社会で役立つ人間力を養う。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション①			17	前期舞台発表のアンケート結果をもとにミーティング	
	2	オリエンテーション②			18	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇	
	3	1分間モノログ(一人芝居)による表現法。			19	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇	
	4	舞台発表に向けた台本制作と基礎演技を指導。			20	台本制作／シアターエデュケーショナル演習／即興劇	
	5	グループ分け／台本制作のための構想開始			21	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古	
	6	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			22	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古	
	7	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			23	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古	
	8	台本制作／シアターエデュケーショナル演習			24	リハーサル／衣装・音響・照明・映像プラン提出	
	9	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古			25	リハーサル／衣装合わせ	
	10	リハーサル／台本読み合わせ&立ち稽古			26	リハーサル／全体通し稽古	
	11	リハーサル／衣装・音響・照明・映像プラン提出			27	リハーサル／全体通し稽古	
	12	リハーサル／衣装合わせ			28	クラス内にて中間発表	
	13	リハーサル／全体通し稽古			29	リハーサル／当日配布のプログラム構成提出	
	14	クラス内にて中間発表			30	リハーサル／前説台本提出／集客方法提出	
	15	リハーサル／当日配布のプログラム構成提出			31	リハーサル／ゲネプロ／完成プログラム配布	
	16	リハーサル／前説台本提出／集客方法提出			32	後期舞台発表本番／アンケート収集	
	17	リハーサル／ゲネプロ／完成プログラム配布			35	振り返り	
	18	前期舞台発表本番／アンケート収集			36	最終授業まとめ	
成績割合		テスト(発表)		35%	学習FB方法	毎回の授業で主演女優賞、主演男優賞、助演女優賞、助演男優賞ほか、企画制作賞、敢闘賞、貢献賞、MVPを発表し、技術向上の成果を全員の前で評価する。	
		学習態度		50%			
		レポート		15%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		文化芸術を通して日本と諸外国を繋ぐ外交アーティスト、一般社団法人日本サルスエラ協会 代表理事。 NHK構成作家、劇作家、脚本家、演出家。公益財団法人東京二期会正会員オペラ歌手。					

シラバス

科目名		学習法		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前期 後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		テクノスでの学生生活を円滑に進めるための心得を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		学校生活におけるルールなどを身に付ける					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	自己紹介			19		
	2	自己紹介			20		
	3	講義形式の授業の受け方			21		
	4	実習形式の授業の受け方			22		
	5	インターンシップについて			23		
	6	レポート提出について			24		
	7	レポートの書き方			25		
	8	提出物について			26		
	9	学修機会を最大限に活かすためには			27		
	10	日直制度について			28		
	11	一般的なドレスアップについて			29		
	12	オフィスカジュアルとは			30		
	13	学内での注意事項			31		
	14	学内でのルール			32		
	15	ワークショップ①			33		
	16	ワークショップ②			34		
	17	ワークショップ③			35		
	18	まとめ			36		
成績割合	テスト		0%		学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率		80%				
	レポート・課題		20%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		自己の存在価値および社会人としての役割を認識する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		「職業観」を理解し、自身のキャリアプランを考える。 履歴書作成および面接試験を行い、就職活動に対する意識づけ。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	進路&業界研究			19		
	2	キャリアビジョンを考える			20		
	3	業界の働く環境			21		
	4	求人票の見方			22		
	5	自己分析①			23		
	6	自己分析②			24		
	7	企業研究の仕方			25		
	8	企業研究①			26		
	9	企業研究②			27		
	10	グループディスカッション①			28		
	11	グループディスカッション②			29		
	12	志望動機の作り方①			30		
	13	志望動機の作り方②			31		
	14	履歴書&ESの書き方①			32		
	15	履歴書&ESの書き方②			33		
	16	企業への連絡マナー			34		
	17	第一印象の重要性			35		
	18	面接練習			36		
成績割合		テスト		0%		学習FB方法	成績表送付
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選 択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		履歴書やESに記入する内容を、自らの自己分析を基に記入する。それを教員がアドバイスすることで、書き方のコツを学ぶ。 また、筆記試験対策として、国語・社会・英語を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職試験に必要な自己分析や、筆記試験に対する意識づけを行う。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授業内容			後 期	授業内容	
	1	志望動機作成①			19		
	2	志望動機作成②			20		
	3	志望動機添削			21		
	4	自己PR作成①			22		
	5	自己PR作成②			23		
	6	自己PR作成③			24		
	7	自己PR添削			25		
	8	英語面接練習①			26		
	9	英語面接練習②			27		
	10	英語面接練習③			28		
	11	筆記試験対策 国語①			29		
	12	筆記試験対策 国語②			30		
	13	筆記試験対策 社会①			31		
	14	筆記試験対策 社会②			32		
	15	筆記試験対策 社会③			33		
	16	筆記試験対策 英語①			34		
	17	一般常識の試験			35		
	18	面接練習			36		
成績割合		テスト		0%		学習FB方法	成績表送付
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社でのグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職対策講座Ⅰ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必修・選 択・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)		
授業目的		職活動に向けて必要な知識、技能(主に「コミュニケーション能力」、「行動力」、「情報収集能力」)を身に付ける。これを踏まえ、就職活動に必要な社会人としての知識や教養、技能修得し、自己認知のもと自己表現力の向上を目指し、自信を持って活動に臨めるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動に必要な基礎知識の修得、および、意欲的に就職活動に向かうためのマインドの醸成を目標とする。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	就職試験とは		19			
	2	SPI対策①(言語)		20			
	3	SPI対策②(言語)		21			
	4	SPI対策③(言語)		22			
	5	SPI対策①(非言語)		23			
	6	SPI対策②(非言語)		24			
	7	SPI対策③(非言語)		25			
	8	集団面接対策講座①		26			
	9	集団面接対策講座②		27			
	10	集団面接対策講座③		28			
	11	グループディスカッション対策①		29			
	12	グループディスカッション対策②		30			
	13	グループディスカッション対策③		31			
	14	個人面接対策①		32			
	15	個人面接対策②		33			
	16	個人面接対策③		34			
	17	SPI試験		35			
	18	各種面接の総復習		36			
成績割合	テスト		0%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率		80%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>20% R<実働実践型学習> A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		就職準備講座Ⅱ		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		実習・講義	
認定単位 開講学年		1単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期・ <u>後 期</u> ・通 年 <u>必 修</u> ・選 択 ・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数1)
授業目的		職業に関する理解を深めると共に、パーソナリティや多様なキャリアに関する理解する。また、社会において求められる能力を把握し、自らのキャリアを振り返り発信する力を育む。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		キャリアデザインに関連する知識を身に付けることを目標とする。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19		
	2	キャリアとは何か			20		
	3	キャリアデザインに関する理論①			21		
	4	キャリアデザインに関する理論②			22		
	5	キャリアデザインに関する理論③			23		
	6	職業とは			24		
	7	多様な職業を知る			25		
	8	キャリアの振り返り			26		
	9	キャリアデザインの実例①(ゲストスピーカー)			27		
	10	パーソナリティ			28		
	11	社会の理解			29		
	12	キャリアデザインの実例②(ゲストスピーカー)			30		
	13	多様なキャリア			31		
	14	就職活動に関するスキル①			32		
	15	就職活動に関するスキル②			33		
	16	社会において求められる能力			34		
	17	キャリアデザインの実例③(ゲストスピーカー)			35		
	18	まとめ			36		
成績割合		テスト		0%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		80%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		航空会社でのグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		観光英語Ⅰ		担当者名		岡野 秀子		
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義		
認定単位 開講学年		2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)		
授業目的		ホテルや空港などで使う実用的な言い回しを学び、観光英検2級・3級合格を目標とする						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本内外に関わらず、外国人と英語でコミュニケーション出来るようになる。またパンフレットや観光関連記事を多読して専門用語になれることを目標とする。						
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ						
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容		
	1	空港チェックインカウンターのやりとり			19	観光英検講座(過去問から)		
	2	ツアーコンダクター ～空港からホテルまで			20	観光英検講座(過去問から)		
	3	J. F. ケネディ空港 交通機関に関するチラシ			21	観光英検講座(過去問から)		
	4	ホテルでのチェックイン			22	出入国管理と税関にて		
	5	レストラン～注文の仕方			23	レストランでの注文の仕方		
	6	レストラン～メニューの見方			24	観光1		
	7	駅でのやり取り Dictation			25	観光2		
	8	観光名所～ツアーの説明			26	ショッピング1		
	9	ショッピング～買い物の仕方			27	ショッピング2		
	10	時刻表を読む			28	交通機関1		
	11	観光パンフレットを読む1			29	交通機関2		
	12	観光パンフレットを読む2			30	国内旅行1～英語で紹介		
	13	トラブルと苦情1			31	国内旅行2～英語で紹介		
	14	トラブルと苦情2			32	日本地理を英語でプレゼンテーション(準備)		
	15	切符の買い方、食堂車の予約、リスニング			33	日本地理を英語でプレゼンテーション(準備)		
	16	観光英語まとめ			34	日本地理を英語でプレゼンテーション(発表)		
	17	前期期末テスト			35	後期期末テスト		
	18	期末レポートについて			36	後期期末テスト振り返り		
成績割合	テスト			50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付		
	学習態度・出席率			30%				
	レポート			20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計			100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		日本航空国際線の客室乗務員として長年勤務した経験から、実際に使える生きた英語を教えている						

シラバス

科目名		Speaking II		担当者名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必修 ・ 選 択 ・ 必修選択	授 業 時 間 数		72時間(週講時数 2)
授業目的		英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	Units 7/8 Lesson A	
	2	オリエンテーション2			20	Units 7/8 Lesson B	
	3	オリエンテーション3			21	Units 7/8 Lesson C	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	Test 7/8	
	5	Units 1/2 Lesson B			23	Test 7/8	
	6	Units 1/2 Lesson C			24	Units 9/10 Lesson A	
	7	Test 1/2			25	Units 9/10 Lesson B	
	8	Test 1/2			26	Units 9/10 Lesson C	
	9	Units 3/4 Lesson A			27	Test 9/10	
	10	Units 3/4 Lesson B			28	Test 9/10	
	11	Units 3/4 Lesson C			29	Units 11/12 Lesson A	
	12	Test 3/4			30	Units 11/12 Lesson B	
	13	Test 3/4			31	Units 11/12 Lesson C	
	14	Units 5/6 Lesson A			32	Test 11/12	
	15	Units 5/6 Lesson B			33	Test 11/12	
	16	Units 5/6 Lesson C			34	確認テスト・まとめ1	
	17	Test 5/6			35	確認テスト・まとめ2	
	18	Test 5/6			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		75%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		25%			
		レポート		0%	成績評価	会話テスト: 3回×25点 授業参加: 25点	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		元Air Canada客室乗務員。25年以上日本で英語を教えている。					

シラバス

科目名		職業適性講座Ⅱ		担当 者 名		岡 野 秀 子		
学科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講義・グループワーク		
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)	
授業目的		社会人基礎力の育成をする						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		就職活動および社会人として必要なことをクラス全員で考え、学び、行動に移す						
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ						
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容		
	1	授業オリエンテーション			19	前期の反省		
	2	〃			20	後期クラス目標設定		
	3	Units 1/2 Lesson A			21	後期個人目標設定		
	4	クラス目標設定			22	就職対策4		
	5	個人目標設定			23	就職対策5		
	6	就職対策1			24	就職対策6		
	7	就職対策2			25	卒展 クラス企画話し合い		
	8	就職対策3			26	卒展 クラス企画決定		
	9	学院祭 クラス企画話し合い			27	グループワークについて		
	10	学院祭 クラス企画決定			28	プレゼンテーション		
	11	主体性について			29	冬期特別講座概要		
	12	チームワークについて			30	卒業に向けて		
	13	夏期特別講座概要			31	社会人の心構え		
	14	学院祭について			32	テクノス展準備		
	15	学院祭について			33	テクノス展準備		
	16	学院祭について			34	授業まとめ/振り返り		
	17	個人目標再設定			35	〃		
	18	前期総括			36	〃		
成績割合		テスト		学習FB方法		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		学習態度・出席率						80%
		レポート		20%	成績評価			
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		JALの国際線客室乗務員として24年間勤務。VIPフライト・新人外国人教官経験あり。						

シラバス

科目名		プレゼンテーション		担 当 者 名		東真理	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、実習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 1)
授業目的		コミュニケーション能力を高め、社会人にふさわしい話し方を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プレゼンテーションの発表を目的とし、「説明」から「説得」へ。聞く人の心を動かすスピーチの習得を目指す。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	年間予定と「プレゼンテーション」について説明。講師紹介。			19	〃	
	2	基礎レッスン・ボイストレーニング①			20	敬語②	
	3	〃			21	ディベート	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	〃	
	5	〃			23	プレゼンテーション	
	6	〃			24	〃	
	7	敬語①			25	〃	
	8	グループディスカッション・模擬面接			26	〃	
	9	〃			27	〃	
	10	〃			28	グループワーク	
	11	話し方表現練習			29	グループワーク	
	12	時事についてのスピーチとディスカッション			30	グループワーク	
	13	〃			31	グループワーク	
	14	前期末スピーチテスト			32	学年末テスト	
	15	〃			33	〃	
	16	基礎レッスン・ボイストレーニング②			34	年間のまとめ	
	17	説明と説得・ロールプレイ			35	〃	
	18	〃			36	〃	
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫					
講師プロフィール		(有)スターダス・21所属、映像・舞台・声・CM等出演／(株)「話し方研究所」認定インストラクター講師					

シラバス

科目名		A.W.English		担当 者 名		Ernie Chan	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		Compose paragraphs for academic writing アカデミックライティングでの文章を書く					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外大学・外資系企業で通用する論文・文章を書くスキルを習得する					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	Introduction to class, Review of previous skills クラスの導入、1年生の復習			19	review previous term skills 前期で学んだスキルの復習	
	2	write an opinion paragraph 意見の段落を書く			20	brainstorm essay argument 作文の論点のアイディア出し	
	3	critical thinking activity 批判的思考アクティビティー			21	brainstorm essay direction 作文の方向性のアイディア出し	
	4	write a paragraph based on critical thought 批判思考を元にした1段落の文章を書く			22	check essay argument and direction in groups, discuss 作文の論点と方向性をグループで話し合い確認する	
	5	introductory sentence 導入文			23	first draft 第一稿	
	6	analysis and concluding sentence 分析と結び文			24	first draft 第一稿	
	7	interesting and compelling theses 興味深く説得力のある論旨			25	first draft 第一稿	
	8	good vs bad theses よい論旨と悪い論旨			26	peer review of first draft クラスメートによる第一稿の見直し	
	9	pyramid structure ピラミッド構造			27	second draft 第二稿	
	10	focusing on thesis 論旨に注目する			28	second draft 第二稿	
	11	pyramid structure ピラミッド構造			29	peer review of second draft クラスメートによる第二稿の見直し	
	12	relating to life/world application 生活・世界への応用に関して			30	final draft 最終稿	
	13	relevant issues 関連のある題材			31	final draft 最終稿	
	14	good vs bad arguments よい議論と悪い議論			32	peer review of final draft クラスメートによる最終稿の見直し	
	15	credibility of sources 情報の信憑性			33	peer review of final draft クラスメートによる最終稿の見直し	
	16	check credibility of sources 情報の信憑性をチェックする			34	review and correct final draft of essay 作文の最終稿を見直して修正	
	17	present essay outline 作文の概要を提出する			35	present essay to class 作文をクラスに提出	
	18	final essay review 作文の最終確認			36	present essay to class, class conclusion 作文をクラスに提出、まとめ	
成績割合		テスト			学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート		50%	成績評価	50% classroom participation 50% 平常点 50% essay 50% 提出課題	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫25%					
講師プロフィール		2009年からカナダとグアテマラで英語教員として活躍。2018年より日本在住。					

シラバス

科目名		English Pragmatics		担当 者 名		Selena Greising	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		演習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> <u>必 修</u> ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		英語を話すというスキルで一番上のレベルの要素を身につける。さらに高いレベルの表現を学び、環境や周りの人、状況などに基づいて適切に使用できるようにする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		自分たちが使う言葉についてどんな言葉をいつ使うかということについて批判的に考えられるようになり、社会生活のどのレベルでの適切に使えるようにする。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	Class introduction 導入			19	Class introduction 導入	
	2	Body language, facial expression ボディランゲージ、顔の表情			20	Body language, facial expression ボディランゲージ、顔の表情	
	3	Alba technique アルバ・テクニク			21	Alba technique アルバ・テクニク	
	4	No-content scene exercises ノーコンテンツシーン・エクササイズ			22	No-content scene exercises ノーコンテンツシーン・エクササイズ	
	5	Greetings and closings 挨拶と会話の終わり			23	Greetings and closings 挨拶と会話の終わり	
	6	Appropriate conversation starters 適切な会話の糸口			24	Appropriate conversation starters 適切な会話の糸口	
	7	Continuing conversations 会話の継続			25	Continuing conversations 会話の継続	
	8	Questions practice, review 質問の練習、復習			26	Questions practice, review 質問の練習、復習	
	9	TED talk, discussion TEDトーク、ディスカッション			27	TED talk, discussion TEDトーク、ディスカッション	
	10	Agree/Disagree 賛成・反対			28	Agree/Disagree 賛成・反対	
	11	Giving opinions 意見を述べる			29	Giving opinions 意見を述べる	
	12	Review activities 復習のアクティビティー			30	Review activities 復習のアクティビティー	
	13	Assign groups, explain final project グループ分け、最終プロジェクトの説明			31	Assign groups, explain final project グループ分け、最終プロジェクトの説明	
	14	Group planning time グループでプロジェクトの計画立て			32	Group planning time グループでプロジェクトの計画立て	
	15	Group practice time グループでの練習時間			33	Group practice time グループでの練習時間	
	16	Group record time グループでビデオ撮影			34	Group record time グループでビデオ撮影	
	17	Watch final project videos グループのビデオプロジェクトを見る			35	Watch final project videos グループのビデオプロジェクトを見る	
	18	Wrap-up discussion まとめのディスカッション			36	Wrap-up discussion まとめのディスカッション	
成績割合		テスト		15%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		60%			
		レポート		25%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体験型学習≫25%					
講師プロフィール		セリーナは大学で演劇を専攻し、身体と発声練習を含む効果的なコミュニケーションについて学んだ。					

シラバス

科目名		Airline English II		担 当 者 名		岡崎志織	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、テキスト、練習問題、listening	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	Unit 1 Transportation, Listening,過去問			19	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問	
	2	U1, Transportation,Listening,過去問			20	U10 Culture Experience in Japan 1	
	3	U2 At a check in counter,Listening,過去問			21	U11 Culture Experience in Japan 2	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	5	U3 Facilities & service,Listening,過去問			23	U12,Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	6	U3 Facilities & service,Listening,過去問			24	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	7	U4 Giving Direction,Listening,過去問			25	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	8	U4 Giving Direction,Listening,過去問			26	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	9	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			27	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	10	U5 Recommending a trip,Lis,過去問			28	U15 Upon Departure	
	11	U6 Dining in Japan,Lis,過去問			29	まとめ・振り返り	
	12	U7 Dining in Japan,Lis,過去問			30	まとめ・振り返り	
	13	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			31	まとめ・振り返り	
	14	U8 Arranging a tour,Lis,過去問			32	後期期末テスト	
	15	Riview,Lis.過去問			33	テスト返却、解説	
	16	前期期末テスト			34	確認テスト・まとめ1	
	17	テスト返却、解説			35	確認テスト・まとめ2	
	18	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		10%	成績評価	出席率80%以上	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体験型学習>>					
講師プロフィール		静岡大学卒業、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。					

シラバス

科目名		アマデウス実習ⅡA		担 当 者 名		毛利奈緒	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		実 習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時 間 (週講時数2)
授業目的		世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。 航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。 リアルタイムなニュースや情報を取り上げて常に業界の現状を意識し、就職活動、就職後につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		国際線予約の操作、基礎知識を学び、秋の「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期				後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	前期復習	
	2	オリエンテーション2			20	分割、変更	
	3	オリエンテーション3			21	PNRのコピー、変更	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	ヒストリー、キュー	
	5	各種コード検索			23	空席照会応用(2区間など)	
	6	タイムテーブル、空席照会、スケジュール照会			24	SSR応用(連絡先、APISなど)	
	7	空席照会からの予約			25	運賃①	
	8	旅客氏名、連絡先、PNR必須項目の入力			26	運賃②	
	9	完了、中断、抽出、乗継便の予約			27	基礎知識まとめ①	
	10	ロングセル、キャンセル待ち、ARNK、オープン			28	基礎知識まとめ②	
	11	項目の取消、訂正、変更、小児、幼児の予約			29	ロールプレイ①	
	12	各種ミール、HELPの活用、座席指定			30	ロールプレイ②	
	13	ダイレクトアクセス、アクセスレベル、GG			31	期末テスト対策	
	14	FFP、OSI、RMKS			32	期末テスト	
	15	総復習			33	総まとめ	
	16	検定対策①			34	確認テスト・まとめ1	
	17	期末テスト(検定対策②)			35	確認テスト・まとめ2	
	18	検定対策③			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		30%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		20%			
		検定		50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60 ～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名		Presentation II		担当 者 名		Gilberto Mendez	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 必 修 ・ 選 択 ・	通 年 必修選択	授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		マーケティングの基礎、つまり、顧客のニーズと、それがどのように需要を生み出すかを理解し、ターゲット市場と、顧客を引きつける価値をどのように生み出すかを分析、発表する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		マーケティングの基礎と、顧客価値がどのように効果的なマーケティング戦略を生み出すか、ということを紹介する。必要不可欠なビジネスの用語を習得する。マーケティングとビジネスに関連した事例を分析することによって批判的思考を伸ばす。製品、サービス、ブランドの重要性。国際市場について学ぶ。クラスで学んだことを使い、マーケットリサーチプロジェクトの準備をする。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	授業オリエンテーション			19	Themes テーマ	
	2	〃			20	Themes: Inconvenient Truth テーマ:『不都合な真実』	
	3	〃			21	Check presentation theme ideas プレゼンテーションテーマのアイデアをチェックす	
	4	Understand the marketplace and what customer Wants, Needs and Demands. 市場と顧客の欲求、ニーズ、需要を理解する。			22	Images 画像	
	5	Wants, Needs and Demands. 欲求、ニーズ、需要			23	Text テキスト	
	6	Research customers and the marketplace. Page 36, 98, 100 顧客と市場のリサーチ			24	Check images and text in presentation opening プレゼンテーション冒頭での画像とテキストをチェックする	
	7	Marketing Intermediaries マーケティング仲介者			25	Data データ	
	8	Design a customer value driven marketing strategy. (3 or 4 weeks) 顧客価値志向マーケティング戦略			26	Data: Inconvenient Truth データ:『不都合な真実』	
	9	How can we make a strategy that adds value? Page 37 価値を加える戦略をどのように作るか			27	Check data, etc. in body part 1 ボディー部分パート1でのデータをチェックする	
	10	Segmentation 分割			28	Body part 2 ボディー部分パート2	
	11	Value Proposition: Differentiation and Positioning. 価値理論: 差異と商品展開			29	Body part 3 ボディー部分パート3	
	12	Construct an Integrated Marketing Program that Delivers Superior Value: 有意価値をもたらす統合マーケティングプログラムを作る。			30	Peer feedback 1 クラスメートのフィードバック1	
	13	Preparing an Integrated Marketing Plan. 統合マーケティングプランを作る。			31	Peer feedback 2 クラスメートのフィードバック2	
	14	Brands Page 238. ブランド			32	Final check and polish 最終チェックと仕上げ	
	15	Packaging 包装			33	Present 発表	
	16	Page 239: Labeling レーベリング			34	Present 発表	
	17	Pricing and Distribution. Page 294 価格設定と分配			35	Present 発表	
	18	The Promotion Mix. プロモーションミックス			36	Present 発表	
成績割合		テスト・発表		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		25%			
		レポート		25%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> 25% R<<実働実践型学習>> 25% A<<主体的参加型学習>> 25% G<<海外体験型学習>> 25%					
講師プロフィール		講師はプエルトリコ出身で、ビジネスとマーケティングを大学で専攻した。IELTS、TOEIC、マーケティングを教える経験が豊富					

シラバス

科目名		Public Speaking II		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		演習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPの効果的な作り方も体得する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	Intro to course(授業への導入)			19		
	2	Model presentation 1: How to be an effective speaker (モデルプレゼンテーション1)			20		
	3	Model presentation 2: Magic Washing Machine (モデルプレゼンテーション2:魔法の洗濯機)			21		
	4	Organizing ideas: check brainstorm (アイディアの整理:アイディア出しのチェック)			22		
	5	Organizing ideas: check outline (アイディアの整理:概要のチェック)			23		
	6	Opening: GRAB(出だし:GRAB)			24		
	7	GRAB Check(GRABチェック)			25		
	8	Opening check(出だしチェック)			26		
	9	Body introduction(本文の導入)			27		
	10	Body check(本文チェック)			28		
	11	Body check(本文チェック)			29		
	12	Conclusion introduction(締めくくり導入)			30		
	13	Conclusion check(締めくくりチェック)			31		
	14	Final check(最終チェック)			32		
	15	Presentations 1(プレゼンテーション1)			33		
	16	Presentations 2(プレゼンテーション2)			34		
	17	Presentations 3(プレゼンテーション3)			35		
	18	Presentations 4(プレゼンテーション4)			36		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		Japanese Culture		担 当 者 名		Gary	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年	4 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72時間(週講時数2)	
授業目的		日本の文化を様々な角度から見る					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本の伝統や文化を学ぶ					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション1		19	世界遺産		
	2	オリエンテーション2		20	京都		
	3	オリエンテーション3		21	京都の世界遺産		
	4	イントロダクション		22	和風建築		
	5	日本について知っていること		23	日本の家屋・古民家		
	6	日本の各時代		24	江戸建物		
	7	時代についてプレゼンテーション		25	江戸建物・博物館		
	8	鎌倉時代		26	スピーチの準備		
	9	鎌倉の建築物		27	スピーチの練習		
	10	鎌倉のプレゼンテーション1		28	クラスでスピーチ披露		
	11	鎌倉のプレゼンテーション2		29	モダン日本文化・ポップカルチャー		
	12	日本食		30	最後のスピーチ		
	13	日本食プレゼンテーション		31	テストの説明		
	14	日本の夏		32	クラスでスピーチ		
	15	日本の祭り		33	期末テスト		
	16	祭りとテストの説明		34	確認テスト・まとめ1		
	17	祭りのプレゼンテーション		35	確認テスト・まとめ2		
	18	期末テスト		36	確認テスト・まとめ3		
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		30%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		イギリス人であるが、日本で長年講師を務め、日本の文化に精通している					

シラバス

科目名		Route InformationA		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年		1 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	18時 間(週講時数1)
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	世界の食事情			19		
	2	世界の行事・イベント			20		
	3	世界のテーマパーク			21		
	4	Units 1/2 Lesson A			22		
	5	地域研究概論(各地の空港と観光地)			23		
	6	地域研究 ヨーロッパ1			24		
	7	地域研究 ヨーロッパ2			25		
	8	地域研究 ヨーロッパ3			26		
	9	地域研究 北アメリカ			27		
	10	地域研究 北アメリカ2			28		
	11	地域研究 東南アジア1			29		
	12	地域研究 東南アジア2			30		
	13	地域研究 中国			31		
	14	地域研究 オセアニア			32		
	15	地域研究 太平洋の島々			33		
	16	地域研究 オセアニア			34		
	17	地域研究 中近東・アフリカ			35		
	18	確認テスト・まとめ2			36		
成績割合		テスト		40%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		40%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		Route InformationB		担 当 者 名		金田一 栄子	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、演習、発表など	
認定単位 開講学年		2 単位 2 学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		海外地理について基本的な知識を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		地理的な視点から世の中のことを見ることができるようになる。 また、世界各地の空港についても広い視野で考えられるようになる。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	世界の食事情	
	2	世界の国々と首都			20	世界の行事・イベント	
	3	世界遺産			21	世界のテーマパーク	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	世界の空港	
	5	オーストラリア・ニュージーランド			23	地域研究概論(各地の空港と観光地)	
	6	太平洋の島々			24	地域研究 ヨーロッパ1	
	7	アメリカ			25	地域研究 ヨーロッパ2	
	8	カナダ・メキシコ・ブラジル・ペルー			26	地域研究 ヨーロッパ3	
	9	欧) 全体の地勢			27	地域研究 北アメリカ	
	10	欧) 英・仏・伊			28	地域研究 北アメリカ2	
	11	欧)ドイツ・スイス・ベルギー 中欧諸国			29	地域研究 東南アジア1	
	12	欧)スペイン・ポルトガル ギリシャ			30	地域研究 東南アジア2	
	13	欧)北欧諸国・ロシア			31	地域研究 中国	
	14	中国			32	地域研究 オセアニア	
	15	台湾、香港、韓国			33	地域研究 太平洋の島々	
	16	タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン			34	地域研究 オセアニア	
	17	インド、インドネシア、 その他の東南アジア諸国			35	地域研究 中近東・アフリカ	
	18	確認テスト・まとめ1			36	確認テスト・まとめ2	
成績割合		テスト		40%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		40%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験。2002年から観光英検問題作成委員。					

シラバス

科目名		TOEIC II		担 当 者 名		鈴木良	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	72 時 間 (週講時数 2)
授業目的		ボキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストでさらに高得点を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC 1 で学んだストラテジーをさらなる実践を通して習熟する。TOEIC 650点～750点を目指す。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	TOEIC Vocabulary 7 (26-50)、Part 6	
	2	オリエンテーション2			20	TOEIC Vocabulary 7 (51-75)、Part 6	
	3	オリエンテーション3			21	TOEIC Vocabulary 7 (76-100)、Part 7	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	Vocabulary exam 7	
	5	模試5 Q. 1-167			23	模試10 Q. 1-167	
	6	TOEIC Vocabulary 5 (26-50)、Part 2			24	TOEIC Vocabulary 8 (1-25)、Part 6	
	7	TOEIC Vocabulary 5 (51-75)、Part 6			25	TOEIC Vocabulary 8 (26-50)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 5 (76-100)、Part 6			26	TOEIC Vocabulary 8 (51-75)、Part 7	
	9	Vocabulary exam 5			27	TOEIC Vocabulary 8 (76-100)、Part 7	
	10	模試7 Q. 1-167			28	Vocabulary exam 8	
	11	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)、Part 2			29	模試11 Q. 1-167	
	12	TOEIC Vocabulary 6 (26-50)、Part 6			30	TOEIC Vocabulary 9 (1-25)、Part 6	
	13	TOEIC Vocabulary 6 (51-75)、Part 6			31	TOEIC Vocabulary 9 (26-50)、Part 6	
	14	模試8 Q. 1-167			32	後期期末テスト(模試12 Q. 1-167)	
	15	TOEIC Vocabulary 6 (76-100)、Part 6			33	TOEIC Vocabulary 9 (51-75)、テスト返却	
	16	Vocabulary exam 6			34	確認テスト・まとめ1	
	17	TOEIC Vocabulary 7 (1-25)、Part 6			35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試9 Q. 1-167)			36	確認テスト・まとめ3	
成績割合		テスト		70%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		30%			
		レポート		0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%					
講師プロフィール		TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得					

シラバス

科目名		Business Writing II A		担 当 者 名		Peter Ripley	
学科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時間(週講時数1)
授業目的		ビジネスでの英文ライティングの初歩を学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でのタイピングに慣れる コンピューターの使い方一般とGmailやGoogle Driveのようなクラウドプラットフォームに慣れる ビジネスでの英文メールに慣れる 英文履歴書と送付書の作成 5段落の簡単なエッセーの書き方					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	Intro to Gmail (Gmail導入)		19	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)		
	2	Intro to Gmail (Gmail導入)		20	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)		
	3	Intro to typing (typing導入)		21	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)		
	4	Intro to typing (typing導入)		22	Dealing with problems (問題への対処)		
	5	Introducing self (自己紹介文)		23	Dealing with problems (問題への対処)		
	6	Introducing self (自己紹介文)		24	Dealing with problems (問題への対処)		
	7	Introducing self (自己紹介文)		25	Dealing with problems (問題への対処)		
	8	Intro response (返事導入)		26	Dealing with problems (問題への対処)		
	9	Intro response (返事導入)		27	Essay outline (エッセーアウトライン)		
	10	Making inquiries (問い合わせをする)		28	Essay outline (エッセーアウトライン)		
	11	Making inquiries (問い合わせをする)		29	Essay outline (エッセーアウトライン)		
	12	Arranging a meeting (ミーティングの設定)		30	Essay body (エッセー本文)		
	13	Arranging a meeting (ミーティングの設定)		31	Essay body (エッセー本文)		
	14	Complaints (クレームの仕方)		32	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくくり)		
	15	Complaints (クレームの仕方)		33	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくくり)		
	16	Complaints (クレームの仕方)		34	Cover letter (送付書)		
	17	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)		35	Cover letter (送付書)		
	18	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)		36	Cover letter (送付書)		
成績割合		テスト	30%	学習FB方法	成績表送付		
		学習態度	35%				
		レポート	35%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫25%					
講師プロフィール		約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。					

シラバス

科目名		エアライン業務演習		担 当 者 名		辻 阪 昭 浩		
学科		エアライン科 グランドスタッフコース		授 業 方 法		講 義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 必 修 ・ 選 択 ・ 通 年 必修選択		授 業 時 間 数	36時間 (週講時数1)		
授業目的		海外旅行の知識を向上させる						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		海外旅行業界で働けるよう十分な知識を持てるよう指導する						
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ						
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後期	授 業 内 容			
	1	オリエンテーション1		19	海外観光資源・地理の研究①			
	2	オリエンテーション2		20	海外観光資源・地理の研究②			
	3	オリエンテーション3		21	海外観光資源・地理の研究③			
	4	海外旅行・ホテルの知識解説		22	旅券法①			
	5	食事・名物料理の知識		23	旅券法②			
	6	海外旅行英語①		24	旅券法③			
	7	海外旅行英語②		25	海外旅行英語④			
	8	海外旅行英語③		26	海外旅行英語⑤			
	9	国際航空運賃解説①		27	海外旅行英語⑥			
	10	国際航空運賃解説②		28	旅行会社について			
	11	e-ticketお客様控え解説		29	空港のカウンター業務			
	12	特別運賃、PEX研究		30	運賃のまとめ			
	13	出入国法規の研究		31	国ごとの決まり			
	14	旅券法の解説		32	総復習・質問			
	15	日本人の出入国手続き研究		33	テストの説明			
	16	植物・動物検疫		34	確認テスト・まとめ1			
	17	税関手続きの研究		35	確認テスト・、まとめ2			
	18	査証についての知識		36	確認テスト・まとめ3			
成績割合		テスト		60%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率		30%				
		レポート		10%	成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は 不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%						
講師プロフィール		元キャセイパシフィック航空で勤務経験があり、現在は自分で旅行会社を経営している						

シラバス

科目名		航空人間学Ⅱ		担当 者 名		権 鎔大	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		人間力の向上を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		それぞれの個性を見つけ、伸ばすことを目標として、希望する会社に入れるようにすることが目的である。自分の意見を持ち、コミュニケーション力をいかに身につけるかが、大切なテーマである					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	授業の目標と目的			19		
	2	自分の希望職種とそれを選んだ理由			20		
	3	Units 1/2 Lesson A			21		
	4	「三間」について学ぶ			22		
	5	航空会社の魅力			23		
	6	「どくろうの説話」を聞いて感じたこと			24		
	7	航空会社のサービス・成功例と改善点			25		
	8	「世界に一つだけの花」の意味			26		
	9	航空会社の商品の特徴・無形の商品			27		
	10	「ヤマアラシのジレンマ」について			28		
	11	空港のグランドハンドリングサービス			29		
	12	マズローの欲求5段階説			30		
	13	航空関連・OCCの役割と仕事			31		
	14	「だまし絵」と「名画」を比べてみる			32		
	15	接客とは何か？			33		
	16	「人間万事塞翁が馬」について考える			34		
	17	自分の容量・キャパシティーを知る			35		
	18	期末レポートについて			36		
成績割合		テスト		学習FB方法	成績表送付		
		学習態度・出席率	80%				
		レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		元アジアナ研修で勤務した経験があり、人間力を高める考え方や「心」についてためになる講義を展開する					

シラバス

科目名		コンピューター実習Ⅱ		担 当 者 名		千葉 輝子		
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		実習		
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	72時 間(週講時数2)	
授業目的		Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける						
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ						
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容		
	1	科目ガイダンス			19	表作成課題(相対参照と絶対参照)		
	2	Power Pointの基本操作/スライドの作成 (アウトライン表示)			20	課題(計算、表の装飾)		
	3	スライドの作成 図			21	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)		
	4	Units 1/2 Lesson A			22	表作成課題(RANK.EQ関数)		
	5	スライドの作成 SmartArt			23	表作成課題(IF関数)		
	6	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について			24	グラフ作成の基本		
	7	発表用資料作成			25	課題(計算、表の装飾、グラフ)		
	8	〃			26	〃		
	9	〃			27	〃		
	10	〃			28	表作成課題(VLOOKUP関数)		
	11	〃			29	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)		
	12	中間試験 プレゼン発表			30	〃		
	13	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)			31	〃		
	14	表作成課題(四則演算/表の装飾)			32	〃		
	15	〃			33	〃		
	16	〃			34	後期期末試験		
	17	前期期末試験			35	後期期末試験の解答解説		
	18	前期期末試験の解答解説/前期振り返り			36	後期振り返り		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法		成績表送付	
		学習態度		50%				
		レポート			成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫ R≪実働実践型学習≫ A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫						
講師プロフィール		商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入出庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。						

シラバス

科目名		ビジネスマナー		担 当 者 名		相川奏恵	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義・討議・事例研究・演習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講1時数)
授業目的		社会人の心構えとマナー・仕事のすすめ方の基本を身につける					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足を向上させる 応対力と仕事のすすめ方を習得する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ 社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への 対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション①			1	テスト返却と前期の振り返り	
	2	オリエンテーション②			2	配慮の必要な方へのお手伝い(屋外実習)	
	3	コミュニケーション①			3	配慮の必要な方へのお手伝い	
	4	Units 1/2 Lesson A			4	バリアフリーとノーマライゼーション	
	5	ストローク			5	顧客満足とホスピタリティ	
	6	電話応対①			6	空間心理①	
	7	電話応対②			7	空間心理②	
	8	電話応対③			8	顧客心理①	
	9	好感のもてる話し方・感じの良い聞き方			9	顧客心理②	
	10	来客応対と会話の仕方			10	クレーム対応①	
	11	来客応対・お茶出し・案内の仕方			11	クレーム対応②	
	12	訪問時のマナーと名刺交換			12	会社組織と協働	
	13	アポイントと訪問			13	指示・命令の受け方と報連相	
	14	ビジネス文書(社外)①			14	PDCAサイクル	
	15	ビジネス文書(社外)②			15	自己啓発と自己管理	
	16	ビジネス文書(社内・社交)①			16	期末テスト	
	17	ビジネス文書(社内・社交)②			17	テスト返却と1年の振り返り	
	18	前期期末テスト			18	まとめ	
成績割合	テスト		70%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率		20%				
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教案、マニュアル作成と教育)を経験。現在はビジネスマナー、コミュニケーション、電話、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、稲城市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター、日本旅行、りそな総研他					

シラバス

科目名		応用ゼミⅡA		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前期 必修・選択	後 期 ・ 通 年 必修・選択	授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション1 ゼミの趣旨について			19		
	2	オリエンテーション2 チームビルディング			20		
	3	ヒントを得る① そもそも空港って??			21		
	4	Units 1/2 Lesson A			22		
	5	ヒントを得る③ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済効果は、問題は)			23		
	6	ヒントを得る④ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済効果や問題は??)			24		
	7	ヒントを得る⑤ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済効果や問題は??)			25		
	8	ヒントを得る⑥ 日本とアジアや世界の空港の違い			26		
	9	ヒントを得る⑦ 歴史に学ぶ～成田闘争について～			27		
	10	ヒントを得る⑧ 今後の航空業界における空港の役割は??			28		
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			29		
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			30		
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			31		
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)			32		
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			33		
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			34		
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える			35		
	18	課題設定④ ギャップを埋め、今後の空港の機能や SVC、戦略を考える			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		応用ゼミⅡB		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 必 修 ・ 選 択	後 期 必 修 選 択	通 年 必 修 選 択	授 業 時 間 数 36時間(週講時数 2)
授業目的		航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、戦略を考える。 考えた案の期待効果は??			19		
	2	課題設定⑥ 考えた案の期待効果は??			20		
	3	課題の検証① 考えたSVCやFLTが世間のニーズと合致するのか インタビュー(フィールドワーク)			21		
	4	Units 1/2 Lesson A			22		
	5	課題の検証③ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			23		
	6	課題の検証④ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			24		
	7	課題の検証⑤ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			25		
	8	課題の検証⑥ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人がどう感じるかをインタ ビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し			26		
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める			27		
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める			28		
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める			29		
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める			30		
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			31		
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル			32		
	15	最終プレゼン①			33		
	16	最終プレゼン②			34		
	17	まとめ			35		
	18	振り返り			36		
成績割合		テスト(最終プレゼン)		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫20%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		Marketing		担 当 者 名		Gilberto Mendez	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、演習	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)
授業目的		マーケティングの基礎を理解し、ターゲット市場と、顧客を引きつける価値をどのように生み出すかを分析する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		必要不可欠なビジネスの用語を習得する。マーケティングとビジネスに関連した事例を分析することによって批判的思考を伸ばす。 製品、サービス、ブランドの重要性。国際市場について学ぶ。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1	授業オリエンテーション			19		
	2	〃			20		
	3	〃			21		
	4	Understand the marketplace and what customer Wants, Needs and Demands. 市場と顧客の欲求、ニーズ、需要を理解する。			22		
	5	Wants, Needs and Demands. 欲求、ニーズ、需要			23		
	6	Research customers and the marketplace. Page 36, 98, 100 顧客と市場のリサーチ			24		
	7	Marketing Intermediaries マーケティング仲介者			25		
	8	Design a customer value driven marketing strategy.顧客価値志向マーケティング戦略 How can we make a strategy that adds			26		
	9	value? Page 37 価値を加える戦略をどのように作るか			27		
	10	Segmentation 分割			28		
	11	Value Proposition: Differentiation and Positioning. 価値理論: 差異と商品展開			29		
	12	Construct an Integrated Marketing Program that Delivers Superior Value: 統合マーケティングプログラムを作る。			30		
	13	Preparing an Integrated Marketing Plan. 統合マーケティングプランを作る。			31		
	14	Brands Page 238. ブランド			32		
	15	Packaging 包装			33		
	16	Page 239: Labeling レーベリング			34		
	17	Pricing and Distribution. Page 294 価格設定と分配			35		
	18	The Promotion Mix. プロモーションミックス			36		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		25%			
		レポート		25%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> 25% R<<実働実践型学習>> 25% A<<主体的参加型学習>> 25% G<<海外体感型学習>> 25%					
講師プロフィール		講師はプエルトリコ出身で、ビジネスとマーケティングを大学で専攻した。IELTS、TOEIC、マーケティングを教える経験が豊富					

シラバス

科目名		Seminar II B		担 当 者 名		アーロン	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		演習、実技、自習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 1)
授業目的		専門授業の理解促進、課題遂行					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		計画を立てて物事を行う習慣、および課題・英会話を通しての語学力習得					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	2	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			20	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	3	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			21	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	4	Units 1/2 Lesson A			22	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	5	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			23	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	6	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			24	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	7	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			25	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	8	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			26	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	9	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			27	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	10	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			28	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	11	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			29	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	12	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			30	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	13	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			31	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	14	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			32	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	15	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			33	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	16	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			34	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	17	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			35	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	18	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ			36	まとめ	
成績割合		テスト		0%		学習FB方法	成績表送付
		学習態度		100%			
		レポート		0%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～ 69点 D59点以下は不合格
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫0% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫40%					
講師プロフィール		20年近く日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		航空検定		担 当 者 名		入澤 一樹	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義、演習など	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択、必修選択		授 業 時 間 数	18時間(週講時数 1)	
授業目的		エアライン業界で関わる、さまざまな職種の知識を養う					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット、整備士、キャビンアテンダント、グランドハンドリングなど様々な航空関連業務と、それらに従事するために必要な資格や経歴についての知識を深め、航空検定2級および1級の合格を目標とする。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容		後 期	授 業 内 容		
	1	オリエンテーション 航空検定を学ぶ意義		19			
	2	ドローンに関わる法令について		20			
	3	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について①		21			
	4	Units 1/2 Lesson A		22			
	5	管制官の業務・用語について		23			
	6	管制官の業務・用語について		24			
	7	客室乗務員の資格や業務について①		25			
	8	整備士の資格や業務について①		26			
	9	整備士の資格や業務について②		27			
	10	パイロットの資格や業務について①		28			
	11	パイロットの資格や業務について②		29			
	12	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について①		30			
	13	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について②		31			
	14	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について①		32			
	15	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について②		33			
	16	総復習		34			
	17	定期試験		35			
	18	試験返却、フィードバック		36			
成績割合	テスト		60%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率		20%				
	レポート・課題		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計		100%				
P/R/A/G割合		P<課題解決型学習>10% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>10%					
講師プロフィール		航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名		Public Speaking III		担 当 者 名		Aaron Meldahl	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		演 習	
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必 修 選 択		授 業 時 間 数	36時間(週講時数 2)
授業目的		短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPの効果的な作り方も体得する。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	Model presen+H13:J26tation 1: Inconvenient Truth opening (モデルプレゼンテーション1:Inconvenient Truth冒頭部)			19		
	2	Check brainstorm (アイディア出しチェック)			20		
	3	Check presentation outline (プレゼンテーション概要チェック)			21		
	4	Opening (冒頭部)			22		
	5	Check opening (冒頭部チェック)			23		
	6	Model presentation 2: Inconvenient Truth presenting data (モデルプレゼンテーション2:Inconvenient Truthデータの提示)			24		
	7	Body 1 (本文1)			25		
	8	Check body 1 (本文1チェック)			26		
	9	Body 2 (本文2)			27		
	10	Check body 2 (本文2チェック)			28		
	11	Model presentation 3: Inconvenient Truth conclusion (モデルプレゼンテーション3:Inconvenient Truth 締めくくり)			29		
	12	Conclusion (締めくくり)			30		
	13	Conclusion check (締めくくりチェック)			31		
	14	Final check (最終チェック)			32		
	15	Presentations 1 (プレゼンテーション1)			33		
	16	Presentations 2 (プレゼンテーション2)			34		
	17	Presentations 3 (プレゼンテーション3)			35		
	18	Review (復習)			36		
成績割合		テスト		50%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度		50%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール		20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。					

シラバス

科目名		教養講座A		担 当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1時間)	
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容			後期	授業内容	
	1	オリエンテーション1			19		
	2	オリエンテーション2			20		
	3	Units 1/2 Lesson A			21		
	4	1年生の振り返り			22		
	5	エアトラで身につけたことを話し合う			23		
	6	学生と社会人の違い①			24		
	7	学生と社会人の違い②			25		
	8	社会人基礎力とは？			26		
	9	主体性、マニュアル族？			27		
	10	働きかけ力			28		
	11	計画力、計画倒れになってない？			29		
	12	実行力、やってみないと始まらない			30		
	13	ストレスコントロール力			31		
	14	発信力			32		
	15	傾聴力			33		
	16	柔軟性			34		
	17	状況把握力			35		
	18	おかれている立場を考える			36		
成績割合		テスト		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当					

シラバス

科目名		教養講座B		担 当 者 名		増田 浩美	
学科		エアライン科 大学コース		授業方法		講義	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・通 年 必 修 ・ 選 択 必修選択	授 業 時 間 数	18時間(週講時数1時間)		
授業目的		社会人として働くうえで必要な個人スキルの向上。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		社会人になるにあたり、学生時代に何をしておけばよいのか？常に考え実行していくようにする					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授業計画表	前期	授業内容		後期	授業内容		
	1	コンセンサスとは？		19			
	2	コンセンサスゲーム①		20			
	3	Units 1/2 Lesson A		21			
	4	課題発見力		22			
	5	課題に目を背けていませんか？		23			
	6	創造力		24			
	7	常に先を見据えて行動する		25			
	8	組織で求められるもの①		26			
	9	組織で求められるもの②		27			
	10	まだ足りないものは？		28			
	11	貴方の考える大人①		29			
	12	貴方の考える大人②		30			
	13	一人一人発表		31			
	14	一人一人発表		32			
	15	自信がつけましたか？		33			
	16	確認テスト・まとめ		34			
	17	確認テスト・まとめ		35			
	18	確認テスト・まとめ		36			
成績割合		テスト		20%	学習FB方法	成績表送付	
		学習態度・出席率		60%			
		レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%					
講師プロフィール		教員免許を取得後、テクノスの教員として36年のキャリアを持つ。また、企業の新人社員研修も担当					

シラバス

科目名		接遇手話ⅡA		担 当 者 名		仲 野	
学 科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義 ・ 実 技	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 必 修 ・ 選 択 ・ 必修選択		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。					
授業概要		聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後 期	授 業 内 容	
	1	オリエンテーション①			19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②			20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	3	Units 1/2 Lesson A			21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)			22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)			23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)			24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)			25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)			26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (人物・家族の表現)			27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)			28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃 (趣味の表現)			29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	12	〃 (職業などの表現)			30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)			31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)			32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	15	前期の復習			33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習			34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(表出試験)			35	試験の返却/解説	
	18	〃 (読み取り/筆記試験)			36	まとめ	
成績割合	テスト				70%	学習FB方法	使用教材:「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会 発行)
	学習態度・出席率				20%		
	レポート				10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点 以下は不合格
	合計				100%		
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名		中国語ⅡA		担 当 者 名		劉 時 珍(りゅう じちん)	
学科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講 義(・演 習)	
認定単位 開講学年		1単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期・後 期・ <u>通 年</u> 必 修・選 択・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数1)
授業目的		中国語を身に付け、中国の文化に触れ、視野が広がることを目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		①綺麗な発音ができ、よく使われる単語を覚えるように。 ②体系的に中国語の文法を身につけるように。 ③基本の日常会話が話せるように。 ④中検4級・3級(/HSK2級・3級)を目指す。					
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ					
授 業 計 画 表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容	
	1週目	オリエンテーション1			16週目	第10課	
	2週目	『楽しくはじめる中国語』(改定新版) 発音編1			17週目	第11課	
	3週目	中国語発音編2			18週目	第12課	
	4週目	Units 1/2 Lesson A			19週目	第13課	
	5週目	中国語発音編4			20週目	私家版エアトラ用教科書 トラベル中国語1	
	6週目	中国語発音編5			21週目	トラベル中国語2	
	7週目	第1課			22週目	トラベル中国語3	
	8週目	第2課			23週目	トラベル中国語4	
	9週目	第3課			24週目	トラベル中国語5	
	10週目	第4課			25週目	トラベル中国語6	
	11週目	第5課			26週目	トラベル中国語7	
	12週目	第6課			27週目	中検4級の模擬試験	
	13週目	第7課			28週目	中検3級の模擬試験	
	14週目	第8課			29週目	復習・まとめ	
	15週目	第9課			30週目	確認テスト・試験解説・まとめ	
成績割合		テスト		40%	学習FB方法	随時質問を受け付け、解説する。	
		学習態度		30%			
		レポート		30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69 点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		2003年から中国語教育に携わり、2012年国際中国語教師中級資格取得。2015年より英語キャリア科(・ブライダル科)の中国語を担当し、今に至る。みなさんと共に成長していくことを授業のモットーにしている。					

シラバス

科目名		料理飲食基礎		担 当 者 名		藤澤美英			
学科		エアライン科 大学コース		授 業 方 法		講義、実技			
認定単位 開講学年		2単位 2学年	開 講 期 必・選	前 期 ・ 後 期 ・ <u>通 年</u> 必 修 ・ 選 択 ・ <u>必修選択</u>		授 業 時 間 数	36時 間(週講時数 1)		
授業目的		料飲に関しての取り扱い、基本的知識の習得を目的とする							
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		将来、社会に出て様々な職業に従事した際、料飲の常識的な知識を役立てられるような人材に育てる事を目標とする。							
授業概要		客室乗務員の役割・心得を理解し、実際のフライトの流れを学ぶ							
授業計画表	前期	授 業 内 容			後期	授 業 内 容			
	1	この授業を学ぶ目的、将来目指している仕事との関連から料飲を学ぶ意味を理解させる。			19	菓巻のサービス方法。 シガーサービスコンクールのビデオ。			
	2	人の足元(靴)を見てみよう。ホテルやレストランにおいてドレスコードの有る理由。			20	ビールの醸造法。 歴史、麦芽、醸造の過程について。			
	3	初期の酒の姿。なぜ人は酒を飲むのか、酔うのかその理由。世界の飲酒年齢と文化。			21	ビールの美味しい飲み方。 保管方法、温度管理、グラスの管理。			
	4	Units 1/2 Lesson A			22	濃縮還元ジュース解説。 レモンスカッシュ。 ラディッシュカービング。			
	5	シェーク。 ステアー。 フルーツを使って包丁の基本的な使い方。			23	カヴァの抜栓と解説。 軟水・硬水			
	6	普段接している食材の旬とは、作り方、収穫方法。			24	ボジョレー・ヌーヴォー解説。			
	7	酒の歴史と文化。 基本的な発酵、蒸留の理論を解説。			25	洋食 メニュー解説			
	8	和食 一汁三菜。			26	皿・グラス類について。 持ち方扱い方。 食べた物の味を表現する			
	9	松花堂弁当(懐石料理)			27	三大珍味とその定義。 トリフの収穫ビデオ。 飲料とのマリアージュ。			
	10	ワインの抜栓・サービス方法実技。			28	三大珍味とその定義。 トリフの収穫ビデオ。 飲料とのマリアージュ。			
	11	赤ワインのデキャンタージュ・サービス方法。			29	三大珍味とその定義。 飲料とのマリアージュ。			
	12	なぜワインの種類によって飲用温度が異なるのかを解説。			30	三大珍味とその定義。 飲料とのマリアージュ。			
	13	ワインの醸造方法、フランスのワイン産地。 ボルドー地方4大シャトー。			31	アレルギー対応。			
	14	飲料の保存方法。 ラベルの読み方。			32	アレルギー対応。			
	15	飲料の保存方法。 ラベルの読み方。			33	おせち料理から見える和食の姿。			
	16	今までの授業の復習			34	おせち料理から見える和食の姿。			
	17	今までの授業の復習			35	学年末試験			
	18	前期試験			36	一般的なホテルのバーメニューの構成、価格等の内容解説。 蒸留酒。			
成績割合		テスト		50%		学習FB方法		成績表送付	
		学習態度・出席率		40%					
		レポート		10%		成績評価		出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%					
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫50% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%							
講師プロフィール		帝国ホテル東京レストラン部バーテンダーとして38年間従事、ホテル在職中社命にて赤坂迎賓館にて賓客接遇5回従事。							